# 東京都立高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 国語 科目 現代の国語

教 科:国語 科 目:現代の国語 単位数:2 単位 対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書:(東京書籍『精選 現代の国語』

教科 国語の目標:

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや 考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 科目 現代の国語の目標:

| 【知識及び技能】               | 【思考力、判断力、表現力等】          | 【学びに向かう力、人間性等】          |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよ | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像した | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯に |
| うにする。                  | りする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う | わたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言 |
|                        | 力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりす | 語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して |
|                        | ることができるようにする。           | 他者や社会に関わろうとする態度を養う。     |
|                        |                         |                         |

|   | 光二の目仕仏が花道口標   | 化道花口 中央  |        | 領域 | ŧ | 評価規準   | έn | 思 | 能 | 配当 |
|---|---|--|--------|----|---|--|----|---|---|----|
|   | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目·内容  | 書<br>読 |    | 読 | 評価規準   | 치  | 芯 | 忠 | 時数 |
|   | ・常用漢字を理解し、文や文章の中で使う。 ・語句や語彙の量を増やし、話や文章の中で使う。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理尾展開につ  | ・対話についての考え方に注意しながら、本文を通読する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・本文の論旨をもとに「まだ知らない        |        |    | 0 | 【知識・技能】・常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。・実社会に必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。<br>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで対話がもつコミュニケーションの意味を理解し、対話によって「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合おうとしている。 | 0  | 0 | 0 | 10 |
| 期 | 明をする」<br>【知識及び技能】<br>話し言葉と書き言葉の特徴や役割を<br>踏まえ、表現や言葉遣いを理解し、<br>使う。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>自分の考えが的確に伝わるように、<br>話の構成や展開を工夫する。 | 明」の違いを考える。 ・「目的意識」「論理性」「相手意識」 の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。 ・自分の学校の行事を説明するという設定で、「リストアップ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。 |        | 0  |   | 【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。                        | 0  | 0 | 0 | 10 |
|   | 定期考査  |  |        |    |   |  | 0  | 0 |   | 1  |

|      | C 単元「水の東西」 【知識及び技能】 ・常用漢字を書き、文章の中で使う。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に とらえ、要旨や要点を開握する。 ・内容を解釈、文章の構成や論理の展開を評価し、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 東西文化の理解を深め、自分の興味 や関心を他者に伝える。 | ・・指導事項 ・「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。 ・「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。 ・「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。 ・日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」と「噴水」の水に対するとらえ方の違いを理解する。 水に対するとらえ方の違いを理解する。 水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿ってとらえ、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。 ・「思考への扉」を通読する。 ・「思考への扉」を通読する。・日本文化について興味や関心をもったことを、二分間程度でスピーチする。  |   | 0 | 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて、文章や図表などに含まれる情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。                                | 0 | 0 | 0 | 8  |
|------|---|---|---|---|--|---|---|---|----|
|      | 定期考査  |   |   |   |  | 0 | 0 |   | 1  |
| 2 学期 |   | ・指導事項 ・学習の流れを読み、活動のポイントの見通しをもつ。 ・グループごとに複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。 新聞記事の割り付けを参考に、「記事情報カード」に記入しながら、選んだ記事の内容を整理する。 ・QFTによる七段階からなる問づくりの方法を確認するとともに、問いの焦点を定め、問づくりのルールを確認する。 ・グループごとに、記事情報カードをもとに、QFTによる問いを作る。・問いに優先りしまる問いけて、最終的に一つに絞り、選ぶ理由をグループにし合う。 ・記事情報カードを活用し、選んだ問いをもとに意見をまとめ、意見文を書く。・意見をまとめるという活動をするうえで、QFTの1~6の各プロセスでは適切にこなせたのかを振り返り、グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。 | 0 |   | 【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情習の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。 | 0 | 0 | 0 | 10 |
|      | 定期考査  |   |   |   |  | 0 | 0 |   | 1  |
|      | A 単元 読む「真の自立とは」 【知識及び技能】・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・語句の量を増やすとともに、語句や語彙を理解し語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】                                    |   |   | 0 | 【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて文章や図表などに含まれる情報を相互に関連付けながら、   | 0 | 0 | 0 | 12 |

|      | 対話のコミュニケーションの意味を理解し、対話による「まだ知らない自分」 に出会った経験を話し合う。 定期考査  |   |  |   | や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」<br>に対する自分の考えをまとめようとしている。  | 0 | 0 |   | 1             |
|------|---|---|--|---|---|---|---|---|---------------|
| 3 学期 | A 単元 読む「白」 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・読書に意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容の構成、論理の展開などについて的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめる。 | ・指導事項 ・本文に述べられている「白」の持つ意味について考えながら、本文を通読する。 ・「白」が人間の意識に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。 ・「推敲」という美意識を手がかりに筆者の言う「白という感受性」とはどのようなものかを読み取り、まとめる。 ・「人間の境界」を通読したうえで、インターネットが生み出す「新たな知の基準」と「推敲」の美意識との違いを読み取り、まとめる。 ・『徒然草』の例によって示された「白」の持つ意味を、本文の論旨を基によみとり、まとめる。 ・筆者の言う「白という感受性」とイン ターネット時代の感受性を比較し、意 |  | 0 | 【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて文章や図表などに含まれる情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめようとしている。 |   | 0 | 0 | 15            |
|      | 定期考査  | 見文を書く。  |  |   |   | 0 | 0 |   | 1<br>合計<br>70 |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 国語 科目 言語文化

教 科: 国語 科 目: 言語文化 単位数:2 単位対象学年組:第 1学年 A組

使用教科書:(大修館書店『言語文化』)

教科 国語の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を 伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手 としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

# 科目 言語文化の目標:

| 【知識及び技能】           | 【思考力、判断力、表現力等】     | 【学びに向かう力、人間性等】     |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の  | 論理的に考える力や深く共感したり豊か | 言葉がもつ価値への認識を深めるととも |
| 知識や技能を身に付けるとともに、我が | に想像したりする力を伸ばし、他者との | に、生涯にわたって読書に親しみ自己を |
| 国の言語文化に対する理解を深めること | 関わりの中で伝え合う力を高め、自分の | 向上させ、我が国の言語文化の担い手  |
| ができるようにする。         | 思いや考えを広げたり深めたりすること | としての自覚をもち、言葉を通して他者 |
|                    | ができるようにする。         | や社会に関わろうとする態度を養う。  |
|                    |                    |                    |

|  |   |   | 領       | 域 |   |   |   |   |   | 配当 |
|--|---|---|---------|---|---|---|---|---|---|----|
| 単元の具体的な  | な指導目標   | 指導項目·内容   | 話·<br>聞 | 書 | 読 | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 時数 |
| A 『寝 【・・ の解本に要の現る 思子読の批る 学等説登様元拾 及の作文すの古文まど カ こ容し に 文人価 ではいいののですのです。 カ こなられる ですのですができない カ こなられる ですが値 が世品化。世典語りに 判 しやり か にの健な でして できる からして いいがい にかりがい 界をのすって がいますが にいる はいますが はいますが にいる はいますが はいますが にいる はいますが しょう はいまい しょう はいますが しょう はいまい しょう はい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい | 観章景(観むませて)、いに論し、味動しのなど、むめや有解で現っていり、間に持った。 したり 間にないのない はいりが であった とない はいのすい かんま かん はいいり はいいり はいいり はいいい はいいい はいいい はいいい はいい | ・一人1台端末の活用 ・歴史的仮名遣いについて ・品詞や文節について ・重要古語について ・辞書の引き方・ノートの作 り方 | 0       | 0 | 0 | 【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いについて理解し、本文を音読している。 ・文節や品詞の種類を出語のででででででででででででででででいる。  【思考・判断・表現】 ・本文の、語り手の意見を説明し、登場人している。 ・僧が「そら寝」に気付いたからできれる。・・笑話としてのおもしろさを説明している。 ・生体的に学習に取り組む態度】・教組んでいる。 ・主体材にでいる。 ・登場人でまとめている。 ・登場人でまとめている。 ・登場大きを変している。 ・登場人を変している。 ・・登場人でまとめている。 | 0 | 0 | 0 | 12 |

| ・古文の説話と現代のさま ざまな文化との繋がりを          |   |   |   |   |  |   |     |   |    |
|-----------------------------------|---|---|---|---|--|---|-----|---|----|
| 理解しようとしている。                       |   |   |   |   |  |   |     |   |    |
| 定期考査                              |   |   |   |   |  | 0 | 0   |   | 1  |
| 『伊勢物語』「芥川」<br>【知識及び技能】            | ・一人1台端末の活用 ・和歌の修辞法について ・平安期の恋愛・結婚について ・動詞の活用について                              | 0 | 0 | 0 | 【知識・技能】 ・作品に表れた言葉の意味や文化 的背景を理解し、興味関心をもい ことによって語彙を豊かにしてい る。 ・古典を読むために必要な文語の きまりや表現について味わってい る。 【思考・判断・表現】 ・「和歌」を自由に解釈し、自分の語 験創作している。 ・創作物語と実際の物語を比較られ 歌との繋がりについて考察してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌物語に興味をもち、その文章や 和歌の技法を自分の表現 かしたりしようとしている。                   |   | 0 0 | 0 | 12 |
| 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、 主な常用漢字を書き、文 | ・一人1台端末の活用 ・小説への興味関心の喚起 ・「羅生門」というタイトルの意味について ・作品構成について ・語り手の存在と、時代背景や状況の確認と理解 | 0 | 0 | 0 | 【知識・技能】 ・場面の展開を把握しながら本文を正確に音読でき、ワークシートなどで新たに学んだ漢字を的確に用いている。 ・「羅生門」と「今昔物語集」とを比比で、調力の表現効果について説明している。 ・間が、表現】 ・場面ごとの状況によって変化してよるで、作品のテーマについて考えている。・作品の展開を把握しながら、各場面の比喩表現や情景描写の特徴について説明している。 ・作品のはいて説明している。 ・作品のはいて説明している。 ・作品のはいて説明している。 ・作品のはいて説明している。 | 0 | 0   | 0 | 12 |

| 「今バーウンニャ 」 田州  |  |   |   |   |  |   |   |   |    |
|--|--|---|---|---|--|---|---|---|----|
| 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に   |  |   |   |   |  |   |   |   |    |
| かかわろうとする。  |  |   |   |   |  |   |   |   |    |
| 定期考査   |  |   |   |   |  | 0 | 0 |   | 1  |
| B 単  | を正しい語順で読むこと                                | 0 | 0 | 0 | 【知識・技能】 ・基本的な訓読のきまりを理解し、説明できる。 ・重要語句や句法、漢字の意味を理解ため漢和辞典を活用している。 ・対句的な文章表現とその効果について理解し、説明している。 【思考・判断・表現】 ・それぞれの章の本文の構成を把握し、内容を正しくまとめている。 ・内容を理解し、説明している。 それた学問、取り組む態度】 ・教材に興味を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味を持っている。                        |   | 0 | 0 | 13 |
| 定期考査   |  |   |   |   |  | 0 | 0 |   | 1  |
| B単元<br>『奥の細道』「旅立ち」「立石寺」<br>【知識及び技能】<br>・古典の世界に親しむため<br>に、文ではいる。<br>・文ではいる。<br>・文では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中 | 史的知識をまとめる。<br>・旅と人生の関わりが作者<br>をどのようにとらえている | 0 | 0 | 0 | 【知識・技能】 ・古語の意味を正確にとらえ、読解に生かしている。 ・俳文の特徴を理解し、言語を補って現代語訳している。 ・俳諧の歴史的背景について自分で調べ、解釈に生かしている。 【思考・判断・表現】 ・芭蕉が憧れる「古人」の旅について適切に捉えている。 ・芭蕉の「旅」への思いと人生観を「古人」についての知識や理解をもとに正確に読み取れている。 ・さに正確に読み取れている。 【主体的に学習に取り組む態度】・・俳諧紀行文の特徴に興味をもち、積極的に音読している。 | 0 | 0 | 0 | 17 |

| ・文章の種類を踏まえて、<br>内容や構成、展開などに<br>ついて陳述を基に的確に<br>捉える。<br>・作品や文章に表れている        |  | ・自分で作品の背景について調べ<br>作者の思いに迫ろうとしている。 |  |   |              |
|---|--|------------------------------------|--|---|--------------|
| ものの見方、感じ方、考<br>え方を捉え、内容を解釈<br>する。   |  |                                    |  |   |              |
| 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことを通して、古人のものの見方、感じ方、考え方を通時的に捉えている。 |  |                                    |  |   |              |
|   |  |                                    |  | _ | 合<br>計<br>70 |

東京都立神津高等学校 令和 7 年度(1学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科: 地理歷史 科 目: 地理総合 単位数: 2単位 対象学年組:第1 学年A組

使用教科書:(帝国書院『高等学校新地理総合』)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適

切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・ 多角的に考察したり、

社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に

説明したり、それらを基

に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと

ともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我

が国の国土や歴史に対す

る愛情、他国や他国の文化を尊重することのたいせつさについての自覚などを深める。

# 科目 歴史総合 の目標:

| 【知識及び技能】           | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】      |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| 地理に関わる諸事象に関して、世界の生 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色   | 地理に関わる諸事象について、よりよい  |
| 活文化の多様性や、防災、地域や地球的 | や相互の関連を、位置や分布、場所、人  | 社会の実現を視野にそこで見られる課題  |
| 課題への取り組みなどを理解するととも | 間と自然環境との相互依存関係、空間   | を主体的に追及・解決しようとする態度を |
| に、地図や地理情報システムなどを用い | 的相互依存作用、地域などに着目して、  | 養うとともに、多面的・多角的な考察や深 |
| て、調査や諸資料から地理に関する様々 | 概念などを活用して多面的・多角的に考  | い理解を通して涵養される日本国民とし  |
| な情報を適切かつ効果的に調べまとめる | 察したり、地理的な課題の解決に向けて  | ての自覚、我が国の国土に対する愛情、  |
| 技能を身に付けるようにする。     | 構想したりする力や、考察、構想したこと | 世界の諸地域の多様な生活文化を尊重   |
|                    | を効果的に説明したり、それらを基に議  | することの大切さについての自覚などを  |
|                    | 論したりする力を養う。         | 深める。                |
|                    |                     |                     |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目·内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当 |
|--|--|---|---|---|---|----|
|  |  |   |   |   |   | 時数 |
| 単元 地球上の位置と時差<br>【知識及び技能】<br>緯度・経度の基本的な仕組<br>みや、緯度経度の違いによる<br>影響を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力<br>等】<br>緯度経度の違いによる影響<br>を多面的・多角的に考察し、<br>表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>緯度経度の違いによる影響<br>を現する。<br>【学びに向から力、人間性等】<br>規定を変して、よりよい社会の実<br>現のために主体的に追及・解<br>決する。 | の生活にどのような影響を<br>与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とど<br>のように結び付いているのだろうか。<br>・教材:教科書、地図帳、ワークシート・一人1台端末の活用 | 【知識・技能】<br>緯度・経度の基本的な仕組みや、緯度経度の違いによる影響を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>緯度経度の違いによる影響を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>緯度経度の違いによる影響について、よりよい社会の実現のために主体的に追及・解決しようとしている。 | 0 | 0 | 0 | 3  |
| 単元 地図の役割と種類<br>【知識及び技能】<br>様々な地図の用法について<br>理解する。<br>【思考力、判断力、表現力<br>等】<br>球体の地球と平面の地図、さ  | はどのような役割や種類があるのだろうか。また、私た  | 【知識・技能】<br>様々な地図の用法について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>球体の地球と平面の地図、さまざまな<br>地図投影法(図法)について、多面<br>的・多角的に考察し、表現している。  | 0 | 0 | 0 | 5  |

|  |  | [ <del>-</del>  |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|---|
| まざまな地図投影法(図法)<br>について、多面的・多角的に<br>考察し、表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>球体の地球と平面の地図、さ<br>まざまな地図投影法(図法)  | クシート   | 【主体的に学習に取り組む態度】<br>球体の地球と平面の地図、さまざまな<br>地図投影法(図法)について、よりよい<br>社会の実現を視野にそこでみられる<br>課題を主体的に追究する。  |   |   |   |   |
| について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。単元 グローバル化する世界【知識及び技能】グローバル化の要因とその影響について理解する。【思考力、判断力、表現力等】グローバル化の要因とその影響について、多角的・多面的に考察し、表現する。【学びに向かう力、人間性等】世界のグローバル化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。  | の国々は、これらの要素によってどのように結び付いているのだろうか。<br>・教材:教科書・地図帳・ワークシート  | 【思考・判断・表現】<br>グローバル化の要因とその影響につ<br>いて、多角的・多面的に考察し、表現   | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 定期考査   |  |   | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 単元世界の地形と人々の生活<br>【知識及び技能】<br>地球上の地形の成り立ちと、<br>生活に与える影響を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>地球上の地形の成り立ちと、<br>生活に与える影響について、<br>多角的・多面的に考察し、<br>現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>地球上の地形の成り立ちと、<br>見ずる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>地球上の地形の成り立ちと、<br>現する。<br>【学びに向から力、人間性等】<br>と活に与える影響について、<br>よりよい社会の実現を視野に<br>そこで見られる課題を主体的<br>に追り | 地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。 ・教材:教科書、地図帳、ワークシート・一人1台端末の活用等   | 与える影響を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>地球上の地形の成り立ちと、生活に<br>与える影響について、多角的・多面的<br>に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>地球上の地形の成り立ちと、生活に<br>与える影響について、よりよい社会の<br>実現を視野にそこで見られる課題を<br>主体的に追及している。 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 単元世界の気候と人々の生活<br>【知識及び技能】<br>様々な気候要素が生活に与える影響について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>様々な気候要素が生活に与える影響について表現力<br>等】<br>様々な気候要素が生活に与える影響について、表見的・多面的に向かう力、人生活によりな気候でいて、よりよい社会の実現を視野によい社会の実現を視野にもいる。<br>見られる課題を主体的に追及する。   | 気温や降水、風などの気候<br>要素は場所によって異なる。<br>人々の生活はそれぞれの気<br>候要素とどのように関わり合<br>っているのだろうか。そして、<br>世界各地ではどのような生<br>活が営まれているのだろう<br>か。<br>・教材:教科書、地図帳、ワー |   | 0 | 0 | 0 | 7 |

|             | 定期考査   |   |  | 0   | 0   |     | 1  |
|-------------|--|---|--|-----|-----|-----|----|
|             | 単元世界の言語・宗教と<br>人々の生活<br>【知識及び技能】<br>言語や宗教が生活に与える<br>影響について理解する。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>言語や宗教が生活に与える<br>影響について、多角する。<br>【学びに向かうカ、人間性な<br>ど】<br>言語や宗教が生活に与える<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>に<br>い<br>に<br>の<br>に<br>の<br>に<br>り<br>に<br>い<br>に<br>の<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り<br>に<br>り | ・指導事例<br>世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。<br>・教材:教科書、地図帳、ワークシート・一人一台端末の活用   | 【知識・技能】<br>言語や宗教が生活に与える影響について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>言語や宗教が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>言語や宗教が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。       | 0   | 0   | 0   | 7  |
| 2 学期        | 単元 歴史的背景と人々の生活<br>【知識及び技能】<br>歴史的背景が生活に与える<br>影響について理解する。<br>【思考力・判断・表現力】<br>歴史的背景が生活に与える<br>影響について、多角的・<br>影響について、多角する。<br>【学びに向かう力、人間性な<br>ど】<br>歴史的背景が生活に与える<br>、<br>【学びに向から力、人間性な<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と<br>と   | で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み<br>重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。 ・教材:教科書、地図帳、ワークシート・一人一台端末の活用 | 【知識・技能】 歴史的背景が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 歴史的背景が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史的背景が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。                      | 0   | 0   | 0   | 6  |
|             | 定期考査   |   |  | 0   | 0   | 0   | 1  |
|             | 単元 世界の産業と人々の生活<br>【知識及び技能】<br>世界の諸地域の産業と産産いて理解する。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>世界の諸地域の影響に与える面的に与える面的に与える面的に与える面的に与える面的に今で表現とで、多現すのがある。<br>【学びとの諸地域の産業に等のよりという。<br>【学びという力、人間性など】<br>世界の諸地域の産業に現のをといる。<br>【学びというは、とないというというといいとなる。<br>【学びというというというというというというというというというというというというというと  | 人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化に  | 【知識・技能】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の諸地域の産業と産業が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及している。 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 13 |
|             |  |   | // F & p = +/p + + + 4 \( \mathbb{F} \)  | 0   | 0   | 0   |    |
| 3<br>学<br>期 | 【知誠及ひ技能】   | 球的課題が存在する。これらの課題の背景には何がある   |  | 0   | 0   | 0   | 7  |

|   | L   | [   |   |   |   |                   |
|---|---|---|---|---|---|-------------------|
|   | 決に向けて、私たちには何ができるのだろうか。 ・教材:教科書、地図帳、ワークシート ・一人一台端末の活用"   | 地球上に見られる様々な課題と取り<br>組みについて、多角的・多面的に考察<br>し、表現している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>地球上に見られる様々な課題と取り<br>組みについて、よりよい社会の実現を<br>視野にそこで見られる課題を主体的<br>に追及している。" |   |   |   |                   |
| 単、  | ・指導事例<br>世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境といった自然環境と高いではいる。日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。<br>・教材:教科書、地図帳、ワークシート・一人一台端末の活用 | 災害や生徒の生活圏で見られる自然<br>災害を基に、地域の自然環境の特色  | 0 | 0 | 0 | 6                 |
| 単元生活圏の調査と地域の<br>展望<br>【知識及び技能】<br>生活圏の調査を基に、地理<br>的な課題の解決に向けた取<br>り組みや探究する手法などに<br>ついて理解する。<br>【思考力・判断力・表現力】<br>生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外と<br>の結び付き、地域の成り立ち<br>や変容、持続可能な地域づく | を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。<br>・教材:教科書、地図帳、ワ   | 手法などについて理解している。   | 0 | 0 | 0 | 1<br>合<br>計<br>70 |

|               | • |  |  |
|---------------|---|--|--|
| 現を視野にそこで見られる課 |   |  |  |
| 題を主体的に追究、解決しよ |   |  |  |
| うとする態度を養う。    |   |  |  |

# 東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科:地理歴史 科目:歴史総合

教 科: 地理歴史 科 目:歴史総合 単位数:2単位 対象学年組:第1 学年A組

使用教科書:(山川出版社『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』)

教科:地理歴史の目標:

### 【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴 史を理解する。諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

### 【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

### 【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 科目:歴史総合の目標:

| 【知識及び技能】               | 【思考力、判断力、表現力等】         | 【学びに向かう力、人間性等】         |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よ |
| 界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉  | 特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関 | りよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、 |
| え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史 | 連や現在とのつながりなどに着目して、概念など | 解決しようとする態度を養うとともに、多面的・ |
| を理解する。諸資料から歴史に関するさまざまな | を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に | 多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本 |
| 情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に | 見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想し | 国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、 |
| つけるようにする。              | たりする力や、考察、構想したことを効果的に説 | 他国や他国の文化を尊重することの大切さについ |
|                        | 明したり、それらを基に議論したりする力を養  | ての自覚などを深める。            |
|                        | う。                     |                        |
|                        |                        |                        |

|      | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容                     | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|------|--|-----------------------------|--|---|---|---|------|
| 1 学期 | 近代化となり、  | ・教科書、自作プリント・一人1台端末の活用       | 【知識及び技能】  ・18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。  【思考力、判断力、表現力等】  ・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互国を関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多角的・多面的に表現している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究している。 | 0 | 0 | 0 | 9    |
|      | 定期考査   |                             |  | 0 | 0 |   | 1    |
|      | 国民国家と明治維新 1<br>【知識及び技能】<br>・18 世紀後半以降の欧米の市<br>民革命や刻印統合の動向、日本<br>の明治維新や大認定国憲法の制<br>定などをもとに、立憲体制と国<br>民国家の動向を理解する。 | ・教科書、自作プリント<br>・一人 1 台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や刻印統合の動向、日本の明治維新や大認定国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の動向を理解している。  | 0 | 0 | 0 | 9    |

|             | 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成や背景・影響 などに着目して、主題を設定 し、アジア諸国とその他の国や 地域の動向を比較したり、相互 に関連付けたりするなどして、 政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多角的・ 多面的に考察し、表現する。                                |                             | 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成や背景・影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多角的・多面的に考察し、表現している。  |   |   |   |    |
|-------------|--|-----------------------------|--|---|---|---|----|
|             | 【学びに向かう力、人間性等】<br>・身近な題材に対して自ら「問<br>い」を立て、歴史との関連を追<br>及する。   |                             | 【学びに向かうカ、人間性等】<br>・身近な題材に対して自ら「問い」を立<br>て、歴史との関連を追及している。   |   |   |   |    |
|             | 明治維新と国民国家 2<br>【知識及び技能】<br>・列強の進出と植民地の形成、<br>日清戦争・日露戦争などを基<br>に、列強の帝国主義政策とアジ<br>ア諸国の変容を理解する。   | ・教科書、自作プリント<br>・一人 1 台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・列強の進出と植民地の形成、日清戦争・<br>日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策<br>とアジア諸国の変容を理解している。   |   |   |   |    |
|             | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・帝国主義政策の背景、帝国主<br>義政策がアジア・アフリカに与<br>えた影響などに着目して、主題<br>を設定し、アジア諸国とその他<br>の国や地域の動向を比較した<br>り、相互に関連付けたりするな<br>どして、帝国主義容などを多角<br>的・多面的に考察し、表現す<br>る。 |                             | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がア<br>ジア・アフリカに与えた影響などに着目し<br>て、主題を設定し、アジア諸国とその他の<br>国や地域の動向を比較したり、相互に関連<br>付けたりするなどして、帝国主義政策の特<br>徴、列強間の関係の変容などを多角的・多<br>面的に考察し、表現している。 | 0 | 0 | 0 | 7  |
|             | 【学びに向かう力、人間性等】<br>・身近な題材に対して自ら「問<br>い」を立て、歴史との関連を追<br>及する。   |                             | 【学びに向かうカ、人間性等】<br>・身近な題材に対して自ら「問い」を立<br>て、歴史との関連を追及している。   |   |   |   |    |
|             | 定期考査   |                             |  | 0 | 0 |   | 1  |
|             | 国際協調と大衆社会の広がり<br>【知識及び技能】<br>・ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解する。  | ・教科書、自作プリント<br>・一人 1 台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。  |   |   |   |    |
|             | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・新しい国際秩序と大衆社会の<br>特徴について考察し、自分の<br>言葉で表現する。  |                             | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・国際連合を中心に、第二次世界大戦以前<br>と以後の国際関係を比較することで、戦<br>争の経験が人々に何をもたらしたのかを<br>考察し、自分の言葉で表現している。   | 0 | 0 | 0 | 6  |
| 2<br>学<br>期 | 【学びに向かうカ、人間性等】<br>・ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前<br>半における大衆社会の到来<br>が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを<br>考察し、その解決策について<br>追究しようとしている。  |                             | 【学びに向かうカ、人間性等】 ・大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。  |   |   |   |    |
|             | 定期考査   |                             |  | 0 | 0 |   | 1  |
|             | 日本の行方と第二次世界大戦<br>【知識及び技能】<br>・世界恐慌から第二次世界大戦<br>の終戦に至るまでの経緯につい<br>て、大衆とマスメディアの関わ<br>りに着目しながら理解する。   | ・教科書、自作プリント<br>・一人 1 台端末の活用 | 【知識及び技能】<br>・世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対<br>外政策などを基に、国際協調体制の動揺を<br>理解している。  | 0 | 0 | 0 | 10 |
|             | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・ファシズム体制の形成から終   |                             | 【思考力、判断力、表現力等】<br>・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治  |   |   |   |    |

|      | 戦に至るまで、ドイツや日本で<br>大衆がなぜ戦争に協力していっ<br>たのか考察し、自分の言葉で表<br>現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・大衆の戦争への加担という問<br>題を現代社会における課題とし<br>て捉え、その解決策を追究す<br>る。   |                         | 体制の変化などに着目し、日本とその他の<br>国や地域の動向を比較したり、相互に関連<br>付けたりするなどして、各国の世界恐慌へ<br>の対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因<br>などを多面的多角的に考察し、表現してい<br>る。<br>【学びに向かうカ、人間性等】<br>・大衆の戦争への加担という問題を現代社<br>会における課題としてとらえ、その解決策<br>を歴史的な経緯を踏まえたうえで自分なり<br>の解決策について追究しようとしている。  |   |   |   |   |
|------|---|-------------------------|--|---|---|---|---|
|      | 再出発する世界と日本<br>【知識なび技能】<br>・冷戦道を中心際秩序に<br>日本<br>と、新知道を中心際秩序に<br>日本<br>る。<br>【思解しないのの<br>日本<br>る。<br>【思際政前<br>日本<br>る。<br>【思際政前<br>日本<br>る。<br>【思際政前<br>日本<br>る。<br>【思際政前<br>日本<br>名。<br>【思際政前<br>日本<br>名。<br>【思際政前<br>日本<br>とと<br>日本<br>名。<br>とで<br>日本<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの<br>のの | ・教科書、自作プリント・一人1台端末の活用   | 【知識及び技能】 ・日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。日本の民主化と、東西冷戦が日本に与えた影響について理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が及ぼした影響などに表出したり、発生の関連付けたりするなどした、地域紛争と冷戦の関係、東西陣営の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。  【学びに向かうカ、人間性等】 ・国際秩序の変化を発していて関連を経緯をいて考察し、歴史的なと追究した。 「学びに向かうカ、人間性等】 ・国際秩序の変化や大衆化に関連を経緯をいまえたうえで自分なりの解決策を追究しようとしている。 | 0 | 0 | 0 | 9 |
|      | 定期考査  |                         |  | 0 | 0 |   | 1 |
| 3 学期 | 多極化する世界<br>【知識及び技能】<br>・1960 年代から 80 年代を中心<br>に、冷戦下における各国の選択<br>と経済成長について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・各国の選択を比してである。<br>「要いる意識で表現する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・冷戦済大ので選択がを生みいて<br>がでいる意報でも現代社たの<br>が考察し、解決策について追究<br>する。   | ・教科書、自作プリント・一人 1 台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解している。高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が及ぼした影響などに着目し、日本、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、東西陣営の政策転換の要因などを多角的に考察し、表現している。  【学びに向かうカ、人間性等】 ・冷戦下における各国の政な経緯を踏まえたうえで自分なりの解決策を追究しようとしている。  | 0 | 0 | 0 | 8 |

| グローバル化のなかの世界と日本 【知識及び技能】・冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解する。 【思考カ、判断カ、表現力等】・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズを強化について各質でもし、その特質やる。 【学びに向かうカ、人間性等】・冷戦の終結とグな課題を生みがに発したのかについて考察し、後期がどのような考察し、解決策について追究する。 | ・教科書、自作プリント・一人 1 台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解している。高度経済成長に至る経緯を、55 年体制や冷戦に着目して理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものと課題を考察し、表現している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦の終結とグローバル化の進展について、学んできたことから自分で主題を設定し、身に付けた知識や教科書、その他の史資料を活用して、課題の解決のために、主体的・計画的に探究学習に取り組もうとしている。 | 0 | 0 | 0 | 7                 |
|--|-------------------------|--|---|---|---|-------------------|
| 定期考查   |                         |  | 0 | 0 | 0 | 1<br>合<br>計<br>70 |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

教 科: 数学 科 目: 数学 I 単位数:3 単位 対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書:( 数研出版『新編数学 I 』)

教科 数学の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合 的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする 態度や創造性の基礎を養う。

### 科目 数学 I の目標:

| 【知識及び技能】            | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】      |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 数と式、図形と計量、二次関数及びデー  | 命題の条件や結論に着目し、数や式を   | 数学のよさを認識し数学を活用しようとす |
| タの分析についての基本的な概念や原   | 多面的にみたり目的に応じて適切に変形  | る態度、粘り強く考え数学的論拠に基づ  |
| 理・法則を体系的に理解するとともに、事 | したりする力、図形の構成要素間の関係  | いて判断しようとする態度、問題解決の  |
| 象を数学化したり、数学的に解釈したり、 | に着目し、図形の性質や計量について論  | 過程を振り返って考察を深めたり、評価・ |
| 数学的に表現・処理したりする技能を身  | 理的に考察し表現する力、関数関係に着  | 改善したりしようとする態度や創造性の  |
| に付けるようにする。          | 目し、事象を的確に表現してその特徴を  | 基礎を養う。              |
|                     | 表、式、グラフを相互に関連付けて考察  |                     |
|                     | する力、社会の事象などから設定した問  |                     |
|                     | 題について、データの散らばりや変量間  |                     |
|                     | の関係などに着目し、適切な手法を選択  |                     |
|                     | して分析を行い、問題を解決したり、解決 |                     |
|                     | の過程や結果を批判的に考察し判断し   |                     |
|                     | たりする力を養う。           |                     |
|                     |                     |                     |

|      | 単元の具体的な指<br>導目標 | 指導項目·内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|------|-----------------|---|--|---|---|---|------|
| 1 学期 | 数知・主義ので、        | 1節 式の計算<br>1. 整式とその<br>加法・減法<br>2. 整式の乗法<br>3. 因数分解 | 【知識・技能】 ・数式に対していろいろな見方をすることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係が分かる。 【思考・判断・表現】 ・乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。 ・見通しを持つて式を展開したり、因数分解したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとする。 ・複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを利用しようとする。 | 0 | 0 | 0 | 14   |

| 分解に取り組もうとしている。   |   |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|
| 実数識と理力、表表では、大絶だのは、す数法と理力、等なのの。判別を考力をさのるので、当時では、大絶だのは、す数法ののので、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して | 1. 実数<br>2. 根号を含む<br>式の計算                   | 【知識・技能】 ・数を拡張してきた過程を考察することができる。 ・有理数を小数で表すことによって有理数の意味を考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・不等式の性質を理解し、不等式の解の意味や不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解の意味について理解している。 ・絶対値記号のはずし方を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとする。  | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 1 知等味者 【思現水間 記記 大 の の 表 で の で で を の で で を の で で で で で で で で で で                                      | 1. 不等号と不<br>等式<br>2. 不等式の性<br>質<br>3. 1次不等式 | 【知識・技能】 ・不等式の性質を基にして、1次不等式の解き方を考察することができる。 ・1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・不等式の性質を基にして、1次不等式を解くことができる。 ・連立不等式の解を数直線上に表すことができる。 ・数量の関係を1次不等式で表すことができる。 ・数量の関係を1次不等式で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数量の関係を不等式で表し、1次不等式を活用しようとする。 ・具体的な事象の考察に、1次不等式を活用しようとする。 ・絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、解いてみようとする。 | 0 | 0 | 0 | 9 |

| T-                             |                 |  |   |   |   |   |
|--------------------------------|-----------------|--|---|---|---|---|
| ・絶対値記号を含                       |                 |  |   |   |   |   |
| んだ方程式や不等                       |                 |  |   |   |   |   |
| 式の扱い方を理解                       |                 |  |   |   |   |   |
| し、解いてみようと                      |                 |  |   |   |   |   |
| する。                            |                 |  |   |   |   |   |
| 定期考査                           |                 |  | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 【知識及び技能】                       | 1節 データの整        | 【知識·技能】  |   |   |   |   |
| 中学校で学習した                       | 理               | 整理した表、図、値などの意味を理解し、その                          |   |   |   |   |
| 平均値・最頻値・中                      | 1. 度数分布         | データの特性や法則性を的確にとらえることが                          |   |   |   |   |
| 央値・四分位数・箱                      | 2. 代表値          | できる。   |   |   |   |   |
| ひげ図について復                       | 3. 四分位数と        | 【思考・判断・表現】                                     |   |   |   |   |
| 習、理解。                          | 四分位範囲           | 箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すこと                          |   |   |   |   |
| 【思考力、判断力、                      |                 | ができる。  |   |   |   |   |
| 表現力等】                          |                 | 【主体的に学習に取り組む態度】                                |   |   |   |   |
| ,データの散らばり                      |                 | データから適切な代表値を得て、散らばり具合                          |   |   |   |   |
| のようすをとらえる 畑会 ロテ 整理             |                 | を整理し全体の傾向をつかもうとする。                             |   |   |   |   |
| 概念として、整理<br>し、理解。              |                 |  | 0 | 0 | 0 | 5 |
| し、 <sub>理解。</sub><br>【学びに向かう力、 |                 |  |   |   |   | J |
| 人間性等】                          |                 |  |   |   |   |   |
| データから適切な                       |                 |  |   |   |   |   |
| 代表値を得て、散                       |                 |  |   |   |   |   |
| らばり具合を整理                       |                 |  |   |   |   |   |
| し全体の傾向をつ                       |                 |  |   |   |   |   |
| かもうとする。身近                      |                 |  |   |   |   |   |
| な統計における代                       |                 |  |   |   |   |   |
| 表値の意味につい                       |                 |  |   |   |   |   |
| て考察しようとす                       |                 |  |   |   |   |   |
| る。                             |                 | V to the think to                              |   |   |   |   |
| データの整理                         | 1. 分散と標準偏<br>差  | 【知識・技能】  |   |   |   |   |
| 【知識及び技能】 データの散らばり              | 左<br>  2. データの相 | 整理した表、図、値などの意味を理解し、その<br>データの特性や法則性を的確にとらえることが |   |   |   |   |
| のようすをとらえる                      | 2. ) - 50/11    | プータの存住や法則任を的権にころえることが<br>  できる。                |   |   |   |   |
| 概念として、分散、                      | 3. データの外        | Ccる。<br> 【思考·判断·表現】                            |   |   |   |   |
| 標準偏差について                       | 1 n値            | ・2つの変量の相関係数を求めることができる。                         |   |   |   |   |
| 理解。                            | 4. 仮説検定の        | ・四分位数から、外れ値になり得る値の範囲を                          |   |   |   |   |
| 【思考力、判断力、                      | 考え方             | 求めることができる。                                     |   |   |   |   |
| 表現力等】                          |                 | 【主体的に学習に取り組む態度】                                |   |   |   |   |
| 身近な例を用い                        |                 | データから適切な代表値を得て、散らばり具合                          |   |   |   |   |
| て、2つのデータの                      |                 | を整理し全体の傾向をつかもうとする。                             |   |   |   |   |
| 相関を考察するた                       |                 |  |   |   |   |   |
| めに、散布図に表                       |                 |  | 0 | 0 | 0 | 5 |
| すことや相関係数                       |                 |  |   |   | J |   |
| で表すことができ                       |                 |  |   |   |   |   |
| る。                             |                 |  |   |   |   |   |
| 【学びに向かう力、                      |                 |  |   |   |   |   |
| 人間性等】<br>  仮説検定の考え方            |                 |  |   |   |   |   |
| 仮説快走の考え方   を理解するととも            |                 |  |   |   |   |   |
| に、不確実な事象                       |                 |  |   |   |   |   |
| の起こりやすさに                       |                 |  |   |   |   |   |
| 着目し、主張の妥                       |                 |  |   |   |   |   |
|                                |                 |  | 1 |   |   |   |
| 当性について判断                       |                 |  |   |   | l |   |
| 当性について判断できる。問題の解               |                 |  |   |   |   |   |

|      | めに、現状のデータの分布を望ましいと考える方向に変えるための条件や改善策を、コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探ろうとする。   |  |   | 0 | 0 |   | 1  |
|------|--|--|---|---|---|---|----|
| 2 学期 | 集出集ど基解 思現合連件要、習、を 学問・に則用 題関す応付気いる合識の合な カ等包け十分理る理に に乗り付問よ の係対気いで含関す 判 含て分条法こ的付 か かき題と ・ が合て、べ 証 技関すす 断 関必件、どを思る カー・ のことない からにす 判 とないけ か から のことが合いことが は関すを が 係要、対を通考。 カー 法のに。 対を係とにする なった は しょう がん | 1. 集合 2. 命題と条件 3. 逆・裏・対偶   | 【知識・技能】 ・命題 p⇒q が真であることが、条件を満たす集合の包含関係と対応しているととらえることができる。 ・「かつ」、「または」、「でない」など数学で用いられる論理の言葉が集合の「∪」、「∩」、「」と対応していることを考察することができる。 ・結論を否定して推論を始めるという背理法の考え方ができる。 【思考・判断・表現】 ・必要条件、十分条件など数学的な論理に必要な言葉を適切に使って表現することができる。 た、対偶を用いて命題を証明することができる。・ド・モルガンの法則が成り立つことを確かめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ド・モルガンの法則に気付き、この法則を問題解決に活用しようとする。 ・命題の逆・裏・対偶の関係が条件を満たす集合の関係に対応していることに気付き、これらについて調べようとする。 | 0 | 0 | 0 | 11 |
|      | 定期考査   |  |   | 0 | 0 |   | 1  |
|      | 2 次関数<br>【知識及び技能】<br>関数とそのグラフ<br>について理解を深め、2次関数のグラフの概形を平行移動の考え方を利用して描ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】   | 1節 2次関数と<br>そのグラフ<br>1. 関数とグラフ<br>2. 2次関数の<br>グラフ<br>3. 2次関数の<br>最大・最小 | 【知識・技能】 ・関数 y=ax^2+bx+c を y=a(x-p)^2+q の形に変形することができる。 ・2 次関数のグラフの頂点の座標と軸の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上で、、y = ax^2 のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。  | 0 | 0 | 0 | 17 |

| 2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。<br>の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。   | する計算に意欲を<br>もって取り組む。<br>・関数関係を変化<br>する2つの量の関係としてとらえ、式<br>やグラフに表すこと<br>に関心をもつ。<br>2 次方程式と2<br>次関数のグラフを利用して2次方<br>程式 2.2 次関数の<br>グラフと2 次不<br>程式 2.2 次関数のグラフを利用して2次方<br>程式 2.2 次関数のグラフを利用して2次方<br>程式 2.2 次関数のグラフを利用して2次方<br>程式 2.2 次関数のグラフを利用して2次方<br>程式 2.2 次関数のグラフと 2 次不<br>等式 6. [思考カ、判断<br>力、表現力等]<br>2 次関数のグラフ。<br>2 次内程式、2 次不等式の解と 2 次関数のグラフとの関係<br>を理解し、2 次不等式の解と 2 次関数のグラフを用いて考察することができる。<br>[思考・判断・表現]<br>・ソ=ax 2+bx+c のグラフとx軸との共有点のx座<br>標は、2 次方程式の案数解であることを理解<br>し、2 次方程式の解の個数や 2 次不等式の解<br>を求めることができる。<br>・共有点の個数を D=b*2 - 4ac を計算すること<br>により、その符号で判断できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>2 次関数のグラフとx軸との位置関係について<br>調べて、2 次不等式の解のタイブに関心をも<br>つ。 | 2 次関数の最大・<br>最小について理解<br>を深め、最大値や<br>最小値を求める具<br>体的な問題の解決<br>に活用できる。<br>【学びに向かう力、<br>人間性等】<br>・2次関数 y =<br>ax^2+bx+cを y = | 4. 2次関数の<br>決定 | ・定義域が限られた2次関数における最大値・<br>最小値は、頂点を考慮して求めることを理解できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・2次関数 y = ax^2+bx+cを y = a(x-p)2+q に変形する計算に意欲をもって取り組む。<br>・関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもつ。 |   |   |   |    |
|--|--|---|----------------|---|---|---|---|----|
| 次関数 グラフと 2 次方程式 2.2 次関数のグラフを利用して2次方程式 2.2 次関数のグラフを利用して2次方程式や2次不等式 の解について理解する。  | 次関数  | する計算に意欲を<br>もって取り組む。<br>・関数関係を変化<br>する2つの量の関<br>係としてとらえ、式<br>やグラフに表すこと<br>に関心をもつ。   |                |   |   |   |   |    |
| 程式   | 日本   |   |                | 【知識・技能】<br>   |   |   |   |    |
| 2次関数のグラフと2次不等式の解について理解する。  【思考力、判断力、表現力等] 2次関数のグラフと変ができる。  【思考力、判断力、表現力等] 2次関数のグラフと変ができる。  【思考力、判断・表現】  「実際は、2次方程式の実数解であることを理解し、2次方程式の解の個数や2次不等式の解を2次所表式の解の個数や2次不等式の解を2次所表式の変数解であることを理解し、2次方程式の実数解であることを理解し、2次方程式の解の個数や2次不等式の解を求めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとを軸との位置関係についてきる。  【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとを軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を2次不等式を用いて解決しようとする。 | 2. 2 次関数のグラフを利用して2次方程式や2次不等式の解について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 2 次関数のグラフと2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係を理解し、2次不等式の解を2次関数のグラフと表記した。 【思考力、判断力、表現力等】 2 次関数のグラフ、2 次方程式、2次不等式を関連づけて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2 次関数のグラフとx軸との位置関係についてきる。 【学びに向かう力、人間性等】 2 次関数のグラフとx軸との位置関係について語べて、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2次不等式を開いて解決しようとする。 【字 根表本   |   |                | -   |   |   |   |    |
| 2次関数のグラフを利用して2次方程式や2次不等式の解について理解する。         [思考力、判断力、表現力等]         2 次関数のグラフと変を関数のグラフと変にできる。         [思考力、判断力、表現力等]         2 次関数のグラフと変に変し、2 次不等式の解を 2 次関数のグラフと変にできる。         [思考・判断・表現]   | 2次関数のグラフを利用して2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフと2次不等式の解と2次関数のグラフを用いて理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフ・2次方程式、2次不等式を関連づけて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとx軸との位置関係について語べて、2次不等式の関係を対し、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2次不等式を開せた。2次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2次不等式を用いて解決しようとする。  「中田本本   |   | 2.2次関数の        |   |   |   |   |    |
| 【思考力、判断力、表現力等】 2 次関数のグラフ、2 次方程式、2次方程式の解の個数や 2 次不等式の解であることを理解し、2 次方程式の解の個数や 2 次不等式の解ですることができる。  | 【思考・判断・表現】   | フを利用して2次方<br>程式や2次不等式<br>の解について理解   | グラフと 2 次不      | ・2 次不等式の解と2 次関数のグラフとの関係を理解し、2 次不等式の解を2 次関数のグラフ  |   |   |   |    |
| カ、表現力等】       ・y=ax^2+bx+c のグラフとx軸との共有点のx座標は、2 次方程式の実数解であることを理解し、2 次方程式の解の個数や 2 次不等式の解を求めることができる。         2 次関数のグラフ・2 次方程式、2 次不等式を関連づけて考えることができる。       ・共有点の個数を D=b^2-4ac を計算することにより、その符号で判断できる。         【学びに向かう力、人間性等】       2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を・2 次不等式を用いて解決しようとする。   | カ、表現力等】       ・y=ax^2+bx+c のグラフとx軸との共有点のx座標は、2 次方程式の実数解であることを理解し、2 次方程式の解の個数や 2 次不等式の解を求めることができる。         2 次関数のグラフ、2 次方程式、2 次不等式を関連づけて考えることができる。       ・共有点の個数を D=b^2-4ac を計算することにより、その符号で判断できる。         【学びに向かう力、人間性等】       2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次開数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。   | する。   |                | <br> 【思考・判断・表現】   |   |   |   |    |
| フ, 2 次方程式、2<br>次不等式を関連づけて考えることができる。       ・共有点の個数を D=b^2-4ac を計算することにより、その符号で判断できる。         【学びに向かう<br>力、人間性等】       (主体的に学習に取り組む態度】         2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。       つ。  | フ、2 次方程式、2<br>次不等式を関連づけて考えることができる。       ・共有点の個数を D=b^2 - 4ac を計算することにより、その符号で判断できる。         【学びに向かう<br>力、人間性等】       (主体的に学習に取り組む態度】         2 次関数のグラフとx軸との位置関係について認べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。       11   |   |                | <ul><li>・y=ax^2+bx+c のグラフと×軸との共有点の×座<br/>標は、2 次方程式の実数解であることを理解</li></ul>  |   |   |   |    |
| 次不等式を関連づけて考えることができる。       ・共有点の個数を D=b^2-4ac を計算することにより、その符号で判断できる。         【字びに向かう力、人間性等】       (主体的に学習に取り組む態度】         2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。       調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。         を1 の のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。       1 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の   | 次不等式を関連づけて考えることができる。       ・共有点の個数を D=b^2 - 4ac を計算することにより、その符号で判断できる。         【学びに向かう力、人間性等】       2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。  |   |                |   |   |   |   |    |
| (字びに向かり       力、人間性等】         2次関数のグラフとx軸との位置関係について       調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもっ。身近な問題を、2次不等式を用いて解決しようとする。  | 11 2 次関数のグラフとx軸との位置関係について 調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をも つ。   | 次不等式を関連づ<br>けて考えることがで   |                | ・共有点の個数を D=b^2ー4ac を計算すること  | 0 | 0 | 0 |    |
| 2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。身近な問題を、2次不等式を用いて解決しようとする。   | 2 次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2 次不等式の解のタイプに関心をもつ。  「なっとっ。身近な問題を、2 次不等式を用いて解決しようとする。  「文明者本   |   |                |   |   |   |   | 11 |
| をもつ。身近な問題を、2次不等式を用いて解決しようとする。  | をもつ。身近な問題を、2次不等式を用いて解決しようとする。  | フと×軸との位置関<br>係について調べ<br>て、2 次不等式の   |                | 調べて、2次不等式の解のタイプに関心をも  |   |   |   |    |
|  | 中期 <b>老</b> 本  | をもつ。身近な問<br>題を, 2 次不等式<br>を用いて解決しよう   |                |   |   |   |   |    |
|  | 定期考査   | とする。<br>  |                |   |   |   |   |    |
|  |  | 定期考査  |                |   | 0 | 0 | 0 | 1  |

|      | 図形と計量   | 1節 三角比  | 【知識·技能】   |   |   |   |    |
|------|---|---|---|---|---|---|----|
| 3 学期 | 【 三弦導の係る 【表 長な用 学間 角関し比角つする関 という 大い はいい 大い 関のる に等 のをと相らとを三係の は、のののでは、一次ののでは、一次ののでは、一次ののでは、一次ののでは、一次ののでは、一次ののでは、一次では、一次のでは、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次 | 1. 三角比<br>2. 三角比の性<br>質<br>3. 三角比の拡<br>張                                | ・座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。 ・具体的な事象について三角比を使って考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。 30°、45°、60°の三角比を直角三角形の辺の比から求めることができる。 ・鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角比の相互関係に関心をもち、考察しようとする。 鈍角の三角比を考えることに関心をもち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。 | 0 | 0 | 0 | 11 |
|      | 三量 【 三角や定量る 【表 平るや正理形のと・三間用角  | <ol> <li>正弦定理</li> <li>余弦定理</li> <li>三角形の面積</li> <li>空間図形の計量</li> </ol> | 【知識・技能】 三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察をすることができる。 【思考・判断・表現】 三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとする。 ・三角比を用いて三角形の面積や空間図形の計量に活用しようとする。  | 0 | 0 | 0 | 10 |

| ・面積などを求めら |  |  |  |     |
|-----------|--|--|--|-----|
| れる。       |  |  |  |     |
| 【学びに向かう力、 |  |  |  |     |
| 人間性等】     |  |  |  |     |
| 日常の事象や社会  |  |  |  |     |
| の事象などに三角  |  |  |  |     |
| 比を活用しようとす |  |  |  |     |
| る。正弦定理の図  |  |  |  |     |
| 形的意味を考察す  |  |  |  |     |
| る。余弦定理の図  |  |  |  |     |
| 形的意味を考察す  |  |  |  |     |
| る。        |  |  |  |     |
| 定期考査      |  |  |  | 1   |
|           |  |  |  | 合   |
|           |  |  |  | 計   |
|           |  |  |  | 105 |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学A

教 科:数学 科 目: 数学A 単位数:2 単位 対象学年組:第 1学年 A組

使用教科書:(数研出版『新編数A』)

教科 数学の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

### 科目 数学 A の目標:

| 【知識及び技能】            | 【思考力、判断力、表現力等】     | 【学びに向かう力、人間性等】      |
|---------------------|--------------------|---------------------|
| 図形の性質、場合の数と確率についての  | 図形の構成要素間の関係などに着目し、 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとす |
| 基本的な概念や原理・法則を体系的に理  | 図形の性質を見いだし、論理的に考察す | る態度、粘り強く考え数学的論拠に基づ  |
| 解するとともに、数学と人間の活動の関  | る力、不確実な事象に着目し、確率の性 | いて判断しようとする態度、問題解決の  |
| 係について認識を深め、事象を数学化し  | 質などに基づいて事象の起こりやすさを | 過程を振り返って考察を深めたり、評価・ |
| たり、数学的に解釈したり、数学的に表  | 判断するカ、数学と人間の活動との関わ | 改善したりしようとする態度や創造性の  |
| 現・処理したりする技能を身に付けるよう | りに着目し、事象に数学の構造を見いだ | 基礎を養う。              |
| にする。                | し、数理的に考察する力を養う。    |                     |
|                     |                    |                     |

|      |   |  |   |   |   |   | 配   |
|------|---|--|---|---|---|---|-----|
|      | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目•内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 当時数 |
| 1 学期 | 数学と人間の活動<br>【知識及び技能】<br>数量に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>除法の原理と剰余による整数の分類について理解。 | 1節 数と人間の活動<br>1 数の歴史と記数法<br>2 n 進法<br>3 約数と倍数<br>4 最大公約数と最小<br>公倍数 | 【知識・技能】 ・素数や約数についての考え方や素因数分解を活用して、整数の性質を考察することができる。 ・除法における商と余りを活用して、整数の約数を考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・素因数分解を活用して、約数の個数を求めたり、最大公約数や最小公倍数を求めたりすることができる。 ・互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 ・互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 して関心を対して関心を持ち、調べようとする。 | 0 | 0 | 0 | 8   |
|      | 定期考査  |  |   | 0 | 0 |   | 1   |
|      |   | 5 整数の割り算と商お<br>よび余り<br>6 ユークリッドの互除<br>法<br>7 不定方程式                 |   | 0 | 0 | 0 | 9   |
|      | 定期考査  |  |   | 0 | 0 |   | 1   |

|      | 場合の数と確率<br>【知識及び技能】<br>順列の意味を理解させ、その総数を求められるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>nPr、階乗、円順列や重複順列でもし、方ができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>組合せの意味を理解させ、その総数を求められるようにする。nCrの意味を理解させ、これを活用できるようにする。 | 1節 場合の数<br>1 集合と要素<br>2 集合の要素の個数<br>3 場合の数<br>4 順列<br>5 組合せ | 【知識・技能】 ・順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。 ・積の法則・和の法則が、順列の基本であることを認識できる。 【思考・判断・表現】・場合の数の求め方に見通しをもち、場合の数の求め方に見通しをもち、場合に応じた式をたてて計算ができる。・いろいろな組合せの問題に対し、組合せの記号を用いて表し、その総数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。・・積の法則・和の法則を理解し、具体的な場合に応用しようとする。        | 0 | 0 | 0 | 13 |
|------|---|---|---|---|---|---|----|
|      | 定期考査  |   |   | 0 | 0 |   | 1  |
| 2 学期 | 確知ない。<br>では、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな   | 1 事象と確率<br>2 確率の基本性質<br>3 確率<br>4 条件つき確率と乗<br>法定期待値         | 【知識・技能】 ・簡単な事象の確率を求めたり、その求め方を記げの確率や条件付き確率の表にできる。 ・反復計算が・表現】 ・いめできる。 【思っちができる。 、の数でできる。 ・起に応方を考えることができる。 ・起になった。 ・起になったがでは、場合の数につい着ができる。 ・起に確かいだし、対象することができる。 ・起になった。 ・地の表えることができる。 ・地の表えいたできる。 ・地の表えを表に、 「可に確かいた。 ・期もことができる。 【主本の考えな事象の考察に活用しよる。 とができる。  「主本の考えな事る。 | 0 | 0 | 0 | 12 |

|      | 定期考査  |   |  | 0 | 0 |   | 1  |
|------|---|---|--|---|---|---|----|
|      | 図形の性質【知識及び技能】外角の場合も含めた角の二等分線と辺の比の関係、重心、外心などの性質を理考力、判断力、表現力等】外角の場と辺の上の関係、工等分線と辺の上の関係の性質を別でした。これらの図形ののできる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形のさまな性質についるようとする。   | 1節 三角形の性質 1 三角形と線分の比 2 三角形の重心・内心・外心 3 メネラウスの定理とチェバの定理 | 【知識・技能】 ・三角形の角の二等分線と線分の比質について、その語る。 ・重心、内心などのできる。 ・重心、内心などのできる。 ・メネラウスの定理、チェバの定理について、その証明を通して考察することができる。 ・メネラウスの定理、チェバの定理について、その記明を通りできる。 【思角形についた。なおの性質をある。 ・重心、内心、外心の性質をおる。 ・重心、内心、外心の性質をさきる。 ・メネラウスの定理、チェバの定対の比や長さを求めることができる。 ・重心、内心、外心の性質をおいて、かることができる。 ・メネラウスの、線分のとができる。 ・メネラウスの、線分のとができる。 ・メネラウスのに関いて、線分の定さを求めることができる。 【主角形のさまざまな性質にようとする。 | Ο | 0 | 0 | 13 |
| 3 学期 | 作図<br>【知識及び技能】<br>作図の基本を基にして、平<br>行線や分点の作図の方法<br>を理解。<br>【思考力、判断力、表現力<br>等】<br>単位の長さの線分が与えられたとき、いろいろな長さの<br>線分を作図する方法を理<br>解。<br>【学びに向かう力、人間性<br>等】<br>いろいろな図形の作図方法<br>について考え、証明しようと<br>する。 | 1 作図  | 【知識・技能】 ・それぞれの作図の方法で、目的の図形がかける理由を考えることができる。 ・作図の問題を、さまざまな平面図形の性質を用いながら見通しをもって考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・作図の問題を、さまざまな平面図形の性質を用いながら解決し、それが正しいことを証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】いろな図形の作図方法について考えようとしたり、証明しようとする。   | 0 | 0 |   | 3  |
|      | 空間図形 【知識及び技能】 空間における直線や平面の 位置関係について理解。 【思考力、判断力、表現力等】 多面体の性質について理解。 【学びに向かう力、人間性等】 ・空間図形の問題を、平面 図形や空間図形の性質を 用いて解決しようとする。  | 1 空間における直線<br>と平面<br>2 多面体                            | 【知識・技能】 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて考察することができる。 ・直線や平面を決定する条件について、考察することができる。 【思考・判断・表現】 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて処理し、解決することができる。 ・空間図形について、直線や平面の位置関係を答え、2直線や2平  | 0 | 0 | 0 | 7  |

| ・空間図形について、直線や平面の位置関係やなす角について、進んで調べようとする。 | 面のなす角を求めることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・空間図形の問題を、平面図形や<br>空間図形の性質を用いて解決し<br>ようとする。<br>・空間図形について、直線や平面<br>の位置関係やなす角について、<br>進んで調べようとする。 |   |   |    |
|--|--|---|---|----|
| 定期考査                                     |  |   |   | 1  |
|  |  | 0 | 0 | 合計 |
|  |  |   |   | 70 |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科:理科 科目:化学基礎

教 科: 理科 科 目: 化学基礎 単位数:2 単位 対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書:第一学習社『高等学校 新化学基礎』

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養 う。

# 科目 化学基礎 の目標:

| 【知識及び技能】            | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】       |
|---------------------|---------------------|----------------------|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、物 | 自然の事物・現象から問題を見いだし、見 | 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通  |
| 質とその変化についての概念や原理・法  | 通しをもって観察、実験などを行い、得ら | しをもったり振り返ったりするなど、科学的 |
| 則などを理解しているとともに、科学的に | れた結果を分析して解釈し、表現するな  | に探究する態度を養う。          |
| 探究するために必要な観察、実験などに  | ど、科学的に探究する力を養う。     |                      |
| 関する基本操作や記録などの技能を身に  |                     |                      |
| 付けるようにする。           |                     |                      |
|                     |                     |                      |

|      | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目·内容   | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|------|---|---|--|---|---|---|------|
| 1 学期 | A 序章 【知識・技能】 ・化学が物質やその変化を対象化を対象としている。 ・物は質の性質を調べ探究する活動を通している。 ・物に変化を理解している。 ・物に変化を理解している。 ・物に質の性質を調べ探究ができるように表現 ・物に実験はある。 【思考・判断・表現 の性質学的に実験する。 【思考・判断・表現 の性質学的に実験する。 「学常常のに対したができるようになる。 【学常性のでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別 | 指導事項 ・日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、これらの物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。 ・科目の導入として、化学への興味・関心を高める。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント・一人1台端末の活用等 | 【知識・技能】 ・化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。 ・物質の性質を調べる活動を通をで探究する方法を身に付けている。  【思考・判断・表現】 物質の性質を調べる活動方法を身に付けている。  【思考・判断・表現】 物質の性質を調べる活動を通をでいるができる。  【思考・判断・表現】 物質の性質を調べる活動を通を表現したりに対応を表現とができる。  【思考・判断・表現】 ・当時では、表現】 ・当時では、表現でできる。  「主体的に学習に取り組むを支える対のに対し、対応を表現を対し、対応を表現を対し、対応を表現を対して、対応に対し、対応に対し、対応に対して、対応に対して、対応に対しが対応に対しが対応に対応に対しが対応に対しが対応に対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応に対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対応が対 | 0 | 0 | 0 | 3    |

### B 物質とその構成要素

### 【知識及び技能】

- ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解する。
- ・混合物の分離や成分元素 の確認などの実験を理解し、 物質を探究する具体的な方 法を身に付ける。
- ・粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解する。
- ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、 知識を身に付ける。
- ・原子の電子配置を理解し原子番号 20 番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができるようになる。
- ・原子の電子配置と周期表の 族や周期との関係について 理解する。

# 【思考力、判断力、表現力 等】

- ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できるようになる。
- ・粒子の熱運動と温度の関係や、粒子の熱運動と粒子間に働く力の関係をもとに、温度と物質の状態変化の関係を的確に表現することができるようになる。
- ・原子の電子配置と周期表の 族や周期との関係を理解し、 周期性が現れる理由を的確 に表現することができるよう になる。
- ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできるようになる。

### 【学びに向かう力、人間性等】

・物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解する。

### 指導事項

- ・身近な物質を取り上げ、混合物から純物質を分離したり精製したりする実験などを行い、実験における基本操作と科学的に探究する方法を身に付ける。
- ・身近な物質を取り上げ、元素 を確認する実験などを行い、単 体や化合物について理解する。
- ・粒子の熱運動と粒子間に働く 力との関係により、物質の状態 変化が起こることを理解する。
- ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。
- ・元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。

#### 教材

教科書、ワーク、授業プリント

・一人1台端末の活用 等

### 【知識・技能】

- ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解している。
- ・混合物の分離や成分元素の 確認などの実験を理解し、物質 を探究する具体的な方法を身に 付けている。
- ・粒子の熱運動と粒子間に働く 力との関係によって、状態が変 化することを理解している。
- ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、知識を身に付けている。
- ・原子の電子配置を理解し、原子番号 20番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができる。
- ・原子の電子配置と周期表の族 や周期との関係について理解し ている。

### 【思考·判断·表現】

- ・観察・実験を通して、混合物、 純物質、単体、化合物について 考察し、それぞれの特徴を説明 できる。
- ・粒子の熱運動と温度の関係 や、粒子の熱運動と粒子間に働 く力の関係をもとに、温度と物質 の状態変化の関係を的確に表 現することができる。
- ・原子の電子配置と周期表の族 や周期との関係を理解し、周期 性が現れる理由を的確に表現 することができる。
- ・観察・実験の過程から、自らの 考えを導き出した報告書を作成 したり、発表したりできる。

# 【主体的に学習に取り組む態 度】

- ・物質に関心をもち、物質の取り 扱い方を理解しようとする。
- ・物質の構造や性質に関する事 象に関心をもち、意欲的に物質 を探究しようとする。

0 0

0

11

| ・物質の構造や性質に関する<br>事象に関心をもち、意欲的に<br>物質を探究する。  |  | ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究<br>しようとする。   |   |   |   |   |
|---|--|---|---|---|---|---|
| ・学習課題に対して積極的に<br>観察・実験を行い、意欲的に<br>探究する。   |  |   |   |   |   |   |
| 定期考査  |  |   | 0 | 0 |   | 1 |
| C 化学結合  | 指導事項   | 【知識·技能】   |   |   |   |   |
| 【知識及び技能】  | ・イオンの生成を電子配置と関   | ・イオンの生成を電子配置と関  |   |   |   |   |
| 【知識及び技能】 ・イオンの生成を配置との生理をし、イオンギげる。 ・イオンギげる。 ・イオン特質には、エ身には、エ身には、エ身には、エ身には、エ身には、エ身には、エ身には、エ身 | ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、イオンの指合がよる結合であることや、イオンには合うできた物質の性質を理解する。 ・共有結合でできた物質の性質を理解する。 ・共有結合でできた物質の性質を理解する。 ・金属結合であることを理解する。 ・金属結合であるでできた物質の性質を理解する。 ・金田がかり、一人のできた物質の性質を理解する。 ・金田がかり、一人のできた物質の性質を理解する。 ・金田がり、一人のできた物質の性質を理解する。 ・金田がり、一人のできた物質の性質を理解する。 ・本のできた物質の性質を理解する。 ・本の活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ・イオンの生成を電子では、イオンの生成し、イオンの生成し、イオンの生成し、イオンにつる。 ・イオンに付けている。 ・イオンの出話を身に付けている。 ・オークをでは、一人ででは、一人ででは、一人では、一人では、一人では、一人では、一人では、 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 明できるようになる。 ・分子の極性を電気陰性度 や結合の極性、分子の形を もとに総合的に判断できるようになる。                                   |  | 合的に判断できる。 ・観察・実験を通して、分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、表現できる。 ・金属結晶の性質を金属結合に   |   |   |   |   |
| ・観察・実験を通して、分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、表現できるようになる。 ・金属結晶の性質を金属結                              |  | もとづいて的確に表現できる。 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 ・観察・実験の過程から、自らの  |   |   |   |   |
| 合にもとづいて的確に表現で<br>きるようになる。   |  | 考えを導き出した報告書を作成<br>したり、発表したりできる。   |   |   |   |   |

| ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察する。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出したり、発表したりする。 【学びに向かう力、人間性等】・物質に関心をもち、物質の構造や性質に関する事象に関いをもち、物質を探究する。 ・物質が原子・分子・イオンなでいることを理解する。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。 |   | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。  |   |   |   |    |
|--|---|--|---|---|---|----|
| D 物質量と化学 [知識・技能] ・物質量と化学 [知識・技能] ・物質が表した。 ・物質が表した。 ・物質が表した。 ・物量がある。 ・物量がある。 ・物量がある。 ・物量がある。 ・物量がある。 ・物量がある。 ・物量をののでは、との質がで質がで質がで質がで質がでででででででででででででででででででででででで                          | ・指導事項 ・粒子の数にもとづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、物質量と気体の体積との関係について理解する。 ・化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化量を表すことを見いだして理解する。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表量 を明している。 ・物質量がある。 ・物質量がある。 ・物質量を理解しの関係を理解して、物質のないでは、物質のでは、物質の質量でである。 ・物気体の体積をある。 ・物気体の体積をある。 ・水濃度質ののでである。 ・水濃度質ののででである。 ・水濃度質ののででである。 ・水濃度質のでできる。 ・地質にできる。 ・地質にできる。 ・物関係を把握に付けている。  【思考・判断・表現】 ・化が成に断できる。  【思考・判断・表現】 ・化が成に断できる。 ・化が成に断げている。 ・とに物質にないが、に思考・判断・表現】 ・化が成に対対にない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 0 | 0 | 0 | 13 |

| ・観察・実験の過程から、自ら                        |                 | ・観察・実験の過程から、自らの                                 |   |   |   |    |
|---------------------------------------|-----------------|---|---|---|---|----|
| の考えを導き出した報告書を                         |                 | 考えを導き出した報告書を作成                                  |   |   |   |    |
| 作成したり、発表したりする。                        |                 | したり、発表したりできる。                                   |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
| <ul><li>実験で得られたデータをグ</li></ul>        |                 | <ul><li>実験で得られたデータをグラフ</li></ul>                |   |   |   |    |
| ラフ化するなどの処理を行                          |                 | 化するなどの処理を行い、結果                                  |   |   |   |    |
| い、結果を化学的に考察す                          |                 | を化学的に考察することができ                                  |   |   |   |    |
| る。                                    |                 | る。  |   |   |   |    |
| " "                                   |                 | " "   |   |   |   |    |
| ・化学反応の量的関係の実                          |                 | ・化学反応の量的関係の実験                                   |   |   |   |    |
| 験から、自らの考えを導き出                         |                 | から、自らの考えを導き出した                                  |   |   |   |    |
| した報告書を作成したり、発                         |                 | 報告書を作成したり、発表したり                                 |   |   |   |    |
| 表したりする。                               |                 | できる。  |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
| <br> 【学びに向かう力、人間性等】                   |                 | 【主体的に学習に取り組む態                                   |   |   |   |    |
| 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1 |                 | 度】  |   |   |   |    |
| <ul><li>化学変化の量的関係を物</li></ul>         |                 | [支】   |   |   |   |    |
| 質量と関連付けて考察する。                         |                 | ・化学変化の量的関係を物質量                                  |   |   |   |    |
|                                       |                 | と関連付けて考察しようとする。                                 |   |   |   |    |
| ・学習課題に対して積極的に                         |                 |   |   |   |   |    |
| 観察・実験を行い、意欲的に                         |                 | ・学習課題に対して積極的に観                                  |   |   |   |    |
| 探究する。                                 |                 | 察・実験を行い、意欲的に探究                                  |   |   |   |    |
|                                       |                 | しようとする。   |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
| 定期考査                                  |                 |   | 0 | 0 |   | 1  |
| E 酸・塩基とその反応                           | •指導事項           | 【知識·技能】   |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
| 【知識·技能】                               | ・粒子の数にもとづく量の表し方 | ・物質の構成粒子の質量の表し                                  |   |   |   |    |
| <br> ・酸と塩基の定義や分類を理                    | である物質量の概念を導入し、  | 方として、原子量・分子量・式量                                 |   |   |   |    |
|                                       | 物質量と質量、物質量と気体の  | を理解している。  |   |   |   |    |
| 解し、酸と塩基を価数や強弱                         | 体積との関係について理解す   | 455目 以此 フの **・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |   |   |   |    |
| にもとづいて分類することが                         | る。              | ・物質量が粒子の数にもとづく                                  |   |   |   |    |
| できるようになる。                             |                 | 量であることを理解し、物質量と                                 |   |   |   |    |
| <br> ・水溶液の性質(酸性・中性・                   | ・化学反応に関する実験などを  | 質量、気体の体積との関係も理                                  |   |   |   |    |
| 塩基性)と水素イオン濃度や                         | 行い, 化学反応式が化学反応  | 解している。  |   |   |   |    |
| pHとの関係を理解し、知識を                        | に関与する物質とその量的関   | - 物質量も入して 物質の質量                                 |   |   |   |    |
|                                       | 係を表すことを見いだして理解  | ・物質量を介して、物質の質量                                  |   |   |   |    |
| 身に付ける。                                | する。             | や気体の体積を相互に変換で                                   |   |   |   |    |
| ・中和反応について理解し、                         |                 | きる。   |   |   |   |    |
| 塩のなりたちや塩の水溶液                          |                 | ・水溶液の濃度をモル濃度で表                                  |   |   |   |    |
| の性質を理解する。                             | <br> ・教材        | し、濃度のわかっている水溶液                                  |   |   |   |    |
| の任員と年解する。                             | 3217            | 中の溶質の物質量を計算によ                                   |   |   |   |    |
| ・中和反応に関与する物質の                         | 教科書、ワーク、授業プリント  |   |   |   |   |    |
| 量的関係を理解し、中和反応                         |                 | って求めることができる。                                    | 0 | 0 | 0 | 12 |
| における酸と塩基の量的関                          | ・一人1台端末の活用 等    | ・化学変化と物理変化の違いを                                  |   |   |   |    |
| 係を計算によって求める。                          |                 | 理解し、化学変化を化学反応式                                  |   |   |   |    |
| NCE 1 3F1 COLD CONTON                 |                 | で用いて表すことができる。                                   |   |   |   |    |
| ・中和滴定の操作や中和滴                          |                 |   |   |   |   |    |
| 定曲線を理解し、実験器具の                         |                 | ・物質量の概念で化学変化の量                                  |   |   |   |    |
| 適切な取り扱いやグラフの見                         |                 | 的関係を把握する方法を理解                                   |   |   |   |    |
| 方などの知識を身に付ける。                         |                 | し、知識を身に付けている。                                   |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
|                                       |                 |   |   |   |   |    |
| │<br>【思考·判断·表現】                       |                 | <br> 【思考·判断·表現】                                 |   |   |   |    |
| 【心行 「刊刷「私机】                           |                 | ▲心勿「刊刷「私机】                                      |   |   |   |    |
| ・酸・塩基の観察、実験から                         |                 | ・化学変化では、一定の量的関                                  |   |   |   |    |
| 共通性を見いだし、酸・塩基                         |                 | 係が成り立つことを理解し、化                                  |   |   |   |    |
| の定義を理解し、日常生活と                         |                 | 学反応式をもとに物質の量的関                                  |   |   |   |    |
| 関連付けて考察する。                            |                 | 体を判断できる。  |   |   |   |    |
|                                       |                 | NETTHI CE'00                                    |   |   |   |    |
| <ul><li>・学習課題に対して観察・実</li></ul>       |                 |   |   |   |   |    |
| 験や調査を計画・実施し、結                         |                 |   |   |   |   |    |
| 1                                     | 1               | 1   | · | · |   |    |

| 果にもとづいて総合的に考察する。   |  | ・観察・実験の過程から、自らの 考えを導き出した報告書を作成 したり、発表したりできる。   |   |   |   |    |
|--|--|--|---|---|---|----|
| ・中和滴定の実験を通して、<br>それぞれの操作がどのような<br>意味をもっているのかを理解<br>し、実験結果に対してどのよ<br>うな影響があるかを考察す |  | ・実験で得られたデータをグラフ<br>化するなどの処理を行い、結果<br>を化学的に考察することができ<br>る。  |   |   |   |    |
| る。   |  | ・化学反応の量的関係の実験<br>から、自らの考えを導き出した<br>報告書を作成したり、発表したり   |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人間性等】 ・酸、塩基や中和反応に関心 をもち、それらを日常生活に 関連付けて、意欲的に探究 する。                      |  | できる。 【主体的に学習に取り組む態度】   |   |   |   |    |
| ・酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察  |  | ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。  |   |   |   |    |
| する。 ・学習課題に対して積極的に<br>観察・実験を行い、意欲的に<br>探究する。                                      |  | ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究<br>しようとする。  |   |   |   |    |
| 定期考査   |  |  | 0 | 0 | 0 | 1  |
| F 酸化還元反応   | ・指導事項  | 【知識·技能】  |   |   |   |    |
| 【知識・技能】 ・酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付ける。 ・酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができるようになる。               | 酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 ・教材 教科書、ワーク、授業プリント ・一人1台端末の活用等 | ・酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。 ・酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。 ・酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることがで |   |   |   |    |
| ・酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができるようになる。                               |  | きる。<br>・酸化還元反応の量的関係を理<br>解している。  |   |   |   |    |
| ・酸化還元反応の量的関係<br>を理解する。<br>・金属のイオン化傾向や金属<br>の反応性を理解し、知識を身<br>に付ける。                |  | ・金属のイオン化傾向や金属の<br>反応性を理解し、知識を身に付けている。<br>・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがある                               | 0 | 0 | 0 | 11 |
| ・酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の構成などの基本的な知識を身に                              |  | ことを理解し、電池の構成など<br>の基本的な知識を身に付けて<br>いる。   |   |   |   |    |
| 付ける。   |  | 【思考·判断·表現】   |   |   |   |    |
| 【思考・判断・表現】 ・代表的な酸化剤・還元剤の   |  | ・代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見いだし、自らの考えで表   |   |   |   |    |
| 観察から電子の授受としての<br>規則性を見いだし、自らの考<br>えで表現する。  |  | 現できる。 ・観察、実験を通して、酸化・還元の定義と、酸化数の定義の有効性を理解し、それらをもとに  |   |   |   |    |

|      | ・観察、実験を通して、酸化・<br>還元の定義と、酸化数の定<br>義の有効性を理解し、それら<br>をもとに事物・現象の中に共<br>通性を見出し、考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・燃焼、金属の溶解やあ、そ<br>の授受という観点からを意欲的に探究する。<br>・酸化還元反応の量的関係<br>を物質量と関連付けて考察<br>する。<br>・学習課題に対して積極的に<br>観究する。 |  | 事物・現象の中に共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・燃焼,金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究しようとする。 ・酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。 |   |   |   |              |
|------|--|--|---|---|---|---|--------------|
|      | 定期考査   |  |   | 0 | 0 | 0 | 1            |
|      | G 化学が拓く世界  | •指導事項  | 【知識·技能】   |   |   |   |              |
|      | 【知識・技能】 ・「化学基礎」で学んだ事柄 が、日常生活や社会を支える 科学技術と結びついていることを理解する。 【思考・判断・表現】  | 「化学基礎」で学んだ事柄が、<br>日常生活や社会を支えている<br>科学技術と結びついていること<br>を理解する。<br>・教材<br>教科書、ワーク、授業プリント | ・「化学基礎」で学んだ事柄が、<br>日常生活や社会を支える科学<br>技術と結びついていることを理<br>解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・「化学基礎」で学んだ事柄が日<br>常生活や社会でどのようにいか   |   |   |   |              |
| 3 学期 | ・「化学基礎」で学んだ事柄が<br>日常生活や社会でどのよう<br>にいかされているかを教科書<br>の題材以外にも範囲を広げ<br>て考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・「化学基礎」で学んだ事柄が<br>日常生活や社会の中でどの<br>ようにいかされているかに注<br>目し、意欲的に探究する。   | ・一人1台端末の活用 等   | されているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究しようとする。  | 0 | 0 | 0 | 8            |
|      | ・学習課題に対して積極的に<br>観察・実験を行い、意欲的に<br>探究する。<br>定期考査  |  | ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究<br>しようとする。   |   |   |   |              |
|      | · 化物分 县  |  |   | 0 | 0 |   | 合<br>計<br>70 |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I 教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数:3 単位 対象学年組:第 1学年 使用教科書:(三省堂『My Way English Communication I』)

# 教科 外国語 の目標:

### 【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際 のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

### 【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

# 【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

### 科目 英語コミュニケーション I の目標:

| 【知識及び技能】             | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】      |
|----------------------|---------------------|---------------------|
| 外国語の音声や語彙、表現、文法、     | コミュニケーションを行う目的や場面、  | 外国語の背景にある文化に対する理解   |
| 言語の働きなどの理解を深めるととも    | 状況などに応じて、日常的な話題や社   | を深め、聞き手、読み手、話し手、書き  |
| に、これらの知識を、聞くこと、読むこと、 | 会的な話題について、外国語で情報や   | 手に配慮しながら、主体的、自律的に外  |
| 話すこと、書くことによる実際のコミュニ  | 考えなどの概要や要点、詳細、話し手   | 国語を用いてコミュニケーションを図ろう |
| ケーションにおいて、目的や場面、状況   | や書き手の意図などを的確に理解した   | とする態度を養う。           |
| などに応じて適切に活用できる技能を身   | り、これらを活用して適切に表現したり  |                     |
| に付けるようにする。           | 伝え合ったりすることができる力を養う。 |                     |
|                      |                     |                     |

|       |   |         |   |   | 領域   | ;    |   |   |   |   |   | <b>=</b> 7 |
|-------|---|---------|---|---|------|------|---|---|---|---|---|------------|
|       | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目·内容 | 聞 | 読 | 話(や) | 話【発】 | 書 | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当時数       |
| 1 学 斯 | 言語の働きや役割などを<br>理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時<br>事問題や社会問題まで幅 | て・現在進行形 | 0 | 0 | 0    | 0    | 0 | 【知識及び技能】  〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】  〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題が幅広いに、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  〇聞いたり読んだりしたことな | 0 | 0 | 0 | 10         |
|       | 広い話題について、情報<br>や考えなどを外国語で的  |         |   |   |      |      |   | O聞いたり読んたりしたことな<br>どを活用して、自分の意見や   |   |   |   |            |

| 確に理解したり適切に伝え                |             |   |         |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし   |   |         |        |    |
|-----------------------------|-------------|---|---------|---|---|---|------------------|---|---------|--------|----|
| 合ったりしている。                   |             |   |         |   |   |   | て表現している          |   |         |        |    |
|                             |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| となどを活用して、自分の                |             |   |         |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等    |   |         |        |    |
| 意見や考えなどを話したり                |             |   |         |   |   |   | 〇他者を尊重し、聞き手・読み   |   |         |        |    |
| 書いたりして表現している                |             |   |         |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな   |   |         |        |    |
|                             |             |   |         |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだ   |   |         |        |    |
| 【学びに向かう力、人間性                |             |   |         |   |   |   | りしたことを活用して、自分の   |   |         |        |    |
| 等                           |             |   |         |   |   |   | 意見や考えなどを話したり書い   |   |         |        |    |
| 〇他者を尊重し、聞き手・                |             |   |         |   |   |   | たりして表現しようとしている。  |   |         |        |    |
| 読み手・話し手・書き手に                |             |   |         |   |   |   | 〇言語やその背景にある文化    |   |         |        |    |
| 配慮しながら、外国語で聞                |             |   |         |   |   |   | に対する関心を持って、自律    |   |         |        |    |
| いたり読んだりしたことを                |             |   |         |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて    |   |         |        |    |
| 活用して、自分の意見や                 |             |   |         |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし  |   |         |        |    |
| 考えなどを話したり書いた                |             |   |         |   |   |   | ている。             |   |         |        |    |
| りして表現しようとしてい                |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| る。                          |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| ○言語やその背景にある                 |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| 文化に対する関心を持っ                 |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| て、自律的、主体的に外国                |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| 語を用いてコミュニケーシ                |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| ョンを図ろうとしている。                |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| A 単元                        | ・一人1台端末の活用  |   |         |   |   |   | 【知識及び技能】         |   |         |        |    |
|                             | ・岩合光明氏について  |   |         |   |   |   | 〇外国語の4技能(聞くこと、   |   |         |        |    |
|                             | - 助動詞       |   |         |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)に |   |         |        |    |
| 〇外国語の4技能(聞くこ                |             |   |         |   |   |   | ついて、実際のコミュニケーシ   |   |         |        |    |
| と、読むこと、話すこと、書               | ・助動詞のついた受動態 |   |         |   |   |   | ョンにおいて活用できる知識・   |   |         |        |    |
| くこと)について、実際のコ               |             |   |         |   |   |   | 技能を身に付けている。      |   |         |        |    |
| ミュニケーションにおいて                |             |   |         |   |   |   | ○外国語の学習を通じて、言    |   |         |        |    |
| 活用できる知識・技能を身                |             |   |         |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し    |   |         |        |    |
| に付けている。                     |             |   |         |   |   |   | ている。             |   |         |        |    |
| 〇外国語の学習を通じて、                |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| 言語の働きや役割などを                 |             |   |         |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】   |   |         |        |    |
| 理解している。                     |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| 【思考力、判断力、表現力                |             |   |         |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ    |   |         |        |    |
| 等】                          |             |   |         |   |   |   | て、日常的な話題から時事問    |   |         |        |    |
| ○場面、目的、状況等に応                |             |   |         |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題    |   |         |        |    |
| じて、日常的な話題から時                |             |   |         |   |   |   | について、情報や考えなどを外   |   |         |        |    |
| 事問題や社会問題まで幅                 |             | 0 | $\circ$ | 0 | 0 | 0 | 国語で的確に理解したり適切    |   | $\circ$ | $\cap$ | 10 |
| 広い話題について、情報                 |             |   |         |   |   |   | に伝え合ったりしている。     |   |         |        | 10 |
| や考えなどを外国語で的                 |             |   |         |   |   |   | 〇聞いたり読んだりしたことな   |   |         |        |    |
| 確に理解したり適切に伝え                |             |   |         |   |   |   | どを活用して、自分の意見や    |   |         |        |    |
| 合ったりしている。                   |             |   |         |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし   |   |         |        |    |
| <br>  ○聞いたり読んだりしたこ          |             |   |         |   |   |   | て表現している          |   |         |        |    |
| となどを活用して、自分の                |             |   |         |   |   |   |                  |   |         |        |    |
| 意見や考えなどを話したり                |             |   |         |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等    |   |         |        |    |
| 息見や考えなどを話したり   書いたりして表現している |             |   |         |   |   |   | 〇他者を尊重し、聞き手・読み   |   |         |        |    |
| ·                           |             |   |         |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな   |   |         |        |    |
| 【学びに向かう力、人間性                |             |   |         |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだ   |   |         |        |    |
| 等                           |             |   |         |   |   |   | りしたことを活用して、自分の   |   |         |        |    |
| 〇他者を尊重し、聞き手・                |             |   |         |   |   |   | 意見や考えなどを話したり書い   |   |         |        |    |
| 読み手・話し手・書き手に                |             |   |         |   |   |   | たりして表現しようとしている。  |   |         |        |    |
| 配慮しながら、外国語で聞                |             |   |         |   |   |   | 〇言語やその背景にある文化    |   |         |        |    |
| いたり読んだりしたことを                |             |   |         |   |   |   | に対する関心を持って、自律    |   |         |        |    |
| 活用して、自分の意見や                 |             |   |         |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて    |   |         |        |    |
| 考えなどを話したり書いた                |             |   | Ì       |   | ĺ |   | 1                | 1 |         |        |    |

| T   | T                       | 1 | 1 |   | 1 | ı |                            | 1 |   |        |    |
|---|-------------------------|---|---|---|---|---|----------------------------|---|---|--------|----|
| りして表現しようとしてい  |                         |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし            |   |   |        |    |
| る。  |                         |   |   |   |   |   | ている。                       |   |   |        |    |
| 〇言語やその背景にある   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 文化に対する関心を持っ   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| て、自律的、主体的に外国  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 語を用いてコミュニケーシ  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| ョンを図ろうとしている。  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 定期考査  |                         |   | 0 |   |   | 0 |                            | 0 | 0 | 0      | 1  |
|   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| C 単元  | ・一人1台端末の活用              |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】                   |   |   |        |    |
|   | ・サバ缶について                |   |   |   |   |   | ○外国語の4技能(聞くこと、             |   |   |        |    |
| '   | -動名詞                    |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)に           |   |   |        |    |
|   | ▼to 不定詞の名詞的用法           |   |   |   |   |   | ついて、実際のコミュニケーシ             |   |   |        |    |
| 〇外国語の4技能(聞くこ  | ・to 不定詞の副詞的用法           |   |   |   |   |   | ョンにおいて活用できる知識・             |   |   |        |    |
| と、読むこと、話すこと、書   | ・to 不定詞の形容詞的用           |   |   |   |   |   | 技能を身に付けている。                |   |   |        |    |
| くこと)について、実際のコ   | 法                       |   |   |   |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言              |   |   |        |    |
| ミュニケーションにおいて  |                         |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し              |   |   |        |    |
| 活用できる知識・技能を身  |                         |   |   |   |   |   | ている。                       |   |   |        |    |
| に付けている。   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 〇外国語の学習を通じて、  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 言語の働きや役割などを   |                         |   |   |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】             |   |   |        |    |
| 理解している。   |                         |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ              |   |   |        |    |
| 【思考力、判断力、表現力  |                         |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問              |   |   |        |    |
| 等】  |                         |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題              |   |   |        |    |
|   |                         |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを外             |   |   |        |    |
| 〇場面、目的、状況等に応  |                         |   |   |   |   |   | 国語で的確に理解したり適切              |   |   |        |    |
| じて、日常的な話題から時  |                         |   |   |   |   |   | に伝え合ったりしている。               |   |   |        |    |
| 事問題や社会問題まで幅   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 広い話題について、情報   |                         |   |   |   |   |   | 〇聞いたり読んだりしたことな             |   |   |        |    |
| や考えなどを外国語で的   |                         |   |   |   |   |   | どを活用して、自分の意見や              |   |   |        |    |
| 確に理解したり適切に伝え  |                         | 0 | 0 | 0 |   |   | 考えなどを話したり書いたりし             | 0 | 0 | $\cap$ | 10 |
| 合ったりしている。   |                         |   |   |   |   |   | て表現している                    |   |   |        | 10 |
|   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| O聞いたり読んだりしたこ  |                         |   |   |   |   |   | 「 一方 かっち し 目 性 笠           |   |   |        |    |
| となどを活用して、自分の  |                         |   |   |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等              |   |   |        |    |
| 意見や考えなどを話したり  |                         |   |   |   |   |   | 〇他者を尊重し、聞き手・読み             |   |   |        |    |
| 書いたりして表現している  |                         |   |   |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな             |   |   |        |    |
| 【学びに向かう力、人間性  |                         |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだ             |   |   |        |    |
| 等   |                         |   |   |   |   |   | りしたことを活用して、自分の             |   |   |        |    |
| 〇他者を尊重し、聞き手・  |                         |   |   |   |   |   | 意見や考えなどを話したり書い             |   |   |        |    |
| 読み手・話し手・書き手に  |                         |   |   |   |   |   | たりして表現しようとしている。            |   |   |        |    |
| 配慮しながら、外国語で聞  |                         |   |   |   |   |   | 〇言語やその背景にある文化              |   |   |        |    |
|   |                         |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律              |   |   |        |    |
| いたり読んだりしたことを  |                         |   |   |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて              |   |   |        |    |
| 活用して、自分の意見や   |                         |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし            |   |   |        |    |
| 考えなどを話したり書いた  |                         |   |   |   |   |   | ている。                       |   |   |        |    |
| りして表現しようとしてい  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| る。  | İ                       |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 〇言語やその背景にある   |                         |   | ı |   | ĺ |   |                            |   |   |        |    |
|   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| 文化に対する関心を持つ   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| て、自律的、主体的に外国  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
|   |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| て、自律的、主体的に外国  |                         |   |   |   |   |   |                            |   |   |        |    |
| て、自律的、主体的に外国<br>語を用いてコミュニケーシ  | ・一人1台端末の活用              |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】                   |   |   |        |    |
| て、自律的、主体的に外国<br>語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。                                  | ・一人1台端末の活用<br>・プーさんについて |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】<br>〇外国語の4技能(聞くこと、 |   |   |        |    |
| て、自律的、主体的に外国<br>語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。<br>D 単元                          |                         | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |                            | 0 | 0 | 0      | 10 |
| て、自律的、主体的に外国<br>語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。<br>D 単元<br>Lesson4 Messages from | ・プーさんについて               | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 〇外国語の4技能(聞くこと、             | 0 | 0 | 0      | 10 |

| _ | 1                  |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|---|--------------------|-------------|---|----------|----------|---|---|-----------------------------|----------|---|---|----|
|   | 〇外国語の4技能(聞くこ       |             |   |          |          |   |   | ョンにおいて活用できる知識・              |          |   |   |    |
|   | と、読むこと、話すこと、書      |             |   |          |          |   |   | 技能を身に付けている。                 |          |   |   |    |
|   | くこと)について、実際のコ      |             |   |          |          |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言               |          |   |   |    |
|   | ミュニケーションにおいて       |             |   |          |          |   |   | 語の働きや役割などを理解し               |          |   |   |    |
|   | 活用できる知識・技能を身       |             |   |          |          |   |   | ている。                        |          |   |   |    |
|   | に付けている。            |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 〇外国語の学習を通じて、       |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   |                    |             |   |          |          |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】              |          |   |   |    |
|   | 言語の働きや役割などを        |             |   |          |          |   |   | 0.相子 B. 华汉等与内心              |          |   |   |    |
|   | 理解している。            |             |   |          |          |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ               |          |   |   |    |
|   | 【思考力、判断力、表現力       |             |   |          |          |   |   | て、日常的な話題から時事問               |          |   |   |    |
|   | 等】                 |             |   |          |          |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題               |          |   |   |    |
|   | <br> ○場面、目的、状況等に応  |             |   |          |          |   |   | について、情報や考えなどを外              |          |   |   |    |
|   |                    |             |   |          |          |   |   | 国語で的確に理解したり適切               |          |   |   |    |
|   | じて、日常的な話題から時       |             |   |          |          |   |   | に伝え合ったりしている。                |          |   |   |    |
|   | 事問題や社会問題まで幅        |             |   |          |          |   |   | - FR. 1.11-+ 1.1011 1 - 1.1 |          |   |   |    |
|   | 広い話題について、情報        |             |   |          |          |   |   | 〇聞いたり読んだりしたことな              |          |   |   |    |
|   | や考えなどを外国語で的        |             |   |          |          |   |   | どを活用して、自分の意見や               |          |   |   |    |
|   | 確に理解したり適切に伝え       |             |   |          |          |   |   | 考えなどを話したり書いたりし              |          |   |   |    |
|   | 合ったりしている。          |             |   |          |          |   |   | て表現している                     |          |   |   |    |
|   |                    |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 〇聞いたり読んだりしたこ       |             |   |          |          |   |   | F.M &                       |          |   |   |    |
|   | となどを活用して、自分の       |             |   |          |          |   |   | 【学びに向かう力、人間性等               |          |   |   |    |
|   | 意見や考えなどを話したり       |             |   |          |          |   |   | ○他者を尊重し、聞き手・読み              |          |   |   |    |
|   | 書いたりして表現している       |             |   |          |          |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな              |          |   |   |    |
|   |                    |             |   |          |          |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだ              |          |   |   |    |
|   | 【学びに向かう力、人間性       |             |   |          |          |   |   | りしたことを活用して、自分の              |          |   |   |    |
|   | 等                  |             |   |          |          |   |   | 意見や考えなどを話したり書い              |          |   |   |    |
|   | ○他者を尊重し、聞き手・       |             |   |          |          |   |   | たりして表現しようとしている。             |          |   |   |    |
|   | 読み手・話し手・書き手に       |             |   |          |          |   |   | 〇言語やその背景にある文化               |          |   |   |    |
|   | 配慮しながら、外国語で聞       |             |   |          |          |   |   | に対する関心を持って、自律               |          |   |   |    |
|   | いたり読んだりしたことを       |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 活用して、自分の意見や        |             |   |          |          |   |   | 的、主体的に外国語を用いて               |          |   |   |    |
|   | 考えなどを話したり書いた       |             |   |          |          |   |   | コミュニケーションを図ろうとし             |          |   |   |    |
|   | りして表現しようとしてい       |             |   |          |          |   |   | ている。                        |          |   |   |    |
|   | る。                 |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   |                    |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 〇言語やその背景にある        |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 文化に対する関心を持つ        |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | て、自律的、主体的に外国       |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 語を用いてコミュニケーシ       |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | ョンを図ろうとしている。       |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 定期考査               |             |   | 0        |          |   | 0 |                             | 0        | 0 | C | 1  |
|   | E 単元               | 1.1 台灣士の活用  |   |          |          |   |   | 【 ケロミ┷ TA フドナナ 会と】          | Ľ        | _ | _ |    |
|   |                    | ・一人1台端末の活用  |   |          |          |   |   | 【知識及び技能】                    |          |   |   |    |
|   | Lesson5 Endangered | ・世界の言語について  |   |          |          |   |   | ○外国語の4技能(聞くこと、              |          |   |   |    |
|   | Languages          | •関係代名詞(主格)  |   |          |          |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)に            |          |   |   |    |
|   | 【知識及び技能】           | •関係代名詞(目的格) |   |          |          |   |   | ついて、実際のコミュニケーシ              |          |   |   |    |
|   | 〇外国語の4技能(聞くこ       | •関係代名詞 what |   |          |          |   |   | ョンにおいて活用できる知識・              |          |   |   |    |
|   | と、読むこと、話すこと、書      |             |   |          |          |   |   | 技能を身に付けている。                 |          |   |   |    |
| 2 | くこと)について、実際のコ      |             |   |          |          |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言               |          |   |   |    |
|   | ミュニケーションにおいて       |             |   |          |          |   |   | 語の働きや役割などを理解し               |          |   |   | 10 |
| 学 | :<br>チェスキス知識・世代を自  |             | 0 | 0        | 0        | 0 | 0 | ている。                        | 0        | O | 0 | 10 |
| 斯 | に付けている。            |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 〇外国語の学習を通じて、       |             |   |          |          |   |   |                             |          |   |   |    |
|   | 言語の働きや役割などを        |             |   |          |          |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】              |          |   |   |    |
|   | 理解している。            |             |   |          |          |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ               |          |   |   |    |
|   | 【思考力、判断力、表現力       |             |   |          |          |   |   | て、日常的な話題から時事問               |          |   |   |    |
|   |                    |             |   |          |          |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題               |          |   |   |    |
|   | 等】                 |             |   |          |          |   |   | について、情報や考えなどを外              |          |   |   |    |
|   |                    |             |   | <u> </u> | <u> </u> |   |   | こついて、旧邦で与えなこを外              | <u> </u> |   |   |    |

○場面、目的、状況等に応 国語で的確に理解したり適切 じて、日常的な話題から時 に伝え合ったりしている。 事問題や社会問題まで幅 〇聞いたり読んだりしたことな 広い話題について、情報 どを活用して、自分の意見や や考えなどを外国語で的 考えなどを話したり書いたりし 確に理解したり適切に伝え て表現している 合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたこ 【学びに向かう力、人間性等 となどを活用して、自分の ○他者を尊重し、聞き手・読み 意見や考えなどを話したり 手・話し手・書き手に配慮しな 書いたりして表現している がら、外国語で聞いたり読んだ 【学びに向かう力、人間性 りしたことを活用して、自分の 意見や考えなどを話したり書い ○他者を尊重し、聞き手・ たりして表現しようとしている。 読み手・話し手・書き手に 〇言語やその背景にある文化 配慮しながら、外国語で聞 に対する関心を持って、自律 的、主体的に外国語を用いて いたり読んだりしたことを 活用して、自分の意見や コミュニケーションを図ろうとし 考えなどを話したり書いた ている。 りして表現しようとしてい る。 ○言語やその背景にある 文化に対する関心を持つ て、自律的、主体的に外国 語を用いてコミュニケーシ ョンを図ろうとしている。

| Traveler | 法   | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知の4技と、に対して、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の |   |        | 0 | 10 |
|----------|---|---|---|---|---|---|--|---|--------|---|----|
|          |   |   |   |   |   |   | <b>-</b>   | ) | $\cup$ | ) | _  |
|          | ・一人1台端末の活用 ・The Fugees について ・関係副詞 where ・関係副詞 when ・関係副詞 why ・比較級・最上級 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識及び技能】  〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】   | 0 | 0      | 0 | 10 |

| 【思考力、判断力、表現力  |                              |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ                          |   |    |    |
|---|------------------------------|---|---|---|---|---|--|---|----|----|
| 等】  |                              |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問                          |   |    |    |
| ○場面、目的、状況等に応  |                              |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題                          |   |    |    |
| じて、日常的な話題から時  |                              |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを外                         |   |    |    |
| 事問題や社会問題まで幅   |                              |   |   |   |   |   | 国語で的確に理解したり適切                          |   |    |    |
| 広い話題について、情報   |                              |   |   |   |   |   | に伝え合ったりしている。                           |   |    |    |
| や考えなどを外国語で的   |                              |   |   |   |   |   | 〇聞いたり読んだりしたことな                         |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え  |                              |   |   |   |   |   | どを活用して、自分の意見や                          |   |    |    |
| 合ったりしている。   |                              |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし                         |   |    |    |
|   |                              |   |   |   |   |   | て表現している                                |   |    |    |
| ○聞いたり読んだりしたこ  |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| となどを活用して、自分の  |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| 意見や考えなどを話したり  |                              |   |   |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等                          |   |    |    |
| 書いたりして表現している  |                              |   |   |   |   |   | 〇他者を尊重し、聞き手・読み                         |   |    |    |
| 【学びに向かう力、人間性  |                              |   |   |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな                         |   |    |    |
| 等   |                              |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだ                         |   |    |    |
| 〇他者を尊重し、聞き手・  |                              |   |   |   |   |   | りしたことを活用して、自分の                         |   |    |    |
| 読み手・話し手・書き手に  |                              |   |   |   |   |   | 意見や考えなどを話したり書い                         |   |    |    |
| 配慮しながら、外国語で聞  |                              |   |   |   |   |   | たりして表現しようとしている。                        |   |    |    |
| いたり読んだりしたことを  |                              |   |   |   |   |   | 〇言語やその背景にある文化                          |   |    |    |
| 活用して、自分の意見や   |                              |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律                          |   |    |    |
| 考えなどを話したり書いた  |                              |   |   |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて                          |   |    |    |
| りして表現しようとしてい  |                              |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし                        |   |    |    |
| る。  |                              |   |   |   |   |   | ている。                                   |   |    |    |
| ○言語やその背景にある   |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| 文化に対する関心を持っ   |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| て、自律的、主体的に外国  |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| 語を用いてコミュニケーシ  |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| ョンを図ろうとしている。  |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| H 単元  | ・一人1台端末の活用                   |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】                               |   |    |    |
| Lesson8 Avatar Robots                                       | <ul><li>分身ロボットについて</li></ul> |   |   |   |   |   | 〇外国語の4技能(聞くこと、                         |   |    |    |
| 【知識及び技能】  | ・条件を表す if 節                  |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)に                       |   |    |    |
| 〇外国語の4技能(聞くこ  | •仮定法過去                       |   |   |   |   |   | ついて、実際のコミュニケーシ                         |   |    |    |
| と、読むこと、話すこと、書   | ·I wish∼                     |   |   |   |   |   | ョンにおいて活用できる知識・                         |   |    |    |
| くこと)について、実際のコ   | •as if∼                      |   |   |   |   |   | 技能を身に付けている。                            |   |    |    |
| ミュニケーションにおいて  |                              |   |   |   |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言                          |   |    |    |
| 活用できる知識・技能を身  |                              |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し                          |   |    |    |
| に付けている。   |                              |   |   |   |   |   | ている。                                   |   |    |    |
| 〇外国語の学習を通じて、  |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| 言語の働きや役割などを   |                              |   |   |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】                         |   |    |    |
| 理解している。   |                              |   |   |   |   |   | [[[[]]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] |   |    |    |
| 【思考力、判断力、表現力  |                              |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ                          |   |    |    |
| 等】  |                              | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | て、日常的な話題から時事問                          | 0 | 00 | 10 |
| <br> ○場面、目的、状況等に応   |                              |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題                          |   |    |    |
| じて、日常的な話題から時  |                              |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを外                         |   |    |    |
| 事問題や社会問題まで幅   |                              |   |   |   |   |   | 国語で的確に理解したり適切                          |   |    |    |
| 広い話題について、情報   |                              |   |   |   |   |   | に伝え合ったりしている。                           |   |    |    |
| や考えなどを外国語で的   |                              |   |   |   |   |   | 〇聞いたり読んだりしたことな                         |   |    |    |
|   | 1                            |   |   |   |   |   | どを活用して、自分の意見や                          |   |    |    |
|   |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え  |                              |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし                         |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え<br>合ったりしている。                                   |                              |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし<br>て表現している              |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え合ったりしている。<br>〇聞いたり読んだりしたこ                       |                              |   |   |   |   |   |  |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え合ったりしている。<br>〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の           |                              |   |   |   |   |   | て表現している                                |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり |                              |   |   |   |   |   | て表現している<br>【学びに向かう力、人間性等               |   |    |    |
| 確に理解したり適切に伝え合ったりしている。<br>〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の           |                              |   |   |   |   |   | て表現している                                |   |    |    |

| 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・ 読み手・話し手・書き手に 配慮しながら、外国語で聞 いたり読んだりしたことを 活用して、自分の意見や 考えなどを話したり書いた りして表現しようとしている。 〇言語やその背景にある 文化に対する関心を持っ て、自律的、主体的に外国 語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |   |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。<br>〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| I 単元<br>Lesson9 Kadono Eiko and<br>the Power of Imagination   | ・一人1台端末の活用<br>・角野栄子氏について<br>・SVO102<br>・SVO + to 不定詞<br>・SVOC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識ないと、になり、   | 0 | 0 | 0 | 10 |

| 語を用いてコミュニケーシ            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
|-------------------------|-------------|---|---|---|---|---|----------------------------------|---|---|---|----------|
| ョンを図ろうとしている。            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
|                         |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
|                         | ・一人1台端末の活用  |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】                         |   | H |   |          |
| Lesson10 SDGs -         | ・SDGs について  |   |   |   |   |   | ○外国語の4技能(聞くこと、                   |   |   |   |          |
| Sustainable Development |             |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)に                 |   |   |   |          |
| Goals                   | , , , , , , |   |   |   |   |   | ついて、実際のコミュニケーシ                   |   |   |   |          |
| 【知識及び技能】                |             |   |   |   |   |   | ョンにおいて活用できる知識・                   |   |   |   |          |
| ○外国語の4技能(聞くこ            |             |   |   |   |   |   | 技能を身に付けている。                      |   |   |   |          |
| と、読むこと、話すこと、書           |             |   |   |   |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言                    |   |   |   |          |
| くこと)について、実際のコ           |             |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し                    |   |   |   |          |
| ミュニケーションにおいて            |             |   |   |   |   |   | ている。                             |   |   |   |          |
| 活用できる知識・技能を身            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| に付けている。                 |             |   |   |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】                   |   |   |   |          |
| 〇外国語の学習を通じて、            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| 言語の働きや役割などを             |             |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ                    |   |   |   |          |
| 理解している。                 |             |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問                    |   |   |   |          |
| 【思考力、判断力、表現力            |             |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題                    |   |   |   |          |
| 等】                      |             |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを外                   |   |   |   |          |
| <br>  ○場面、目的、状況等に応      |             |   |   |   |   |   | 国語で的確に理解したり適切                    |   |   |   |          |
| じて、日常的な話題から時            |             |   |   |   |   |   | に伝え合ったりしている。                     |   |   |   |          |
| 事問題や社会問題まで幅             |             |   |   |   |   |   | ○聞いたり読んだりしたことな                   |   |   |   |          |
| 広い話題について、情報             |             |   |   |   |   |   | どを活用して、自分の意見や                    |   |   |   |          |
| や考えなどを外国語で的             |             |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし                   |   |   |   |          |
| 確に理解したり適切に伝え            |             | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | て表現している                          | 0 | 0 | 0 | 12       |
| 合ったりしている。               |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| ○聞いたり読んだりしたこ            |             |   |   |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等                    |   |   |   |          |
| となどを活用して、自分の            |             |   |   |   |   |   | ○他者を尊重し、聞き手・読み                   |   |   |   |          |
| 意見や考えなどを話したり            |             |   |   |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな                   |   |   |   |          |
| 書いたりして表現している            |             |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読んだ                   |   |   |   |          |
| 【学びに向かう力、人間性            |             |   |   |   |   |   | りしたことを活用して、自分の<br>意見や考えなどを話したり書い |   |   |   |          |
| 等                       |             |   |   |   |   |   | たりして表現しようとしている。                  |   |   |   |          |
| 〇他者を尊重し、聞き手・            |             |   |   |   |   |   | 〇言語やその背景にある文化                    |   |   |   |          |
| 読み手・話し手・書き手に            |             |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律                    |   |   |   |          |
| 配慮しながら、外国語で聞            |             |   |   |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて                    |   |   |   |          |
| いたり読んだりしたことを            |             |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし                  |   |   |   |          |
| 活用して、自分の意見や             |             |   |   |   |   |   | ている。                             |   |   |   |          |
| 考えなどを話したり書いた            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| りして表現しようとしてい            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| る。<br>  〇言語やその背景にある     |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| 文化に対する関心を持つ             |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| て、自律的、主体的に外国            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   |          |
| 語を用いてコミュニケーシ            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   | 合品       |
| ョンを図ろうとしている。            |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   | 計<br>105 |
|                         |             |   |   |   |   |   |                                  |   |   |   | 105      |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 外国語 科目 論理·表現 I

教 科: 外国語 科 目: 論理・表現Ⅰ 単位数:2単位 単位対象学年組:第 1学年

使用教科書:(啓林館『Vision Quest English Logic and Expression』)

教科 外国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書く ことによる実際 のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能 を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題につ いて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解した り、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しなが ら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

#### 科目 論理・表現 Ⅰ の目標:

#### 【知識及び技能】

# 【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の学習を通じて、言語の働きや役 現,文法の知識を身に付けている。

外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技 能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと) において実際のコミュニケーションの場面 で運用できる技能を身に付けている。外国 広い話題について外国語を話したり書い 語の音声や語彙、表現、文法、言語の働 きなどの理解を深めるとともに、これらの 知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書く ことによる実際のコミュニケーションにおい「て、日常的な話題や社会的な話題につい て、目的や場面、状況などに応じて適切に て、外国語で情報や考えなどの概要や要 活用できる技能を身に付けるようにする。

割などを理解し、外国語の音声、語彙・表 について、情報や考えなどの概要・詳細・ 意図を外国語で的確に理解したり適切に 表現したりしている。

> 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを 活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅 している。 たりして、情報や考えなどの概要・詳細・意 図を適切に伝え合っている。コミュニケー ションを行う目的や場面、状況などに応じ 点、詳細、話し手や書き手の意図などを的 確に理解したり、これらを活用して適切に 表現したり伝え合ったりすることができる 力を養う。

場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題│外国語を聞いたり読んだりして、情報や考 えなどを的確に理解している。

> 外国語の学習を通じて、言語やその背景 にある文化を尊重し、自律的・主体的に外 国語を用いてコミュニケーションを図ろうと

> 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書 き手に配慮しながら,外国語で聞いたり読 んだりしたことを活用して、自分の意見や 考えなどを話したり書いたりして表現しよう としている。外国語の背景にある文化に対 する理解を深め、聞き手、読み手、話し 手、書き手に配慮しながら、主体的、自律 的に外国語を用いてコミュニケーションを 図ろうとする態度を養う。

|       |                 |                                 |   | , | 領垣   | ţ    |   |  |   |   |   | <b>=</b> 7 |
|-------|-----------------|---------------------------------|---|---|------|------|---|--|---|---|---|------------|
|       | 単元の具体的な指導目<br>標 | 指導項目·内容                         | 聞 | 読 | 話[や] | 話【発】 | 書 | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当時数       |
| 1 学 期 |                 | ・一人1台端末の活用<br>・自己紹介の表現<br>・文の種類 | 0 | 0 | 0    | 0    | 0 | 【知識及び技能】  〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと) について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】  〇場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題 | 0 | 0 | 0 | 6          |

| ついて、情語では、   |                                  |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを<br>外国語で的確に理解したり適<br>切に伝え合ったりしている。<br>〇聞いたり読んだりしたことな<br>考えなどをおして、自分・書いたりして<br>考えなどをいる<br>【学びに向かう力、聞き手・記して<br>〇世者を尊重し、野に配り、<br>手・語で聞いたりととを活用して、<br>がら、外国語で聞いたりとして<br>の意見しても考えなどを表現しようとしている。<br>〇言語を考えなどをある自になり書いたりして、<br>もの背景にある自になりました。<br>〇言はなりにからからに対したことを図る。<br>で対したことを記したりましている。 |   |   |   |   |
|---|----------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| to join our show? 【知識及び技能】 〇文化祭についてパートナーと話し合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 〇場面、目的、状況等に応じて、時間題で、情報や社会問題まで「情報や社」について、増加でいて、情報や神通にで、情報で的確に理解したり適切に伝え合 | ・一人1台端末の活用<br>・学校生活の表現<br>・文型と動詞 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識及び技能】  〇外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと) について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。  〇外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。  【思考力、判断力、表現力等】  〇場面、目的、状況等に応じて、時常的な話題から時事話題で幅広い話題から時期まで幅広い話題がら時事話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適  | 0 | 0 | 0 | 6 |
| ったりしている。  〇聞いたり読んだりした ことなどを活用して、自 分の意見や考えなどを 話したり書いたりして表 現している 【学びに向かう力、人間 性等 〇他者を尊重し、聞き 手・読み手・話し手・書 き手に配慮しながら、外 国語で聞いたり読んだ                 |                                  |   |   |   |   |   | 切に伝え合ったりしている。  ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり   |   |   |   |   |

| りしたことを活用して、<br>自分の意見や考えなど<br>を話したり書いたりして<br>表現しようとしている。<br>〇言語やその背景にあ<br>る文化に対する関心を<br>持って、自律的、主体<br>的に外国語を用いてコ<br>ミュニケーションを図ろ<br>うとしている。  |   |   |   |   |   |   | 書いたりして表現しようとしている。<br>〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期考査   |   |   | 0 |   |   | 0 |   | 0 | 0 | 0 | 1 |
| C Lesson3 I' in weekend.  Lesson3 I' in weekend.  I' in Week | ・一人1台端末の活用・旅行・観光の表現・時制                      | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識の4により、<br>(知識の4により、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(間できなり、<br>(日ででいてには、<br>(日ででいてには、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、<br>(日ででは、)) (日ででは、)) | 0 | 0 | 0 | 6 |
| D 単元<br>Lesson4 Have you ever<br>tried it before?<br>【知識及び技能】  | ・一人1台端末の活用<br>・趣味・関心のある事<br>柄に関する表現<br>・完了形 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識及び技能】<br>〇外国語の4技能(聞くこと、<br>読むこと、話すこと、書くこと)<br>について、実際のコミュニケー   | 0 | 0 | 0 | 6 |

|     | ○スポーツや音楽の経            |                          |   |   |   |   |   | ションにおいて活用できる知  |   |   |   |     |
|-----|-----------------------|--------------------------|---|---|---|---|---|--|---|---|---|-----|
|     | 験をパートナーに話す            |                          |   |   |   |   |   | 識・技能を身に付けている。  |   |   |   |     |
|     | ことができる。               |                          |   |   |   |   |   | ○外国語の学習を通じて、言  |   |   |   |     |
|     |                       |                          |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し  |   |   |   |     |
|     | 【思考力、判断力、表現           |                          |   |   |   |   |   | ている。   |   |   |   |     |
|     | 力等】                   |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     |                       |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 〇場面、目的、状況等            |                          |   |   |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】   |   |   |   |     |
|     | に応じて、日常的な話            |                          |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ  |   |   |   |     |
|     | 題から時事問題や社会            |                          |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問  |   |   |   |     |
|     | 問題まで幅広い話題に            |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | ついて、情報や考えな            |                          |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題  |   |   |   |     |
|     | どを外国語で的確に理            |                          |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを  |   |   |   |     |
|     | 解したり適切に伝え合            |                          |   |   |   |   |   | 外国語で的確に理解したり適  |   |   |   |     |
|     | ったりしている。              |                          |   |   |   |   |   | 切に伝え合ったりしている。  |   |   |   |     |
|     | 71290 CU 100          |                          |   |   |   |   |   | ○聞いたり読んだりしたことな   |   |   |   |     |
|     | 〇聞いたり読んだりした           |                          |   |   |   |   |   | どを活用して、自分の意見や  |   |   |   |     |
|     | ことなどを活用して、自           |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 分の意見や考えなどを            |                          |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし   |   |   |   |     |
|     | 話したり書いたりして表           |                          |   |   |   |   |   | て表現している  |   |   |   |     |
|     | 現している                 |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     |                       |                          |   |   |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等  |   |   |   |     |
|     | 【学びに向かう力、人間           |                          |   |   |   |   |   | ○他者を尊重し、聞き手・読み   |   |   |   |     |
|     | 性等                    |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 〇他者を尊重し、聞き            |                          |   |   |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな   |   |   |   |     |
|     | 手・読み手・話し手・書           |                          |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読ん  |   |   |   |     |
|     | き手に配慮しながら、外           |                          |   |   |   |   |   | だりしたことを活用して、自分   |   |   |   |     |
|     | 国語で聞いたり読んだ            |                          |   |   |   |   |   | の意見や考えなどを話したり  |   |   |   |     |
|     | りしたことを活用して、           |                          |   |   |   |   |   | 書いたりして表現しようとして   |   |   |   |     |
|     |                       |                          |   |   |   |   |   | いる。  |   |   |   |     |
|     | 自分の意見や考えなど            |                          |   |   |   |   |   | 〇言語やその背景にある文化  |   |   |   |     |
|     | を話したり書いたりして           |                          |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律  |   |   |   |     |
|     | 表現しようとしている。           |                          |   |   |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて  |   |   |   |     |
|     | ○言語やその背景にあ            |                          |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし  |   |   |   |     |
|     | る文化に対する関心を            |                          |   |   |   |   |   | ている。   |   |   |   |     |
|     | 持って、自律的、主体            |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 的に外国語を用いてコ            |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | ミュニケーションを図ろ           |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | うとしている。               |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 定期考査                  |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 之州乃且                  |                          |   | 0 |   |   | 0 |  | 0 | 0 | 0 | 1   |
|     | E 単元                  | ・一人1台端末の活用               |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】   |   |   |   |     |
|     | Lesson5 What do you   | ・将来・進路に係る表               |   |   |   |   |   | ○外国語の4技能(聞くこと、   |   |   |   |     |
|     | want to do after high | 現                        |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)  |   |   |   |     |
|     | school?               | ·助動詞                     |   |   |   |   |   | について、実際のコミュニケー   |   |   |   |     |
|     | 【知識及び技能】              | -53- <del>5</del> 3 H. 3 |   |   |   |   |   | ションにおいて活用できる知  |   |   |   |     |
|     | 〇パートナーに将来の            |                          |   |   |   |   |   | 識・技能を身に付けている。  |   |   |   |     |
|     | 夢を語ることができる。           |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     |                       |                          |   |   |   |   |   | ○外国語の学習を通じて、言語の母もりの割ればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば |   |   |   |     |
| 2   | 【思考力、判断力、表現           |                          |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し  |   |   |   |     |
| 学   | 力等】                   |                          | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | ている。   | 0 | 0 | 0 | 6   |
| 期   | 〇場面、目的、状況等            |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   | ١٠١ |
| 炒   | に応じて、日常的な話            |                          |   |   |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】   |   |   |   |     |
|     | 題から時事問題や社会            |                          |   |   |   |   |   |  |   |   |   |     |
|     | 問題まで幅広い話題に            |                          |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ  |   |   |   |     |
|     | ついて、情報や考えな            |                          |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問  |   |   |   |     |
|     |                       |                          |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題  |   |   |   |     |
|     | どを外国語で的確に理            |                          |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを  |   |   |   |     |
|     | 解したり適切に伝え合            |                          |   |   |   |   |   | 外国語で的確に理解したり適  |   |   |   |     |
|     | ったりしている。              |                          |   |   |   |   |   | 切に伝え合ったりしている。  |   |   |   |     |
| 1 1 |                       |                          |   | • | 1 | 1 |   |  |   | 1 | 1 | i   |

| ○聞いたり味んだりしたことな ことなどを満用して。自分の意見や 考えなどを 誠したり書いたりして表 現している 【学びに向かう力、人間 性等 ○他者を尊重し、間き 手・読み手・話しま・書 き中に配慮しながら、外 園話で聞いたり読んだ りいたことを活用して、自分の意見や考えなど を話したりまいたりして表現している。 ○言語やその背景にある る文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコ ミニケーションを図ろ うとしている。 「日素やその背景にある る文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコ ミニケーションを図ろ うとしている。 「日素とこのでは したい、含えたりすることができる。 「退考力、判断力、表現 カ・判断力、表現 カ・判断力、表現 カ・ラリてにして、自身的な話 語から呼鳴問題や社会 問題を呼鳴などを理解している。 「以来 大・記して、自身のな話をから時事で順記で的報じ理解したり、表えたりまた。 とができる。 「思考力、判断力、表現 カ・対所のな話題について、質問のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「表明のな話題について、「情報や表えなどを別している。 ○ の間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを 認した」とをを活用して、自分の意見や 考えなどを話したり書いたりして表現している。 「関いたりととを活したり書いたりして表現している。」 「関いてに関うすることがに対して表現している」 「学びに向かう力、人間性等 ○ 他者を尊重し、間き 手・読み手・話し手・書きに配慮しながら、外 国話で聞いたりとを話したり 書いたりにとを話したり 書いたりにことを活用して、自分の意見や 考えなどを話したり書いたりして、表現している 「学びに向かう力、人間性等 ○ 他者を尊重し、間き 手・読み手・話し手・書きにいりましたりして表現しようとして またいして表現しようとして   | Г Т                 | 1          |   |   |   |   |   |                 | 1 |   | 1 |   |
|---|---------------------|------------|---|---|---|---|---|-----------------|---|---|---|---|
| 分の意見や考えなどを<br>話したり書いたりして表現している<br>  【学びに向かう力、人間<br>性等<br>〇他者を尊重し、聞き<br>手続み手・話し手・書<br>き手に配慮しながら、外<br>国語で聞いたり込みだ<br>りしたことを活用して、自分の意見や考えなどを<br>を扱しようとしている。<br>〇言語やその背景にある文化<br>表現しようとしている。<br>〇言語やその背景にある<br>〇言語やその背景にある<br>〇言語やその背景にある<br>〇言語やその背景にある<br>下単元<br>Lesson6 Did you hear<br>about the new shop?<br>「知識及び技能]<br>〇 頁い物について質問<br>したり、答えたりずることができる。<br>[思考力、判断力、表現<br>力等]<br>〇 陽面、目的、状況等<br>に応じて、自常的な話<br>題から時事問題や社会<br>問題まで幅広い話題について、情報や考えな<br>どど外国語で修確に理解したり適<br>類したり、答えたり事にいる。<br>〇 間の、上が入だりしたことなどを活用して、自<br>分の意見や考えなどを<br>大りしている。<br>〇 間の、上が入だりしたことなどを活用して、自<br>分の意見や考えなどを<br>大りしている。<br>〇 間のにり挟んだりしたことなどを活用して、自<br>分の意見や考えなどを<br>大り上でしている。<br>〇 間のにかり挟んだりしたことなどを活用して、自<br>第していたりはかにがしたことなどを<br>選している。<br>〇 間のにかり挟んだりしたことなどを<br>選している。<br>〇 間のにかり挟んだりしたことなどを<br>選している。<br>〇 間のにかりまなどき、関や<br>でが、外国語で的域に理解したり適<br>対に伝えなどを<br>大り書いたりしている。<br>〇 同の、かの意見や考えなどを<br>大の音を事重し、聞き<br>手能み手・話し手・書<br>を「に応じて、自分の意見や<br>考えなどを話しずら、外<br>国話で的域に理解したりも<br>ったりしている。<br>〇 同のにかり挟んだりしたことなどを<br>とき活用して、自分の意見や<br>考えなどを あしずに可解している。<br>〇 同のにかり洗んだりまいたりして<br>で、日常的な話語のら時事問<br>題や社会問題まで確広し話題<br>について、情報や考えなどを<br>大の直見や考えなどを<br>大の目がでの域に理解したりも<br>考えなどを活とり書いたりして<br>表現している。<br>〇 同のかう力、人間性等<br>〇 他者を尊重し、聞き手に配慮しな<br>がら、外国語で間がにり読んが<br>がら、外国語で間がにり読んが<br>がら、外国語で間がにり読んが<br>がら、外国語で間がにもいまか。<br>での作者を事重し、聞き手、読み手・話し手・書<br>を呼に回じながら、外<br>国を手に配慮しながら、外<br>国を手に配慮しながら、外<br>国を手に配慮しながら、外<br>国を手に配慮しながら、外<br>のを見や考えなどを話したり<br>素がにとき話したり<br>まがにいりにてるとしまうとして<br>をいりして表見しようとして<br>まいとを目れて、自分の意見や<br>うなとを話したり書いたりして<br>の意見や考えなどを話したり<br>まがにり出まれたりました。<br>「とびに向かう力、人間性等<br>〇 他者を事重し、聞き手・読み<br>手がにかりましてい自分の意見や<br>のたりしてとを活用して、自分の意見や<br>の意見や考えなどを話したり<br>まがにりいてを表したりまか。<br>だりしてるともことしたり<br>まがしいてを表しようとして<br>とがら、外国語で聞かにりまか。<br>だりしてとを活したり<br>まずにいるしていら、<br>の意見や考えなどを話したり<br>まずにいるしていら、<br>の意とや考えなとを話したり<br>まずにいるしていら、<br>の意とを活したりまから、<br>がら、外国語で的なと述としたり<br>まずにいるとを活したり<br>まずにいるしまりしてるしまうとしたり<br>まずにいるしたり<br>まずにいるしていら、<br>のきりではないら、<br>のきりではなどを記したり<br>まずにいるしまうとしていら、<br>のきりにもないら、<br>のでしているしたり<br>まずにいるしたり<br>まずにいるしたり<br>まずにいるしたり<br>まずにいるしていら、<br>ではいりにてるしたりとしたり<br>まずにいるしているといりにているしたり<br>まずにいるしているとなるとしたり<br>まずにいるしているといるといるしたり<br>まずにいるしているといるとしたり<br>まずにいるしているといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 議したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書 き手に配慮しながら、外国語で聞いたり込み だりしたことを活用して、自分の意見や考えなど 表現しようとしている。 〇言語やその背景にある文化 に対する関心を持って、自律的、主体 的に外国語を用いてコニューケーションを図る うとしている。 「日常的、主体 のに対する関心を持って、自律的、主体 のに対する関心を持つて、自律的、一角 にあssの目のは you hear about the new sho? 【知識及び技能】 ○買い物について質問したり、各えたりすることができる。  【思考力、判断力、表現 カ等】 〇場面、目的、状況等 に応じて、日常的な話題から時事問題や社会 問題する地に対話題について、情報や考えなと を外国語で的陰に理解したり適 アルイに対するできましている。 〇間いたり後人だりしたことなど表別して、した。 〇の配いたり後人だりしたことなど表別している。 〇間により組みが大りしたことなど表別している。 〇間いたり後人だりしたことなど表別している。 〇間により違いたりして表現している。 〇性者を尊重し、関き手・読み手・話し手・書 ラ手に配慮しながら、外国語で聞いたりとないと 「学びに向かう力、人間性等 〇性者を尊重し、関き手・読み手・話し手・書 ラーを記したり言いたりして表現している。 「学びに向かう力、人間性等 〇性者を尊重し、関き手・読み手・話し手・書 ラーを記したり言いたりして表現している。 「学びに向かう力、人間性等 〇性者を尊重し、関き手・読み手・話し手・書 ラーを記したり言いたりして表現している。 「学びに向かう力、人間性等 〇性者を尊重し、関き手・読み手・話し手・書 ラーを記したがら、外国語で聞いたり込み だら、小国語で聞いたり込み だら、小国語で聞いたり込み だら、小国語で聞いたり込み だりしたことを活出して、自分 の意見や考えなどを話したり またりで表現しようとして またりで表現しまうとして  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 現している   「学びに向かう力、人間性等   | │ │ 分の意見や考えなどを      |            |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし  |   |   |   |   |
| (学びに向かう力、人間<br>性等<br>の他者を尊重し、開き手・読み手・話し手・書<br>き手に配慮しながら、外<br>国話で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分<br>の意見や考えなどを活用という。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の言語やその背景にある文化<br>に対する関かを持って、自律の<br>うとしている。<br>の見か問題のと持って、自体の<br>がら、外国語を用いて<br>コミュニケーションを図ろうとしている。<br>の外国語の生物で持って、自体の<br>に対する関いと持って、自体の<br>がら、外国語のはたい書について、情報や考えなどを<br>を内している。<br>の外国語の学習を通じて、言語の動きや役割などを理解している。<br>の外国語の学習を通じて、言語の助きや役割などを理解している。<br>の外国語の神主理解したり適切に伝え合ったりしている。<br>の間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを<br>がら、外国語で剛は三規解したり適切<br>になるとき活用して、自分の意見や考えなどを<br>ましたりまいたりして、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用している。<br>の間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>考えなどを活用して、自分の意見や<br>オンなどを活用して、自分の意見や<br>オンなどを活用して、自分の意見を<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見やおえなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見やなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見や考えなどを活用して、自分の<br>の意見を発見を活したり<br>書がたりして表現しようとして<br>響いたりして表現しようとして<br>響いたりして表現しようとして<br>響いたりして表現しようとして<br>響いたりして表現しようとして<br>響いたりして表現しようとして  | 話したり書いたりして表         |            |   |   |   |   |   | て表現している         |   |   |   |   |
| 性等  | 現している               |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 性等  |                     |            |   |   |   |   |   | 【学びに向かうカー人間性等   |   |   |   |   |
| ○他者を尊重し、開き   手・試み手・話し手・書   音手に配慮しながら、外   国語で開いたり読んだ   りたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり   書いたりして表現しようとしている。   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| <ul> <li>手・読み手・話し手・書<br/>き手に配慮しながら、外<br/>国話で間いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり<br/>者いたりして表現しようとしている。<br/>〇言語やその背景にある文化<br/>に対する関心を持って、自律的、主体<br/>的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。<br/>〇言語やその背景にある文化<br/>に対する関心を持って、自律的、主体<br/>的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>「単元<br/>Lesson6 Did you hear about the new shoo?<br/>[知識及び技能]<br/>〇頁い物について質問したり落えたりることができる。</li> <li>「思考力、判断力、表現力等]</li> <li>〇増面、目的、状況等に応じて、日常的な話題について、情報や考えなどを理解している。<br/>〇間いたり落えいけれる。</li> <li>〇間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを<br/>活むこと、話でこと、話で記とは<br/>では、日常的な話題について、情報や考えなどを<br/>が高、外国語で簡に理解したり適<br/>ので見いずまなどを<br/>第日にいる。</li> <li>〇間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを<br/>話したり書いたりして、<br/>こので見いで表えるとき<br/>話したり書いたりして表現している。</li> <li>〇間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを<br/>活したり書いたりして、表現している。</li> <li>〇間いたり読んだりしたことなどを<br/>活したり書いたりして、表現している。</li> <li>「学びに向かう力、人間性等<br/>〇他者を尊重し、間き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で間がにより読んだり<br/>第日に配慮しながら、外国語で間かにより読んだり、外国語で間かによりまれたりして表現しようとして</li> <li>「学びに向かう力、人間性等<br/>〇他者を尊重し、間き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で間がにとり読んだりによりまれたりして表現しようとして</li> </ul>  | ·                   |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| き手に配慮しながら、外<br>国語で聞いたり途んだ<br>りれたことを活用して、<br>自分の意見や考えなど<br>を話したり書いたりして<br>表現しようとしている。<br>〇言語やその背景にある文化<br>に対する関心を持って、自律的、主体<br>的に外国語を用いてコ<br>ミュニケーションを図ろうとしている。<br>「中常生活に関する表<br>おひは the new shop?<br>「知識及び技能!<br>〇買い物について質問<br>したり、答えたりするこ<br>とができる。<br>【思考カ、判断カ、表現<br>カ等】<br>〇場面、目的、状災等<br>に応じて、日常的な話<br>題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなと<br>どをが国話で的症に理解したり適<br>切している。<br>〇間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分<br>の角の意見や考えなどを<br>話したり書いたりにて、自分<br>の質いがに気合<br>の間いたり表のた見りしてな。<br>〇間になり添んだりしたことなどを活用して、自分<br>の間にかりにことなどを活用して、自分<br>の間にながら、外<br>国語で間にながら、外<br>国語で間にながら、外<br>国語で間にながら、外<br>国語で間にながら、外<br>国語で間にながら、外<br>国語で間にながら、外<br>国語で間にないら、外<br>国語で間にないら、外<br>国語で間にないたり<br>(学びに向かうカ、人間<br>性等<br>の他者を尊重し、聞き<br>手・読み手・話し手・書<br>多手に配慮しながら、外<br>国語で間にないがら、外<br>国語で間にないたり<br>第週している<br>(学びに向かうカ、人間<br>性等<br>の他者を尊重し、聞き<br>手・読み手・話し手・書<br>多手に配慮しながら、外<br>国語で間にないたり<br>の意見や考えなどを話したり書いたりして、<br>のこことを話したり書いたりして、<br>をどとに配慮しながら、外<br>国語で間にないたり<br>にかいて、自覚している<br>(学びに向かうカ、人間性等<br>の他者を尊重し、聞き<br>手・読み手・話し手・書<br>多手に配慮しながら、外<br>国語で間にないたり<br>の意見や考えなどを話したり<br>書にとしてを語したり<br>ましている<br>(学びに向かうカ、人間性等<br>の他者を尊重し、聞き<br>手・読み手・話し手・書<br>を手に配慮しながら、外<br>国語で間いたり読んだりしてことを話したり<br>ましたりまれたりして、<br>を活し手・書き手に配慮しながら、外<br>国語で間いたり読んが<br>がい、外国語で間いたり読んが<br>ましてして、自分<br>の意見や考えなどを話したり<br>書にとしてを語したり<br>書にとりことを話したり<br>書にとりことを話したり<br>書にとりことを話したり<br>ましている<br>とを活している<br>とを活している<br>は、外<br>の意見や考えなどを話したり<br>ましている<br>とを活したりましたり<br>を表している<br>ことを活したりましたり<br>を表している<br>ことを話したりましたり<br>を表している<br>ことを話したり<br>ましている<br>ことを話したりましたり<br>を表している<br>ことを話したり<br>ましている<br>ことを話したりましたり<br>を表している<br>ことを話したりましたり<br>ましている<br>ことを話したりましたり<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりに一を表して<br>を表している<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりによりましたり<br>またりによりまとを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり<br>またりにことを話したり   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| ■語で聞いたり読んだ りたことを活用して、自分の意見や考えなど を抵したり書いたりして 表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化 に対する関心を 持つて、自律的、主体 的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。  「単元 Lesson6 Did you hear about the new shop? 【知識及び技能】 ○頁い物について質問 したり、答えわりすることができる。 【思考力、判断力、表現 力等】 ○場面、目的、状況等 に応じて、日常的な話題 別から時事問題や社会 問題まで幅広い話題について、情報や考えな どを外国語で的成に理解したり適 解したり適切に伝え合ったりしている。 ○関いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを 活したり書いたりして表現している 「関している」 「関われたりして表現している。 「関いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを が、対国語で的応じて、自常的な話題があり時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを が、同語で的値に理解したり適 の「しいまり読んだりしたことな とき活用して、自分の意見や考えなどを 活したり書いたりして表現している 「学びに向かう力、人間 性等 ○他者を尊重し、間き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外 国語で間にたりまんだ。 リカーにととを語用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり見いたりまんだ。 リカーにを見いている 「学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、間き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外 国語で間にたりまれた。 関きて記したと音話したり 書いたりして表現しようとして   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| リルたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。   ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。   ○下単元   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようちとしている。   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| を話したり書いたりして表現しようとしている。  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 表現しようとしている。   |                     |            |   |   |   |   |   | . ••            |   |   |   |   |
| ○言語やその背景にある文化に対する関心を持つて、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。  F 単元 Lesson6 Did you hear about then ews shop? [知識及び技能] ○買い物について質問したり、答えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広が話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり法んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用して、自分の意見や考えなどを活出にりまいたりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを活出によりまりまりまりまりまりましたり書いたりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを活したり書いたりがら、外国語で聞いたり読んだりたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりがら、外国語で聞いたり読んだりたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりがら、外国語で聞いたり読んだりたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりと言いたり表んだりして表現して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりによりまして表現して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりと言いたり表えなどを話したり書いたりして表現して、対して、まりに対して表現して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりじん。   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| お文化に対する関心を<br>持って、自律的、主体<br>的に外国語を用いてコ<br>ミューケーションを図ろうとしている。  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| かに外国語を用いてコミューケーションを図ろうとしている。   下単元  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| ミュニケーションを図ろうとしている。  |                     |            |   |   |   |   |   | ている。            |   |   |   |   |
| 下 単元 Lesson6 Did you hear about the new shop? 【知識及び技能】 ○買い物について質問したり、答えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを雰囲している。 ○関いたり、勝んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 ○関いたり勝んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを語したり書いたりして表現している 「学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを活用と、自分の意見やましている。 「学びに向かうか、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用と、自分の意見やましている。 「学びに向からか、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用と、自分の意見やましている。」 「学びに向からか、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見やまなどを活用と手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを活したり書いたりして表現しようとして  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| <ul> <li>F単元 Lesson6 Did you hear about the new shop? 【知識及び技能】 ○買い物について質問したり、答えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 ○間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 「関いている」</li> <li>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</li></ul>   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| Lesson6 Did you hear about the new shop?   (知識及び技能)   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| about the new shop?   | • • =               | · ·        |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】        |   |   |   |   |
| 「知識及び技能]  |                     | ・日常生活に関する表 |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| ○買い物について質問したり、答えたりすることができる。  【思考カ、判断カ、表現カ等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 「間いたりおんだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 「学びに向かうカ、人間性等の他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりにて、自分の意見や考えなどを活用しまり読んだりにとき活用して、自分の意見や著えなどを話したり書いたりして表現している。 「学びに向かうカ、人間性等の他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりにしたと活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとして   | about the new shop? | 現          |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと) |   |   |   |   |
| したり、答えたりすることができる。  【思考力、判断力、表現力等】  ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題がら時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  ○関いたり読がらけしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを諸したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりした。 「学びに向かう力、人間性等)の他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したりまいたりした。  「学びに向かう力、人間性等)の他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  | 【知識及び技能】            | •受動態       |   |   |   |   |   | について、実際のコミュニケー  |   |   |   |   |
| とができる。  | ○買い物について質問          |            |   |   |   |   |   | ションにおいて活用できる知   |   |   |   |   |
| [思考力、判断力、表現力等]  ○場面、目的、状況等 に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  ○間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてある。 【学びに向かう力、人間性等○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりした。  | したり、答えたりするこ         |            |   |   |   |   |   | 識・技能を身に付けている。   |   |   |   |   |
| 【思考力、判断力、表現力等】     ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。     ○    ○    ○    ○    ○    ○    ○   | とができる。              |            |   |   |   |   |   | ○外国語の学習を通じて、言   |   |   |   |   |
| の場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  ○ 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等 ○ 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだり、 大間性等 ○ 他者を尊重し、聞き手・読み・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだり、 大にととを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  |                     |            |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し   |   |   |   |   |
| ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かうカ、人間性等○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりまから、外国語で聞いたり読んだりまから、外国語で聞いたり読んだりまから、外国語で聞いたり読んだりまから、外国語で聞いたり読んだりまから、外国語で聞いたり読んだりまたとを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書きを活したり書きを活したり書いたり記んだりまたとを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり記んだりまたとを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり記んだりまたとして  | 【思考力、判断力、表現         |            |   |   |   |   |   | ている。            |   |   |   |   |
| に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  | 力等】                 |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  | ○提高 日的 快湿笙          |            |   |   |   |   |   | 【田老力 判断力 丰用力等】  |   |   |   |   |
| 題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や表えなどを話したり書いたりして表現している  |                     |            |   |   |   |   |   | 【心为力、刊剧力、私玩力寻】  |   |   |   |   |
| 問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりにたことを活用して、自分の意見やおえなどを話したり書いたりして表現している  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| ついて、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 〇聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かうカ、人間性等〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見やおえなどを活用して、自分の意見やまえなどを話したり書いたりして表現している   |                     |            |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問   |   |   |   |   |
| どを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。  ○ 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  【学びに向かう力、人間性等 ○ 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりにたことを活用して、自分の意見やおえなどを話したりまから、外国語で聞いたり読んだりにたことを活用して、自分の意見や表えなどを話したりましたりにたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したりました。   |                     |            |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題   |   |   |   |   |
| 解したり適切に伝え合ったりしている。     〇間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している     【学びに向かうカ、人間性等     〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している  |                     |            |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを   |   |   |   |   |
| ったりしている。     ○    ○    ○    ○    ○    ○    ○  |                     |            |   |   |   |   |   | 外国語で的確に理解したり適   |   |   |   |   |
| ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かうカ、人間性等 ○他者を尊重し、聞き 手・読み手・話し手・書 き手に配慮しながら、外 国語で聞いたり読んだ はり、たことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり 書いたりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり 書いたりして表現している   |                     |            | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 切に伝え合ったりしている。   | 0 | 0 | 0 | 6 |
| ○聞いたり読んだりした ことなどを活用して、自 分の意見や考えなどを 話したり書いたりして表 現している 【学びに向かう力、人間 性等 ○他者を尊重し、聞き 手・読み手・話し手・書 き手に配慮しながら、外 国語で聞いたり読んだ り」たことを活用して、自分 の意見や考えなどを話したり 書いたりしたことを活用して、自分 の意見や考えなどを話したり 書いたりしたことを活用して、自分 の意見や考えなどを話したり 書いたりして表現しようとして  | つためし (いる。<br>       |            |   |   |   |   |   | ○問いたり読んだり! たことた |   |   |   |   |
| ことなどを活用して、自 分の意見や考えなどを 話したり書いたりして表 現している  【学びに向かう力、人間 性等 〇他者を尊重し、聞き 手・読み手・話し手・書 き手に配慮しながら、外 国語で聞いたり読んだ り」たことを活用して、自分 の意見や考えなどを話したり 書いたりして表現している   | ○聞いたり読んだりした         |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 分の意見や考えなどを<br>話したり書いたりして表現している<br>【学びに向かうカ、人間性等<br>〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり読んだりまった。   | ことなどを活用して、自         |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたり読んだりまった。   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 【学びに向かう力、人間性等<br>〇他者を尊重し、聞き手・読み<br>手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読ん<br>だりしたことを活用して、自分<br>の意見や考えなどを話したり<br>書いたりして表現しようとして   | 話したり書いたりして表         |            |   |   |   |   |   | く女先している         |   |   |   |   |
| 【学びに向かう力、人間性等  ○他者を尊重し、聞き手・読み 手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読ん だりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり 国語で聞いたり読んだ り」たことを注用して  は、たことを注用して   | 現している               |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 性等  ○他者を尊重し、聞きす・読み  手・話し手・書き手に配慮しな がら、外国語で聞いたり読ん だりしたことを活用して、自分 の意見や考えなどを話したり 書いたりして表現しようとして  | 【学びに向かえも ↓ 思        |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| ○他者を尊重し、聞き<br>手・読み手・話し手・書<br>き手に配慮しながら、外<br>国語で聞いたり読んだ<br>りしたことを活用して、自分<br>の意見や考えなどを話したり<br>書いたりして表現しようとして  |                     |            |   |   |   |   |   | ○他者を尊重し、聞き手・読み  |   |   |   |   |
| 手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んがら、外国語で聞いたり読んがの意見や考えなどを話したりの意見や考えなどを話したりまいたりして表現しようとして   | ·                   |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| き手に配慮しながら、外<br>国語で聞いたり読んだ<br>別、たことを活用して、自分<br>の意見や考えなどを話したり<br>書いたりして表現しようとして   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 国語で聞いたり読んだ    国語で聞いたり読んだ   書いたりして表現しようとして   書いたりして表現しようとして  |                     |            |   |   |   |   |   | だりしたことを活用して、自分  |   |   |   |   |
|   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| / )   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 白公の音目の考えなど             いる。  |                     |            |   |   |   |   |   | いる。             |   |   |   |   |
| 太託  たいまいたいして  |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |
| 実現」とうとしている  |                     |            |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律   |   |   |   |   |
| 表現しよりとしている。   |                     |            |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |

| 〇言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。   |  |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとしている。   |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定期考査   |  | 0 |   |   | 0 |   |   | 0 | 0 | 0 | 1 |
| G単元<br>Lesson7 I'm happy to have you with us<br>【知識りが話すことができる。<br>【思等】<br>〇に題が思いたができる。<br>【思等】<br>〇に題がいる。<br>【思等】<br>〇に題がいる。<br>「はいからればいいが、表現のでは、本では、本では、は、本では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は | ・一人1台端末の活用<br>・交流・交際に関する<br>表現<br>・不定詞 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識及び技能】  〇外国語の4技能(聞くこと、 読むこと、書くこと) について、実際のコミュニケーションにおいまできる。 〇外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じで、 の外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じて、 の外国語の学習を通じて、 の外国にでは、 の外国には、 の場のには、 の場のには、 の間いたり にいる。  「となって、 の間いたり にいる。  「となって、 の間になどを の間にないる。  「となって、 の間にないる。  「となって、 の間にないる。  「学びに向かう力、 、人間性等 | 0 | 0 | 0 | 6 |

| <u></u>  |   |   |   |   |   |   | , |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【学びに向かう力、人間性等<br>〇他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・島・語に配慮したり読んがいたりいたことを活用したりまいたりになら見やったりまいたりる。<br>〇言語やその背景になる。<br>〇言語やその背景にを持って、自律的、主体的に外国語を用いたりましている。 |   |   |   |   |   | 〇他者を尊重し、聞き手・読み<br>手・話し手・書き手に配慮しな<br>がら、外国語で聞いたり読ん<br>だりしたことを活用して、自分<br>の意見や考えなどを話したり<br>書いたりして表現しようとして<br>いる。<br>〇言語やその背景にある文化<br>に対する関心を持って、自律<br>的、主体的に外国語を用いて<br>コミュニケーションを図ろうとし<br>ている。 |   |   |   |   |
| うとしている。  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| H Lesson8 What sport do you like playing? Lesson8 What sport do you like playing? Lesson8 What sport do you like playing? Lond           | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 【知識ないには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、  | 0 | 0 | 0 | 6 |
| うとしている。  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

|   | Ⅰ単元                   | ・一人1台端末の活用   |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】            |   |   |   |    |
|---|-----------------------|--------------|---|---|---|---|---|---------------------|---|---|---|----|
|   | Lesson9 Digital media | ・メディア・コミュニケー |   |   |   |   |   | 〇外国語の4技能(聞くこと、      |   |   |   |    |
|   | has come a long way   | ションに関する表現    |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)     |   |   |   |    |
|   | 【知識及び技能】              | ·分詞          |   |   |   |   |   | について、実際のコミュニケー      |   |   |   |    |
|   | 〇自分自身や性格につ            |              |   |   |   |   |   | ションにおいて活用できる知       |   |   |   |    |
|   | いて発表することができ           |              |   |   |   |   |   | 識・技能を身に付けている。       |   |   |   |    |
|   | る。                    |              |   |   |   |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言       |   |   |   |    |
|   | 【田老书 刘屹书 丰珥           |              |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し       |   |   |   |    |
|   | 【思考力、判断力、表現           |              |   |   |   |   |   | ている。                |   |   |   |    |
|   | 力等】                   |              |   |   |   |   |   |                     |   |   |   |    |
|   | 〇場面、目的、状況等            |              |   |   |   |   |   | <br> 【思考力、判断力、表現力等】 |   |   |   |    |
|   | に応じて、日常的な話            |              |   |   |   |   |   |                     |   |   |   |    |
|   | 題から時事問題や社会            |              |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ       |   |   |   |    |
|   | 問題まで幅広い話題に            |              |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問       |   |   |   |    |
|   | ついて、情報や考えな            |              |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題       |   |   |   |    |
|   | どを外国語で的確に理            |              |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを       |   |   |   |    |
|   | 解したり適切に伝え合            |              |   |   |   |   |   | 外国語で的確に理解したり適       |   |   |   |    |
|   | ったりしている。              |              |   |   |   |   |   | 切に伝え合ったりしている。       |   |   |   |    |
| 3 | ○聞いたり読んだりした           |              |   |   |   |   |   | ○聞いたり読んだりしたことな      |   |   |   |    |
| 学 | ことなどを活用して、自           |              | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | どを活用して、自分の意見や       | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 期 | 分の意見や考えなどを            |              |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし      |   |   |   |    |
|   | 話したり書いたりして表           |              |   |   |   |   |   | て表現している             |   |   |   |    |
|   | 現している                 |              |   |   |   |   |   |                     |   |   |   |    |
|   | 【学びに向かう力、人間           |              |   |   |   |   |   | <br> 【学びに向かう力、人間性等  |   |   |   |    |
|   | 性等                    |              |   |   |   |   |   | ○他者を尊重し、聞き手・読み      |   |   |   |    |
|   | 〇他者を尊重し、聞き            |              |   |   |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな      |   |   |   |    |
|   | 手・読み手・話し手・書           |              |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読ん       |   |   |   |    |
|   | き手に配慮しながら、外           |              |   |   |   |   |   | だりしたことを活用して、自分      |   |   |   |    |
|   | 国語で聞いたり読んだ            |              |   |   |   |   |   | の意見や考えなどを話したり       |   |   |   |    |
|   | りしたことを活用して、           |              |   |   |   |   |   | 書いたりして表現しようとして      |   |   |   |    |
|   | 自分の意見や考えなど            |              |   |   |   |   |   | いる。                 |   |   |   |    |
|   | を話したり書いたりして           |              |   |   |   |   |   | ○言語やその背景にある文化       |   |   |   |    |
|   | 表現しようとしている。           |              |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律       |   |   |   |    |
|   | 〇言語やその背景にあ            |              |   |   |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて       |   |   |   |    |
|   | る文化に対する関心を            |              |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし     |   |   |   |    |
|   | 持って、自律的、主体            |              |   |   |   |   |   | ている。                |   |   |   |    |
|   | 的に外国語を用いてコ            |              |   |   |   |   |   |                     |   |   |   |    |
|   | ミュニケーションを図ろ           |              |   |   |   |   |   |                     |   |   |   |    |
|   | うとしている。               |              |   |   |   |   |   |                     |   |   |   |    |

| I単元                           | ・一人1台端末の活用                   |   |   |   |   |   | 【知識及び技能】                          |   |   |   |        |
|-------------------------------|------------------------------|---|---|---|---|---|-----------------------------------|---|---|---|--------|
| Lesson10 That's why I         | <ul><li>・文化・異文化理解に</li></ul> |   |   |   |   |   | 〇外国語の4技能(聞くこと、                    |   |   |   |        |
| decided to go back            | 関する表現                        |   |   |   |   |   | 読むこと、話すこと、書くこと)                   |   |   |   |        |
|                               | ・関係詞                         |   |   |   |   |   | について、実際のコミュニケー                    |   |   |   |        |
| 【知識及び技能】                      |                              |   |   |   |   |   | ションにおいて活用できる知                     |   |   |   |        |
| 〇日本の文化や日本の                    |                              |   |   |   |   |   | 識・技能を身に付けている。                     |   |   |   |        |
| 人たちについて発表す                    |                              |   |   |   |   |   | 〇外国語の学習を通じて、言                     |   |   |   |        |
| ることができる。                      |                              |   |   |   |   |   | 語の働きや役割などを理解し                     |   |   |   |        |
| 【思考力、判断力、表現                   |                              |   |   |   |   |   | ている。                              |   |   |   |        |
| 力等】                           |                              |   |   |   |   |   |                                   |   |   |   |        |
| 〇場面、目的、状況等                    |                              |   |   |   |   |   | 【思考力、判断力、表現力等】                    |   |   |   |        |
| に応じて、日常的な話                    |                              |   |   |   |   |   | 〇場面、目的、状況等に応じ                     |   |   |   |        |
| 題から時事問題や社会                    |                              |   |   |   |   |   | て、日常的な話題から時事問                     |   |   |   |        |
| 問題まで幅広い話題に                    |                              |   |   |   |   |   | 題や社会問題まで幅広い話題                     |   |   |   |        |
| ついて、情報や考えな                    |                              |   |   |   |   |   | について、情報や考えなどを                     |   |   |   |        |
| どを外国語で的確に理                    |                              |   |   |   |   |   | 外国語で的確に理解したり適                     |   |   |   |        |
| 解したり適切に伝え合                    |                              |   |   |   |   |   | 切に伝え合ったりしている。<br>                 |   |   |   |        |
|                               |                              |   |   |   |   |   | ○聞いたり読んだりしたことな                    |   |   |   |        |
| ○聞いたり読んだりした                   |                              | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | どを活用して、自分の意見や                     | 0 | 0 | 0 | 9      |
| ことなどを活用して、自                   |                              |   |   |   |   |   | 考えなどを話したり書いたりし                    |   |   |   | 9      |
| │ 分の意見や考えなどを<br>│ 話したり書いたりして表 |                              |   |   |   |   |   | て表現している                           |   |   |   |        |
| 現している                         |                              |   |   |   |   |   |                                   |   |   |   |        |
|                               |                              |   |   |   |   |   | 【学びに向かう力、人間性等                     |   |   |   |        |
| 【学びに向かう力、人間                   |                              |   |   |   |   |   | ○他者を尊重し、聞き手・読み                    |   |   |   |        |
| 性等                            |                              |   |   |   |   |   | 手・話し手・書き手に配慮しな                    |   |   |   |        |
| 〇他者を尊重し、聞き                    |                              |   |   |   |   |   | がら、外国語で聞いたり読ん                     |   |   |   |        |
| 手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外        |                              |   |   |   |   |   | だりしたことを活用して、自分                    |   |   |   |        |
| 国語で聞いたり読んだ                    |                              |   |   |   |   |   | の意見や考えなどを話したり<br>  書いたりして表現しようとして |   |   |   |        |
| りしたことを活用して、                   |                              |   |   |   |   |   | 一合いたりして表現しようとして                   |   |   |   |        |
| 自分の意見や考えなど                    |                              |   |   |   |   |   | ○ つる。<br>  ○言語やその背景にある文化          |   |   |   |        |
| を話したり書いたりして                   |                              |   |   |   |   |   | に対する関心を持って、自律                     |   |   |   |        |
| 表現しようとしている。                   |                              |   |   |   |   |   | 的、主体的に外国語を用いて                     |   |   |   |        |
| 〇言語やその背景にあ                    |                              |   |   |   |   |   | コミュニケーションを図ろうとし                   |   |   |   |        |
| る文化に対する関心を                    |                              |   |   |   |   |   | ている。                              |   |   |   | 合<br>計 |
| 持って、自律的、主体                    |                              |   |   |   |   |   |                                   |   |   |   | āſ     |
| 的に外国語を用いてコ                    |                              |   |   |   |   |   |                                   |   |   |   |        |
| ミュニケーションを図ろ                   |                              |   |   |   |   |   |                                   |   |   |   | 70     |
| うとしている。                       |                              |   |   |   |   |   |                                   |   |   |   |        |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽 I

教 科: 芸術 科 目:音楽 I 単位数:2単位 対象学年組:第1学年 A組

使用教科書:(教育芸術社『高校生の音楽1』)

教科 芸術 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能 を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造 していく態度を養い、豊かな情操を培う。

#### 科目 音楽 I の目標:

| 【知識及び技能】                            | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】     |
|-------------------------------------|---|--------------------|
| ・歌唱や器楽に関する基礎的な知識・技                  | ・歌唱や器楽において、楽曲の持つ曲   | ・音楽活動に対して主体性をもって授業 |
| 能が身についている。                          | 想や詞の表現に対して音楽的なアプロ   | に臨んでいる。            |
| ・楽器の奏法や楽想記号、音楽史の基<br>礎的な知識が身についている。 | ーチができる。 ・楽曲の全体像に見通しをもって演奏している。 ・鑑賞した音楽の持つ魅力を、適切に言語化して伝達できる。 | ・目標に合った創意工夫をもって活動で |

|      |  |              |   | 表現 | ₹ |    |   |   |   |   | 配           |
|------|--|--------------|---|----|---|----|---|---|---|---|-------------|
|      | 単元の具体的な指<br>導目標<br>  | 指導項目·内容      | 歌 | 器  | 創 | 鑑賞 | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 当<br>時<br>数 |
| 1 学期 | A 歌唱 Caro mio ben 【知識及び技能】 イタリアルに のルーする。 【思現力等力等】 表現力部別のの下表現力に 表現が表現がある。 「表現がである。 「大間性活動な を対して いるのでは 、表唱がいる。 「大間性活動な では、 、表現がいる。 「大間性活動な 、表現がいる。 「大間性活動な 、表現がいる。 「大間性活動な 、表現がいる。 「大間性活動な 、表現が、 、まれば、 | - 教科書        | 0 |    |   |    | ・イタリア語の発音のルールに則って歌唱できている。 ・楽想記号や詞の内容に即した表現を工夫して歌唱している。 ・歌唱活動に対して積極的な姿勢を持っている。       | 0 | 0 | 0 | 10          |
|      | B 器楽 軽音楽<br>【知識及び技能】<br>選択した楽器の<br>基本的な奏法を身<br>に着ける。<br>【思考力、判断力、<br>表現力等】   | ・ギター・ベース・ドラム |   | 0  |   |    | ・選択した楽器の基本的な奏法が身に着いている。<br>・楽曲の雰囲気と楽想記号を関連付け、演奏に活かすことができている。<br>・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。 | 0 | 0 | 0 | 10          |

|             | 楽曲の雰囲気と<br>楽想記号を関連付け、演奏に活かす。  |               |   |   | ・バンドの音の調和を意識して合奏に貢献している。   |   |   |   |    |
|-------------|---|---------------|---|---|--|---|---|---|----|
|             | 【学びに向かう力、<br>人間性等】<br>演奏活動に積極<br>的な姿勢を持つ。<br>また、バンドの音の<br>調和を意識して合<br>奏に貢献する。 |               |   |   |  |   |   |   |    |
|             | C 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、                        | ・スピーカー・一人一台端末 |   |   | ・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識が定着している。<br>・楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現できている。 |   |   |   |    |
|             | 表現力等】<br>楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉で表現する。<br>【学びに向かう力、                               |               |   | 0 | ・様々な地域、ジャンル<br>の音楽に親しむ態度を<br>持っている。                                  | 0 | 0 | 0 | 10 |
|             | 人間性等】<br>様々な地域、ジャ<br>ンルの音楽に親し<br>む態度を養う。                                      |               |   |   |  |   |   |   |    |
|             | D 器楽 軽音楽  | ・ギター          |   |   | ・選択した楽器の基本的 な奏法が身に着いてい   |   |   |   |    |
|             | 【知識及び技能】  | ・ベース          |   |   | る。   |   |   |   |    |
|             | 選択した楽器の<br>基本的な奏法を身<br>に着ける。  | ・ドラム          |   |   | ・楽曲の雰囲気と楽想記<br>号を関連付け、演奏に活<br>かすことができている。                            |   |   |   |    |
|             | 【思考力、判断力、<br>表現力等】  |               |   |   | ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。  |   |   |   |    |
| 2<br>学<br>期 | 楽曲の雰囲気と<br>楽想記号を関連付<br>け、演奏に活かす。  |               | 0 |   | ・バンドの音の調和を意識して合奏に貢献している。   | 0 | 0 | 0 | 15 |
|             | 【学びに向かう力、<br>人間性等】  |               |   |   |  |   |   |   |    |
|             | 演奏活動に積極<br>的な姿勢を持つ。<br>また、バンドの音の<br>調和を意識して合<br>奏に貢献する。                       |               |   |   |  |   |   |   |    |

|      | E ぜ 知 楽器ャな 思現 楽を言。 学間 様ル態  | ・スピーカー・一人一台端末   |   |  | 0 | ・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識が定着している。<br>・楽曲の特徴や傾向を捉え、自分なりの言葉できている。<br>・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。   | 0   | 0 | 0   | 15     |
|------|--|---|---|--|---|--|-----|---|-----|--------|
| 3 学期 | F 知 日 の声 楽にこ 【表 詞意ア唱。 学間 歌な 詞、表 と識ンす の も い で カ い か い で カ い か い か い で カ い か な に い い か い で カ い か か い か い か い で カ い か か い か い か か い か い か い い な で カ か か か い か か い い か か い い か か い い か か い い か か か い い か か い い か か い い か い い な か い い か い い か い い か い い か い い か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か か い い か い い か い | <ul><li>・教科書</li><li>・一人一台端末</li><li>・スピーカー</li><li>・一人一台端末</li></ul> | 0 |  | 0 | ・日本語歌曲特有の発音を知り、 ・楽想記号の指示に従ている。 ・楽想記号のことができている。 ・詞ととなるとなるとなるとないできる。 ・歌を持つている。 ・歌を持つている。 ・歌を持つている。 ・・歌を持つている。 ・・歌を持つている。 ・・歌を持つている。 ・・歌を持つている。 ・・楽、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、本学、 | 0 0 | 0 | 0 0 | 7 3 合計 |

| 楽曲の構成や楽<br>器編成、属するジ<br>ヤンル等の基本的<br>な知識を持つ。 |  | 基本的な知識<br>ている。<br>・楽曲の特徴 | や傾向を捉 |  |    |
|--|--|--------------------------|-------|--|----|
| 【思考力、判断力、                                  |  | え、自分なりの<br>現できている。       |       |  |    |
| 表現力等】                                      |  | ・様々な地域、                  |       |  |    |
| 楽曲の特徴や傾                                    |  | の音楽に親し                   |       |  |    |
| 向を捉え、自分なり<br>の言葉で表現す<br>る。                 |  | 持っている。                   |       |  | 70 |
| 【学びに向かう力、<br>人間性等】                         |  |                          |       |  |    |
| 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。                    |  |                          |       |  |    |

# 東京都立高等学校 令和7年度 (1学年) 教科 芸術 科目 美術 I : 芸術 科 目: 美術 I 単位数:2単位 対象学年組:第1学年 A組

教 科: 芸術 科 目: 美術 I

使用教科書:(日本文教出版『高校生の美術1』)

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊 かな情操を培う。

#### 科目 美術 I の目標:

| 【知識及び技能】                | 【思考力、判断力、表現力等】          | 【学びに向かう力、人間性等】          |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 対象や事象を捉える造形的視点について理解を深  | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美 | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生   |
| めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し | 術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に | 涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感 |
| 創造的に表すことができるようにする。      | 発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美 | 性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社  |
|                         | 術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることが | 会を創造していく態度を養う。          |
|                         | できるようにする。               |                         |
|                         |                         |                         |

|     |  |   | 3  | 表現 |   |    |   |   |   |   | 配   |
|-----|--|---|----|----|---|----|---|---|---|---|-----|
|     | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目·内容   | 絵彫 | デ  | 映 | 鑑賞 | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 当時数 |
|     | ・オリエンテーション   |   |    |    |   |    |   |   |   |   |     |
|     | A 鉛筆の表現 【知識及び技能】 鉛筆の削り方、面(トーン)の描き方、陰影法による明暗諧調を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】立体表現に適した自分なりの描画方法をみつける。 【学びに向かう力、人間性等】教科                                   | ・指導事項 鉛筆を使いこなす。 ・教材 ・鉛筆(基本的に2B を使用)。 カッター、折り紙削りかす入れ、練り消<br>レゴム、ワークシート等。             | 0  |    |   |    | 【知識・技能】安全な鉛筆の削り方、鉛筆 22<br>種類の特長、またなめらかで均等な面が描く<br>ことができるか。<br>【思考・判断・表現】鉛筆の方向を均等に制御<br>できているか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】鉛筆のトーン<br>が美しく描かれているか。 | 0 | 0 | 0 | 4   |
|     | 書に掲載された素描作品を美しいと思う感性を育む。   |   |    |    |   |    |   |   |   |   |     |
| 1 学 | B 立方体の影を描く<br>【知識及び技能】光の方向から類推<br>して立方体の影を描く。<br>【思考力、判断力、表現力等】もっと<br>も明るい部分のとなりはもっとも暗<br>い。<br>【学びに向かう力、人間性等】物理<br>的な光の効果と見た目の誤差に気<br>づく。 | ・指導事項 影を理解すれば立体が<br>描ける。 ・教材 ・鉛筆(基本的に2Bを使用)。 カッター、折り紙削りかす入れ、練り消<br>しゴム、ワークシート等。     |    | 0  |   |    | 【知識・技能】観察を続けると集中力が身につく。細部への関心。<br>【思考・判断・表現】立体的に見えるのは光と<br>影の組み合わせによるもの。<br>【主体的に学習に取り組む態度】影のなかに<br>机との反射を見つけることができた1台端末<br>の活用等。       | 0 | 0 | 0 | 4   |
|     | C 鉛筆デッサン(椅子/石膏像) 【知識及び技能】椅子の構造性を理解し平面に再構成する。 【思考・判断・表現】遠近法の基本的な約束事を理解し作品に援用する。 【学びに向かうカ、人間性等】独自の視点で個性的なデッサンを目指す。                           | ・指導事項 デッサンは構図で決まる。 ・教材 鉛筆(基本的に2Bを使用)カッター、 折り紙削りかす入れ、練消しゴム、デッサン・スケール、A4 白紙+八つ切り 画用紙。 | 0  |    |   |    | 【知識・技能】デッサン・スケールを活用して思い通りの構図をつくれたか。<br>【思考・判断・表現】立体的に見えるのは光と<br>影の組み合わせによるもの。<br>【主体的に学習に取り組む態度】影のなかに<br>机との反射を見つけることができた。              | 0 | 0 | 0 | 8   |
|     | D 植物画の制作<br>【知識及び技能】植物を観察し、<br>花、葉、茎の特徴をとらえて描写す<br>る。  | ・指導事項 学校の下に広がる海岸の周辺に繁殖する植物を採集し標本にして観察、名前を特定した後に描写する。 ・教材                            | 0  |    |   | 0  | 【知識・技能】構図や視覚的な効果を考慮することができたか。<br>【思考・判断・表現】植物の特徴を観察によって十分に引き出すことができたか。  | 0 | 0 | 0 | 10  |

|      | 【思考力、判断力、表現力等】植物の形状、質感、色彩から造形的要素を抽出し作品に還元する。<br>【学びに向かう力、人間性等】植物の美しさを感得し、鑑賞する力を育む。   | 色鉛筆、2B 鉛筆、ドローイングベン、<br>八つ切り画用紙、各種植物図鑑。   |   |   |   | 【主体的に学習に取り組む態度】それぞれの作品の表現意図を汲み取り共感することができたか。   |   |   |   |    |
|------|--|--|---|---|---|--|---|---|---|----|
|      | E 文化祭(黒潮祭)のポスター制作<br>【知識及び技能】ポスターに関する<br>ビジュアル資料を検討しアイデアを<br>まとめる。<br>【思考力、判断力、表現力等】文字<br>の書体、大きさ、配色を考え、絵柄<br>と組み合わせる。<br>【学びに向かう力、人間性等】何を<br>伝えるのか。しっかりしたコンセプト<br>をつくる。 | ・指導事項 だれが見るのかを完成までいつも忘れずに意識する。<br>鉛筆、メモ用紙、色鉛筆、水彩絵の<br>具、アクリルガッシュ、ケント紙、図書<br>資料。                |   | 0 | 0 | 【知識及び技能】タイポグラフィ、イラスト、全体構成(とくに色彩計画)はまとまったか。<br>【思考力、判断力、表現力等】アイデアスケッチから完成まで一貫した制作意図を維持したか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】このポスターがどこに貼られ、どのような人が見ることを想定していたか。                       |   | 0 | 0 | 16 |
| 2 学期 | F透明水彩で「魚」を描く 【知識及び技能】魚を観察し、頭、胴、ヒレの特徴をとらえて描写する。 【思考力、判断力、表現力等】魚の形状、質感、色彩から造形的要素を抽出し作品に還元する。 【学びに向かう力、人間性等】植物の美しさを感得し、鑑賞する力を育む。  | ・指導事項 学校の下に広がる海岸の周辺に生息する魚を採集し標本にして観察、名前を特定した後に描写する。 ・教材色鉛筆、2B 鉛筆、ドローイングペン、八つ切り画用紙、各種植物図鑑。      | 0 |   |   | 【知識・技能】構図や視覚的な効果を考慮することができたか。<br>【思考・判断・表現】魚の特徴を観察によって十分に引き出すことができたか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】それぞれの作品の表現意図を汲み取り共感することができたか。  | 0 | 0 | 0 | 8  |
|      | Gパッケージデザイン 【知識及び技能】形や色彩、質感などの効果、全体のイメージ等を把握し、材料の特性を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】目的や条件、美しさや入れるもののイメージを基に、プレゼントを渡す相手を意識したデザインを目指す。 【学びに向かう力、人間性等】パッケージをデザインする創造活動に主体的に取り組む。          | ・指導事項 10 cm立方の箱の 5 面を彩色 プレゼント用のパッケージを制作する。 ・教材 アクリルガッシュ ワーックシート。 ・アイデアスケッチを繰り返して十分に構想を練る。      |   | 0 |   | 【知識・技能】意図に応じて表現方法を創意工夫し総合的に考えながら材料の特性を生かしたか。 【思考・判断・表現】プレゼントを誰に渡すのか相手が喜んでくれるにはどのようなデザインにしたらよいか想像力を働かせて制作することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】完成時にプレゼンテーションを行い、他の人の前で自作について説明する。 |   | 0 | 0 | 6  |
| 3 学期 | Hわたしの部屋(1点透視図法) 【知識及び技能】導入で1点2点3点透視図の作図演習を行う。 【思考力、判断力、表現力等】遠近法の概念を理解しさまざまな空間表現に応用できるか。 【学びに向かう力、人間性等】複数のメディアで遠近法がどのように活用されているかを学ぶ。                                      | ・指導事項 遠近法演習<br>上から見た 1 点透視図法のワークシートに家具や調度を書き込み想像上の自分の部屋を完成させる。<br>・教材 ワークシート、定規、コンパス、色鉛筆 24 色。 |   | 0 | 0 | 【知識及び技能】遠近法を理解し空間表現に生かすことができたか。<br>【思考力、判断力、表現力等】家具、インテリアにデザインにも配慮し全体的な統一感がみられる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】自分の部屋に対し自律的な独立性をもって空間表現の完成度が高い。                                   | 0 | 0 | 0 | 6  |
|      | I 名画の模写<br>【知識及び技能】教科書の掲載作<br>品から選択し、作者、主題、制作の<br>時代背景、技法について調べる。<br>【思考力、判断力、表現力等】なぜ<br>この作品を描いたのか。作者の制   | ・指導事項 教科書の掲載図版を参照し再現描写する<br>教材 選択した作品に応じて描画材料を選ぶ。<br>油彩画、版画、写真→アクリルガッシュ 水彩画→水彩画。               | 0 |   | 0 | 【知識及び技能】主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。<br>【思考力、判断力、表現力等】自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができる。   | 0 | 0 | 0 | 8  |

| 作意図に肉薄し感情移入して作品<br>世界を再構築する。 | 【主体的に学習に取り組む<br>由によって作品を選択した |   |
|------------------------------|------------------------------|---|
| 【学びに向かう力、人間性等】作品             |                              |   |
| を十分に鑑賞したうえで選定させ<br>る。        |                              | Ī |
|                              |                              |   |
|                              |                              | 7 |
|                              |                              |   |

東京都立高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教 科:保健体育 科 目:体育 単位数: 3 単位 対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書:(『現代高等保健体育』 大修館書店 )

#### 教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考 し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

#### 科目 体育 の目標:

| 【知識及び技能】           | 【思考力、判断力、表現力等】     | 【学びに向かう力、人間性等】      |
|--------------------|--------------------|---------------------|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するた | 運動における競争や協働の経験を通し   |
| 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯 | めの課題を発見し、合理的、計画的な解 | て、公正に取り組む、互いに協力する、  |
| にわたって運動を豊かに継続することが | 決に向けて思考し判断するとともに、自 | 自己の責任を果たす、参画する、一人一  |
| できるようにするため、運動の多様性や | 己や仲間の考えたことを他者に伝える力 | 人の違いを大切にしようとするなどの意  |
| 体力の必要性について理解するととも  | を養う。               | 欲を育てるとともに、健康・安全を確保し |
| に、それらの技能を身に付けるようにす |                    | て、生涯にわたって継続して運動に親し  |
| る。                 |                    | む態度を養う。             |
|                    |                    |                     |

|      | 単元の具体的な指導 | 指導項目·内容                         | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|------|-----------|---------------------------------|---|---|---|---|------|
| 1 学期 |           | ・体ほぐしの運動・実生活に生かす運動の計画・一人1台端末の活用 | 【知識・技能】 ・定続は、からことでは、からことでは、からことでは、からことでは、からことでは、からいくでは、からいくでは、のでは、のででは、のででは、のででは、のででは、のででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、 | 0 | 0 | 0 | 10   |

|                          |   | - はもの知度も世別のなどの                 |   |   |   |    |
|--------------------------|---|--------------------------------|---|---|---|----|
| 献しようとすることなど              |   | ・体力の程度や性別のなどの 違いに配慮し、仲間ととも     |   |   |   |    |
| や、健康・安全を確保               |   | に楽しむ活動方法や修正                    |   |   |   |    |
| できるようにする。                |   | 方法を見つけている。                     |   |   |   |    |
|                          |   | 7万人で見りいている。                    |   |   |   |    |
|                          |   | 【主体的に学習に取り組む態                  |   |   |   |    |
|                          |   | 度】                             |   |   |   |    |
|                          |   | ・体つくり運動の学習に自主                  |   |   |   |    |
|                          |   | 的に取り組み、運動計画を立                  |   |   |   |    |
|                          |   | てるなどの話し合いに積極的                  |   |   |   |    |
|                          |   | に参加しようとしている。                   |   |   |   |    |
|                          |   | ・運動開始時の心や体の状                   |   |   |   |    |
|                          |   | 態を確認するなど、健康・安                  |   |   |   |    |
|                          |   | 全に留意して活動に取り組も                  |   |   |   |    |
|                          |   | うとしている。                        |   |   |   |    |
|                          |   | ・一人ひとりの違いを受け入                  |   |   |   |    |
|                          |   | れ認め、互いに助け合い教え                  |   |   |   |    |
|                          |   | 合いながら活動に取り組もう                  |   |   |   |    |
|                          |   | としている。                         |   |   |   |    |
| ! !»                     | L 1° "                                  |                                |   |   |   |    |
| • • • • •                | , | 【知識・技能】                        |   |   |   |    |
| 【知識及び技能】                 |   | ・ソフトボールの技術の名称                  |   |   |   |    |
| 勝敗を競う楽しさや                |   | やそれぞれの動きのポイン                   |   |   |   |    |
| 喜びを味わい、技術の               |   | ト、特性や戦術について、                   |   |   |   |    |
| 名称や行い方、体力の               |   | 言ったり書き出したりしてい                  |   |   |   |    |
| 高め方、運動観察の方               | ・一人1台端末の活用                              | る。                             |   |   |   |    |
| 法などを理解するとと               |   | ・安定したバット操作、状況に                 |   |   |   |    |
| もに、作戦に応じた技               |   | 応じた走塁、打者や走者の                   |   |   |   |    |
| 能で仲間と連携しゲー               |   | 位置に応じた守備でゲー                    |   |   |   |    |
| ムを展開することがで               |   | ムを行うことができる。                    |   |   |   |    |
| きるようにする。                 |   | ・自分や仲間の動きを観察し                  |   |   |   |    |
| 安定したバット操作と               |   | て課題を見つけることが、                   |   |   |   |    |
| 走塁での攻撃、ボール               |   | 学習の成果を高めるという                   |   |   |   |    |
| 操作と連携した守備な               |   | ことを理解している。                     |   |   |   |    |
| どによって攻防をでき               |   | ・ルールや試合方法、審判や                  |   |   |   |    |
| るようにする。                  |   | 運営の仕方など、競技会                    |   |   |   |    |
|                          |   | の行い方を理解している。                   |   |   |   |    |
| 【思考力、判断力、表               |   | 【思考・判断・表現】                     |   |   |   |    |
| 現力等】                     |   |                                | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 9673 47                  |   | ・学んだ知識や技能を活用し                  |   |   | ) | 10 |
| 攻防などの自己や                 |   | て課題解決に有効な練習方                   |   |   |   |    |
| チームの課題を発見                |   | 法を選択し、練習計画を立て                  |   |   |   |    |
| し、合理的な解決に向               |   | ている。                           |   |   |   |    |
| けて運動の取り組み方               |   | <ul><li>よりよいマナーで健康や安</li></ul> |   |   |   |    |
| を工夫するとともに、自              |   | 全を確保できるように、活動                  |   |   |   |    |
| 己や仲間の考えたこと               |   | を振り返るとともに仲間に提                  |   |   |   |    |
| を他者に伝えることが               |   | 案している。                         |   |   |   |    |
| できるようにする。                |   | <br> ・作戦や戦術を選ぶ際に、話             |   |   |   |    |
|                          |   | し合い、自分の考えを仲間に                  |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人               |   | 伝えている。                         |   |   |   |    |
| 間性等】                     |   |                                |   |   |   |    |
| ソフトボールに自主                |   | ・体力や技能、性別等の違い                  |   |   |   |    |
| 的に取り組むとともに、              |   | に配慮して、仲間とともに楽し                 |   |   |   |    |
| フェアなプレイを大切               |   | むための練習やゲームをエ                   |   |   |   |    |
| にしようとすること、作              |   | 夫している。                         |   |   |   |    |
| 戦などについての話し               |   | 【主体的に学習に取り組む態                  |   |   |   |    |
|                          | İ                                       |                                |   |   |   |    |
| 合いに貢献しようとす<br>ること、一人一人の違 |   | 度】                             |   |   |   |    |

| いに応じたプレイなど         |            | ・分担した役割に自主的に取                              |   |   |   |    |
|--------------------|------------|--|---|---|---|----|
| を大切にしようとするこ        |            |  |   |   |   |    |
| _, ,,,,            |            | り組み、練習やゲーム、チー                              |   |   |   |    |
| と、互いに助け合い教         |            | ムの話し合いに積極的に参                               |   |   |   |    |
| え合おうとすることなど        |            | 加しようとしている。                                 |   |   |   |    |
| や、健康・安全を確保         |            | ・危険を理解して安全に留意                              |   |   |   |    |
| できるようにする。          |            | して実施するとともに、フェア                             |   |   |   |    |
|                    |            | なプレイを大切にしてゲーム                              |   |   |   |    |
|                    |            | をしようとしている。                                 |   |   |   |    |
|                    |            | ・一人ひとりの課題や挑戦を                              |   |   |   |    |
|                    |            | 認め、仲間を讃え助言するこ                              |   |   |   |    |
|                    |            | とで、信頼関係を深め、互い                              |   |   |   |    |
|                    |            | に高め合おうとしている。                               |   |   |   |    |
| <br>C 水泳           | ・クロール      | 【知識・技能】                                    |   |   |   |    |
|                    | ·平泳ぎ       | ・水泳の各種目で用いられる                              |   |   |   |    |
|                    |            |  |   |   |   |    |
|                    | ・複数の方法で長く泳 |  |   |   |   |    |
| の動き、呼吸のバラン         |            | ぐためのポイントを理解し                               |   |   |   |    |
| スを保ち、安定したペ         | ·          |  |   |   |   |    |
| 一スで長く泳いだり速く        |            | ・自分や仲間の動きを観察し                              |   |   |   |    |
| 泳いだりすることがで         |            | て課題を見つけることが、                               |   |   |   |    |
| きるようにする。           |            | 学習の成果を高めるという                               |   |   |   |    |
| 平泳ぎでは、手と足          |            | ことを理解している。                                 |   |   |   |    |
| の動き、呼吸のバラン         |            | ・種目ごとに必要な体力要素                              |   |   |   |    |
| スを保ち、安定したペ         |            | があり、練習を繰り返すこ                               |   |   |   |    |
| 一スで長く泳いだり速く        |            | とで技能や体力を高められ                               |   |   |   |    |
| 泳いだりすることがで         |            | ることを理解している。                                |   |   |   |    |
| きるようにする。           |            | ・競技のルール、運営の仕方                              |   |   |   |    |
| 背泳ぎでは、手と足          |            | など、全員が楽しむための                               |   |   |   |    |
| の動き、呼吸のバラン         |            | ルール等の調整の仕方な                                |   |   |   |    |
|                    |            |  |   |   |   |    |
| スを保ち、安定したペ         |            | どがあることを理解してい                               |   |   |   |    |
| 一スで泳ぐことができ         |            | る。<br>************************************ |   |   |   |    |
| るようにする。            |            | 【思考·判断·表現】                                 |   |   |   |    |
| バタフライでは、手と         |            | ・動きを比較して課題を見つ                              |   |   |   |    |
| 足の動き、呼吸のバラ         |            | け、知識や技能を活用・応                               |   |   |   |    |
| ンスを保ち、安定した         |            | 用して練習したり、計画を                               | 0 | 0 | 0 | 13 |
| ペースで泳ぐことがで         |            | 立てたりしている。                                  |   |   |   | 13 |
| きるようにする。           |            |  |   |   |   |    |
| 複数の泳法で泳ぐこ          |            | ・よりよいマナーで健康や安                              |   |   |   |    |
| と、又はリレーをするこ        |            | 全を確保できるように、活                               |   |   |   |    |
| とができるようにする。        |            | 動を振り返るとともに仲間                               |   |   |   |    |
|                    |            | に提案している。                                   |   |   |   |    |
| 【思考力、判断力、表         |            | ・技術的な課題や解決に有効                              |   |   |   |    |
| は心ちの、刊劇の、衣<br>現力等】 |            | な練習方法について、自分                               |   |   |   |    |
| <b>巩</b> 刀夺】       |            | の考えを仲間に伝えてい                                |   |   |   |    |
| 泳法などの自己や           |            | る。   |   |   |   |    |
| 仲間の課題を発見し、         |            |  |   |   |   |    |
| 合理的な解決に向け          |            | ・体力や技能、性別等の違い                              |   |   |   |    |
| て運動の取り組み方を         |            | に配慮して、仲間とともに                               |   |   |   |    |
| 工夫するとともに、自         |            | 楽しむための適切な練習                                |   |   |   |    |
| 己の考えたことを他者         |            | 方法等を見つけている。                                |   |   |   |    |
| に伝えることができる         |            | 【主体的に学習に取り組む態                              |   |   |   |    |
|                    |            | 度】   |   |   |   |    |
| ようにする。             |            | ・自分の役割に主体的に取り                              |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人         |            | 組み、練習や仲間との話し合                              |   |   |   |    |
| 間性等】               |            | いに積極的に参加しようとし                              |   |   |   |    |
| 水泳に自主的に取り          |            | ている。                                       |   |   |   |    |
| 組むとともに、勝敗な         |            | CV.00                                      |   |   |   |    |
| どを冷静に受け止め、         |            |  |   |   |   |    |
| こで行門に支げ上は、         |            |  |   |   |   |    |

|      |  | Г               |  |   | ı |   |   |
|------|--|-----------------|--|---|---|---|---|
|      | ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人の違いに応じた課題を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関するなど健康・安全を確保できるようにする。                        |                 | ・危険を理解して実施するとともに、仲間に課題を伝えるなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え、助言することで信頼関係を深め、互いに高め合おうとしている。  |   |   |   |   |
|      | スポーツは、人類の<br>歴史とともに始まり、そ   | 変遷 ・文化としてのスポー ツ | 【知識・技能】 ・スポーツの歴史と発展につたり、が野田したりして書き出したりして書画したりして書画している。・わ発展日本のることを理解している。 ・とを理解しての文ととを理解している。 「思考・判断・表現】 ・習得能なの課題のでは、音楽には、音楽には、音楽には、一次のに、自者には、学習に、取り組むを、自体の一ツのの発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の発展に、のの文化の表表に、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 2 学期 | Eバスケットボール<br>【知識及び技能】<br>勝敗を競う楽しさや<br>喜びを味わい、体のの<br>名称や行い運動観るとと<br>もに、作戦に応じた技<br>もに、作間と連携し<br>ムを展開することがで<br>きるようにする。 | 空間を作り出す動き       | 【知識・技能】 ・バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解している。 ・安定したボール操作、チームメイトと連携して空間を作り出し埋める動きなどをゲームで行うことができている。 ・動きを観察することで課題を見つけ、練習を繰り返すこと  |   |   |   |   |

| 安定したボール操作                       |                        | で技能や体力を高めることが                           |   |   |   |    |
|---------------------------------|------------------------|---|---|---|---|----|
| と空間を作りだすなど                      |                        | できることを理解している。                           |   |   |   |    |
| の動きによってゴール                      |                        |   |   |   |   |    |
| 前への侵入などから攻                      |                        | <ul><li>ゲームのルールや試合方</li></ul>           |   |   |   |    |
| 防をすることができる                      |                        | 法、審判や運営の仕方など、                           |   |   |   |    |
|                                 |                        | 競技会のおこない方を理解し                           | 0 | 0 | 0 | 10 |
| ようにする。                          |                        | ている。                                    | O |   |   | 13 |
| <br> 【思考力、判断力、表                 |                        | C                                       |   |   |   |    |
|                                 |                        | 【思考·判断·表現】                              |   |   |   |    |
| 現力等】                            |                        | 2.502                                   |   |   |   |    |
|                                 |                        | ・自分やチームの課題を見つ                           |   |   |   |    |
| 攻防などの自己や                        |                        | け、知識や技能を活用して練                           |   |   |   |    |
| チームの課題を発見                       |                        | 習方法を選択したり、練習計                           |   |   |   |    |
| し、合理的な解決に向                      |                        |   |   |   |   |    |
| けて運動の取り組み方                      |                        | 画を立てたりしている。                             |   |   |   |    |
| を工夫するとともに、自                     |                        | -<br>・よりよいマナーで健康や安                      |   |   |   |    |
| 己や仲間の考えたこと                      |                        | 全を確保できるように、活動                           |   |   |   |    |
| を他者に伝えることが                      |                        |   |   |   |   |    |
|                                 |                        | を振り返るとともに仲間に提                           |   |   |   |    |
| できるようにする。                       |                        | 案している。                                  |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人                      |                        | - 1 - 11- Wh 11 Wh 15- 1- 17-           |   |   |   |    |
| 間件等】                            |                        | ・チームで作戦や戦術を選ぶ                           |   |   |   |    |
| 町洋寺』<br>                        |                        | 際に、仲間と話し合い、自分                           |   |   |   |    |
| バスケットボールに                       |                        | の考えを仲間に伝えている。                           |   |   |   |    |
| · · · · · · · · · · · · · · · · |                        |   |   |   |   |    |
| 自主的に取り組むとと                      |                        | ・体力や技能、性別等の違い                           |   |   |   |    |
| もに、フェアなプレイを                     |                        | に配慮して、仲間とともに楽し                          |   |   |   |    |
| 大切にしようとするこ                      |                        | むための練習やゲームをエ                            |   |   |   |    |
| と、作戦などについて                      |                        | 夫している。                                  |   |   |   |    |
| の話合いに貢献しよう                      |                        | \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\  |   |   |   |    |
| とすること、一人一人                      |                        | 【主体的に学習に取り組む態                           |   |   |   |    |
| の違いに応じたプレイ                      |                        | 度】                                      |   |   |   |    |
|                                 |                        | / <b>Z</b>                              |   |   |   |    |
| などを大切にしようとす                     |                        | ・分担した役割に主体的に取                           |   |   |   |    |
| ること、互いに助け合                      |                        | り組み、練習やゲーム、チー                           |   |   |   |    |
| い教え合おうとすること                     |                        |   |   |   |   |    |
| などや、健康・安全を                      |                        | ムの話し合いに積極的に参                            |   |   |   |    |
| 確保することができる                      |                        | 加している。                                  |   |   |   |    |
| ようにする。                          |                        | - 各院も理例して実施するした                         |   |   |   |    |
|                                 |                        | ・危険を理解して実施するとと                          |   |   |   |    |
|                                 |                        | もに、仲間に課題を伝えるな                           |   |   |   |    |
|                                 |                        | ど、互いに助け合い教え合お                           |   |   |   |    |
|                                 |                        | うとしている。                                 |   |   |   |    |
|                                 |                        |   |   |   |   |    |
|                                 |                        | ・一人ひとりの課題や挑戦を                           |   |   |   |    |
|                                 |                        | 認め、仲間を讃え助言するこ                           |   |   |   |    |
|                                 |                        | とで信頼関係を深め、互いに                           |   |   |   |    |
|                                 |                        | 高め合うとしている。                              |   |   |   |    |
|                                 |                        |   |   |   |   |    |
| F ハンドボール                        | ・プッシュパス                | 【知識·技能】                                 |   |   |   |    |
|                                 |                        |   |   |   |   |    |
| 【知識及び技能】                        | ・ショルダーパス               | ・ハンドボールの技術や戦                            |   |   |   |    |
|                                 |                        | 術、作戦の名称とそれらを身                           |   |   |   |    |
|                                 | ・ラテラルパス                | につけるためのポイントを理                           |   |   |   |    |
|                                 | ১ । 4± ব্য             | 解している。                                  |   |   |   |    |
|                                 | ・シュート練習                | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, |   |   |   |    |
| びを味わい、技術の名                      | ・ジャンプシュート              | ・役割に応じたボール操作や                           |   |   |   |    |
| 称や行い方, 体力の高                     | - ノマノノンユ <b>ート</b><br> | 状況に応じたボール操作をゲ                           |   |   |   |    |
| め方、運動観察の方法                      |                        | 一ムでおこなうことができる。                          |   |   |   |    |
| などを理解するととも                      |                        | ムであたなりことができる。                           |   |   |   |    |
| に、作戦に応じた技能                      |                        | 一、声性して空いた担託を休穀                          |   |   |   |    |
| - 川〜・1mサネル〜ハレし/〜3メflヒ           |                        |   |   |   |   |    |
| で仲間と連携しゲーム                      |                        | ・連携して空いた場所を攻撃したり、カバーしたりする動き             |   |   |   |    |

| を展開することができ   |                  | をゲームでおこなうことができ                  |   |   |   |   |
|--|------------------|---------------------------------|---|---|---|---|
| るようにする。  |                  | る。                              |   |   |   |   |
| 役割に応じたボール操   |                  | <br> ・動きを観察することで課題を             |   |   |   |   |
|  |                  |                                 |   |   |   |   |
| 作や安定した用具の  |                  | 見つけ、練習を繰り返すこと                   |   |   |   |   |
| 操作と連携した動きに   |                  | で技能や体力を高められるこ                   |   |   |   |   |
| よって空いた場所をめ   |                  | とを理解できる。                        |   |   |   |   |
| ぐる攻防をすることが   |                  |                                 |   |   |   |   |
| できるようにする。  |                  | ・ルールや試合方法、審判や                   |   |   |   |   |
|  |                  | 運営の仕方など、競技会のお                   |   |   |   |   |
| 【思考力、判断力、表   |                  | こない方を理解している。                    |   |   |   |   |
| 現力等】   |                  |                                 |   |   |   |   |
|  |                  | 【思考·判断·表現】                      | 0 | 0 | 0 | 13                                      |
| 攻防などの自己やチー   |                  |                                 | ) |   |   | 10                                      |
| ムの課題を発見し、合   |                  | ・これまで学んだ知識や技能                   |   |   |   |   |
| 理的な解決に向けて  |                  | を活用して課題解決に有効な                   |   |   |   |   |
| 運動の取り組み方をエ   |                  | 練習方法を選択し、練習計画                   |   |   |   |   |
| 夫するとともに、自己   |                  | を立てている。                         |   |   |   |   |
| や仲間の考えたことを   |                  |                                 |   |   |   |   |
|  |                  | ・体力や技能,性別等の違い                   |   |   |   |   |
| 他者に伝えることがで   |                  | に配慮して、仲間とともに楽し                  |   |   |   |   |
| きるようにする。   |                  | むための練習やゲームをエ                    |   |   |   |   |
| <b>7</b> → /+ /-/ :- 24 == 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = |                  | 夫している。                          |   |   |   |   |
| 【主体的に学習に取り   |                  |                                 |   |   |   |   |
| 組む態度】  |                  | ・作戦や戦術を選ぶ際に、話                   |   |   |   |   |
| ,,,,,°,±° ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,                        |                  | し合い, 自分の考えを仲間に                  |   |   |   |   |
| ハンドボールに自主的   |                  | 伝えている。                          |   |   |   |   |
| に取り組むとともに、フ  |                  | المار دوسی،                     |   |   |   |   |
| ェアなプレイを大切にし  |                  | ・よりよいマナーで健康や安                   |   |   |   |   |
| ようとすること,作戦な  |                  | 全を確保できるように、活動                   |   |   |   |   |
| どについての話合いに   |                  | を振り返るとともに仲間に提                   |   |   |   |   |
| 貢献しようとすること、  |                  | 案している                           |   |   |   |   |
| 一人一人の違いに応じ   |                  | 柔している                           |   |   |   |   |
| たプレイなどを大切に   |                  | 【主体的に学習に取り組む態                   |   |   |   |   |
|  |                  | 度】                              |   |   |   |   |
| しようとすること, 互い   |                  | <b>是</b> 】                      |   |   |   |   |
| に助け合い教え合おう   |                  | ・分担した役割に主体的に取                   |   |   |   |   |
| とすることなどや、健   |                  | り組み、練習やゲーム、チー                   |   |   |   |   |
| 康・安全を確保するこ   |                  |                                 |   |   |   |   |
| とができるようにする。  |                  | ムの話し合いに積極的に参                    |   |   |   |   |
|  |                  | 加しようとしている。                      |   |   |   |   |
|  |                  | ・ 各陸太珊柳  アウムに切き                 |   |   |   |   |
|  |                  | ・危険を理解して安全に留意                   |   |   |   |   |
|  |                  | して実施するとともに、フェア                  |   |   |   |   |
|  |                  | なプレイを大切にしてゲーム                   |   |   |   |   |
|  |                  | をしようとしている。                      |   |   |   |   |
|  |                  | = m =   1                       |   |   |   |   |
|  |                  | ・一人ひとりの課題や挑戦を                   |   |   |   |   |
|  |                  | 認め、仲間を讃え助言するこ                   |   |   |   |   |
|  |                  | とで信頼関係を深め, 互いに                  |   |   |   |   |
|  |                  | 高め合うとしている。                      |   |   |   |   |
|  |                  |                                 |   |   |   |   |
|  |                  |                                 |   |   |   |   |
| F ダンス  | ·基本的なステップ        | 【知識·技能】                         |   |   | 1 |   |
| //^  | 全年时はヘナツノ         | ▲ △H □判 「 ] 又 自ヒ 』              |   |   |   |   |
| 【知識及び技能】   | ・課題のダンス          | <ul><li>・ダンスで用いられる即興や</li></ul> |   |   |   |   |
|  |                  | 作品制作、踊り方、リズムの                   |   |   |   |   |
| 感じを込めて踊った  | ・グループでの創作        | 特徴などに関する名称や用                    |   |   |   |   |
| り、みんなで自由に踊   | <br><b>▪</b> 発表会 | 語を理解している。                       |   |   |   |   |
| ったりする楽しさや喜   | □□九公云            |                                 |   |   |   |   |
| びを味わい、ダンスの   |                  |                                 |   |   |   |   |
| <u>u</u>   |                  | I                               |   |   |   | i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e |

| 名称や用語、踊りの特   | ・一人1台端末の活用                              | ・ダンスの特徴や文化的な背                          |   |   |   |    |
|--------------|---|--|---|---|---|----|
| 徴と表現の仕方、交流   | 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 景、表現の仕方を理解してい                          |   |   |   |    |
| や発表の仕方、運動観   |   | る。                                     |   |   |   |    |
| 察の方法、体力の高め   |   | 00                                     |   |   |   |    |
| 方などを理解するとと   |   | ・リズムの特徴を強調して全                          |   |   |   |    |
| もに、イメージを深めた  |   | 身で自由に踊ることができ                           |   |   |   |    |
|              |   | る。                                     |   |   |   |    |
| 表現や踊りを通した交   |   |  |   |   |   |    |
| 流や発表をできるよう   |   | ・変化とまとまりをつけて、仲                         |   |   |   |    |
| にする。リズムの特徴   |   | 間と対応して踊ることができ                          |   |   |   |    |
| を捉え、変化とまとまり  |   | る。                                     |   |   |   |    |
| を付けて、リズムに乗   |   |  |   |   |   |    |
| って全身で踊ることが   |   | 【思考·判断·表現】                             |   |   |   |    |
| できるようにする。    |   | ************************************** |   |   |   |    |
|              |   | ・学習した知識や技能を表現                          | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 【思考力、判断力、表   |   | や作品創作に適用したり、応                          |   |   |   |    |
| 現力等】         |   | 用したりしている。                              |   |   |   |    |
| ま現ればのカフル     |   | <br> ・自己や仲間の課題を発見                      |   |   |   |    |
| 表現などの自己や     |   |  |   |   |   |    |
| 仲間の課題を発見し、   |   | し、合理的、計画的な解決に                          |   |   |   |    |
| 合理的な解決に向け    |   | 向けて運動の取り組み方を                           |   |   |   |    |
| て運動の取り組み方を   |   | 工夫している。                                |   |   |   |    |
| 工夫するとともに、自   |   | <br> ・自己や仲間の考えたことを                     |   |   |   |    |
| 己や仲間の考えたこと   |   | 言葉や体の動きで他者に伝                           |   |   |   |    |
| を他者に伝えることが   |   |  |   |   |   |    |
| できるようにする。    |   | えている。                                  |   |   |   |    |
| F.W &        |   | 【主体的に学習に取り組む態                          |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人   |   | 度】                                     |   |   |   |    |
| 間性等】         |   |  |   |   |   |    |
| ダンスに自主的に取    |   | ・ダンスに主体的に取り組                           |   |   |   |    |
| り組むとともに、互いに  |   | み、役割を積極的に引き受                           |   |   |   |    |
|              |   | け、グループ活動に貢献しよ                          |   |   |   |    |
| 助け合い教え合おうと   |   | うとしている。                                |   |   |   |    |
| すること、作品や発表   |   |  |   |   |   |    |
| などの話合いに貢献し   |   | ・互いの踊りや表現を認め合                          |   |   |   |    |
| ようとすること、一人一  |   | い、課題を指摘し合ったり教                          |   |   |   |    |
| 人の違いに応じた表現   |   | え合ったりして互いに共感し                          |   |   |   |    |
| や役割を大切にしよう   |   | 高め合おうとしている。                            |   |   |   |    |
| とすることなどや、健   |   |  |   |   |   |    |
| 康・安全を確保するこ   |   | ・一人一人の違いに応じた表                          |   |   |   |    |
| とができるようにする。  |   | 現や役割を大切にすること、                          |   |   |   |    |
|              |   | 健康・安全を確保しようとして                         |   |   |   |    |
|              |   | いる。                                    |   |   |   |    |
| G バレーボール     | ・オーバーハンドパス                              | 【红蒜. 牡光】                               |   |   |   |    |
|              | - 3 一ハ一ハントハス                            |  |   |   |   |    |
| 【知識及び技能】     | ・アンダーハンドパス                              | <br> ・バレーボールの技術や戦                      |   |   |   |    |
|              |   | 術、作戦の名称とそれらを身                          |   |   |   |    |
| 勝敗を競う楽しさや    | ・サーブ                                    | につけるためのポイントを理                          |   |   |   |    |
| 喜びを味わい、技術の   |   | 解している。                                 |   |   |   |    |
| 名称や行い方、体力の   | ・スパイク                                   | T+U C V V o                            |   |   |   |    |
| 高め方、運動観察の方   | ・ゲーム                                    | ・役割に応じたボール操作や                          |   |   |   |    |
| 法などを理解するとと   | / 🖺                                     | 状況に応じたボール操作をゲ                          |   |   |   |    |
| もに、作戦に応じた技   | ・一人 1 台端末の活                             | ームでおこなうことができる。                         |   |   |   |    |
| 能で仲間と連携しゲー   | l <u> </u>                              |  |   |   |   |    |
| ムを展開することがで   | 1                                       | ・連携して空いた場所を攻撃                          |   |   |   |    |
| きるようにする。     |   | したり、カバーしたりする動き                         |   |   |   |    |
| C.00 71 7 00 |   | をゲームでおこなうことができ                         |   |   |   |    |
| 役割に応じたボール    |   | る。                                     |   |   |   |    |
| 操作や安定した用具    |   |  |   |   |   |    |
|              | l                                       | l                                      | L | l | L |    |

| 04-11-1-11-1-11-1   |  | チレナナ 40 cm - レ フー レ   |   |   |   | Г  |
|---|--|---|---|---|---|----|
| の操作と連携した動き  |  | ・動きを観察することで課題を  |   |   |   |    |
| によって空いた場所を  |  | 見つけ、練習を繰り返すこと   |   |   |   |    |
| めぐる攻防をすること  |  | で技能や体力を高められるこ   |   |   |   |    |
| ができるようにする。  |  | とを理解できる。  |   |   |   |    |
| 【思考力、判断力、表  |  | <ul><li>・ルールや試合方法、審判や</li></ul>   |   |   |   |    |
| 現力等】  |  | 運営の仕方など、競技会のお   |   |   |   |    |
| 攻防などの自己や  |  | こない方を理解している。  | 0 | 0 | 0 | 13 |
| チームの課題を発見   |  | <br>【思考・判断・表現】  |   |   |   |    |
| し、合理的な解決に向  |  |   |   |   |   |    |
| けて運動の取り組み方  |  | ・これまで学んだ知識や技能   |   |   |   |    |
| を工夫するとともに、自   |  | を活用して課題解決に有効な   |   |   |   |    |
| 己や仲間の考えたこと  |  | 練習方法を選択し、練習計画   |   |   |   |    |
| を他者に伝えることが  |  | を立てている。   |   |   |   |    |
| できるようにする。   |  |   |   |   |   |    |
| CC 06 71C 9 00  |  | ・体力や技能、性別等の違い   |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人  |  | に配慮して、仲間とともに楽し  |   |   |   |    |
| 間性等】  |  | むための練習やゲームをエ  |   |   |   |    |
|   |  | 夫している。  |   |   |   |    |
| バレーボールに自主   |  | <br> ・作戦や戦術を選ぶ際に、話  |   |   |   |    |
| 的に取り組むとともに、   |  | し合い、自分の考えを仲間に   |   |   |   |    |
| フェアなプレイを大切  |  | 伝えている。  |   |   |   |    |
| にしようとすること、作   |  | 14/2 (0.0)  |   |   |   |    |
| 戦などについての話合  |  | ・よりよいマナーで健康や安   |   |   |   |    |
| いに貢献しようとするこ   |  | 全を確保できるように、活動   |   |   |   |    |
| と、一人一人の違いに  |  | を振り返るとともに仲間に提   |   |   |   |    |
| 応じたプレイなどを大  |  | 案している。  |   |   |   |    |
| 切にしようとすること、   |  |   |   |   |   |    |
| 互いに助け合い教え合  |  | 【主体的に学習に取り組む態   |   |   |   |    |
| おうとすることなどや、   |  | 度】  |   |   |   |    |
| 健康・安全を確保する  |  | - 八七   +- 狐中川 - <del>-  -  -  -  -</del>  |   |   |   |    |
| ことができるようにす  |  | ・分担した役割に主体的に取   |   |   |   |    |
| る。  |  | り組み、練習やゲーム、チー   |   |   |   |    |
|   |  | ムの話し合いに積極的に参  |   |   |   |    |
|   |  | 加しようとしている。  |   |   |   |    |
|   |  | ・危険を理解して安全に留意   |   |   |   |    |
|   |  | して実施するとともに、フェア  |   |   |   |    |
|   |  | なプレイを大切にしてゲーム   |   |   |   |    |
|   |  | をしようとしている。  |   |   |   |    |
|   |  |   |   |   |   |    |
|   |  | ・一人ひとりの課題や挑戦を   |   |   |   |    |
|   |  | 認め、仲間を讃え、助言する   |   |   |   |    |
|   |  | ことで信頼関係を深め、互い   |   |   |   |    |
|   |  |   |   |   |   |    |
| i   |  | に高め合うとしている。   |   |   |   |    |
| H 休育理論  | ・オリンピックレパラロ                            |   |   |   |   |    |
| H 体育理論  |  | 【知識】  |   |   |   |    |
|   | ・オリンピックとパラリ<br>ンピックの意義                 |   |   |   |   |    |
| 【知識】  | ンピックの意義                                | 【知識】  |   |   |   |    |
| 【知識】 現代のスポーツは、  | ンピックの意義                                | 【知識】<br>・オリンピック・パラリンピック   |   |   |   |    |
| 【知識】<br>現代のスポーツは、<br>オリンピックやパラリン                                  | ンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果                 | 【知識】 ・オリンピック・パラリンピック の意義について、学習したこ  |   |   |   |    |
| 【知識】<br>現代のスポーツは、<br>オリンピックやパラリン<br>ピック等の国際大会を                    | ンピックの意義 ・スポーツが経済に及<br>ぼす効果 ・一人 1 台端末の活 | 【知識】 ・オリンピック・パラリンピック の意義について、学習したことを言ったり、書き出したりし ている。                             |   |   |   |    |
| 【知識】<br>現代のスポーツは、<br>オリンピックやパラリン<br>ピック等の国際大会を<br>通して、国際親善や世      | ンピックの意義 ・スポーツが経済に及<br>ぼす効果 ・一人 1 台端末の活 | 【知識】 ・オリンピック・パラリンピック の意義について、学習したことを言ったり、書き出したりしている。 ・現代のスポーツには、スポ                |   |   |   |    |
| 【知識】<br>現代のスポーツは、<br>オリンピックやパラリン<br>ピック等の国際大会を                    | ンピックの意義 ・スポーツが経済に及<br>ぼす効果 ・一人 1 台端末の活 | 【知識】 ・オリンピック・パラリンピック の意義について、学習したことを言ったり、書き出したりし ている。                             |   |   |   |    |
| 【知識】 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実 | ンピックの意義 ・スポーツが経済に及<br>ぼす効果 ・一人 1 台端末の活 | 【知識】 ・オリンピック・パラリンピック の意義について、学習したことを言ったり、書き出したりしている。 ・現代のスポーツには、スポ                |   |   |   |    |
| 【知識】 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を           | ンピックの意義 ・スポーツが経済に及<br>ぼす効果 ・一人 1 台端末の活 | 【知識】 ・オリンピック・パラリンピック の意義について、学習したことを言ったり、書き出したりし ている。 ・現代のスポーツには、スポ ーツ産業による波及的な経済 |   |   |   |    |

|   | (Table 1)                | <b>r</b>                                | T                   |   |        |        | 1  |
|---|--------------------------|---|---------------------|---|--------|--------|----|
|   | は、経済的な波及効果               |   | きな影響を及ぼしていること       |   |        |        |    |
|   | があり、スポーツ産業               |   | を理解している。            |   |        |        |    |
|   | が経済の中で大きな影               |   |                     |   |        |        |    |
|   | 響を及ぼしていること、              |   | 【思考·判断·表現】          |   |        |        |    |
|   | また、スポーツの経済               |   | ・習得した知識をもとに課題       |   |        |        |    |
|   | 的な波及効果が高まる               |   | 解決に向けて、自己や仲間        |   |        |        |    |
|   | につれ、スポーツの高               |   | の考えたことを他者に伝えて       |   |        |        |    |
|   | 潔さなどが一層求めら               |   | いる。                 |   |        |        |    |
|   | れることを理解できる               |   |                     |   |        |        |    |
|   | ようにする。                   |   | 【主体的に学習に取り組む態       |   |        |        |    |
|   |                          |   | 度】                  |   |        |        |    |
|   | 【思考力、判断力、表               |   |                     |   |        |        |    |
|   | 現力等】                     |   | ・オリンピックやパラリンピック     |   |        |        |    |
|   |                          |   | の意義やスポーツの経済効        |   |        |        | 0  |
|   | オリンピックやパラリ               |   | 果についての学習に自主的        | 0 | 0      | 0      | 2  |
|   | ンピックの意義やスポ               |   | に取り組んでいる。           |   |        |        |    |
|   | 一ツの経済効果につい               |   |                     |   |        |        |    |
|   | て、課題を発見し、より              |   |                     |   |        |        |    |
|   | よい解決に向けて思考               |   |                     |   |        |        |    |
|   | し判断するとともに、他              |   |                     |   |        |        |    |
|   | 者に伝えることができ               |   |                     |   |        |        |    |
|   | るようにする。                  |   |                     |   |        |        |    |
|   |                          |   |                     |   |        |        |    |
|   | 【学びに向かう力、人               |   |                     |   |        |        |    |
|   | 間性等】                     |   |                     |   |        |        |    |
|   |                          |   |                     |   |        |        |    |
|   | オリンピックやパラリ               |   |                     |   |        |        |    |
|   | ンピックの意義やスポ               |   |                     |   |        |        |    |
|   | 一ツの経済効果につい               |   |                     |   |        |        |    |
|   | ての学習に自主的に                |   |                     |   |        |        |    |
|   | 取り組むことができる。              |   |                     |   |        |        |    |
|   |                          |   |                     |   |        |        |    |
|   | I バドミントン                 | ・ドライブ                                   | 【知識·技能】             |   |        |        |    |
|   | 「ケロ≡鉾 スス ァヾナ± ☆ヒ】        | ・ドロップ                                   | ・バビンよいのは無め難復        |   |        |        |    |
|   | 【知識及び技能】                 | · \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ | ・バドミントンの技術や戦術、      |   |        |        |    |
|   | 勝敗を競う楽しさや                | ・ロビング                                   | 作戦の名称とそれらを身につ       |   |        |        |    |
|   | 喜びを味わい、技術の               | ,                                       | けるためのポイントを理解し       |   |        |        |    |
|   | 名称や行い方、体力の               | ・クリアー                                   | ている。                |   |        |        |    |
|   | 高め方、運動観察の方               | °                                       | <br> ・打ち込まれたシャトルに対  |   |        |        |    |
|   | 高め力、運動観点の力<br>法などを理解するとと | ・ヘアピン                                   | 応して、安定したラケット操作      |   |        |        |    |
|   | はんことを理解すること   もに、作戦に応じた技 | ・スマッシュ                                  | でコースや球種を使い分けて       |   |        |        |    |
|   | 能で仲間と連携しゲー               | , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,   | ゲームすることができる。        |   |        |        |    |
|   |                          | ・サーブ                                    | // -Ay ることができる。<br> |   |        |        |    |
|   | ムを展開することがで               |   | ・空いた場所をねらったりカバ      |   |        |        |    |
|   | きるようにする。                 | ・ゲーム                                    | ーしたり、フォーメーションの      |   |        |        |    |
| 学 | 1 70.00.00               | (シングルス・ダブル                              | 動き方などをゲーム中におこ       |   |        |        |    |
| 期 | 操作や安定した用具                | (),                                     | なうことができた。           |   |        |        |    |
|   | の操作と連携した動き               | ス)                                      | -6 /CC// CC/Co      |   |        |        |    |
|   | によって空いた場所を               | ・一人 1 台端末の活                             | ・動きを観察することで課題を      |   |        |        |    |
|   |                          | 用                                       | 見つけ、練習を繰り返すこと       |   |        |        |    |
|   | めぐる攻防をすること               | /14                                     | で技能や体力を高められるこ       |   |        |        |    |
|   | ができるようにする。               |   | とを理解している。           |   |        |        |    |
|   | 【思考力、判断力、表               |   |                     |   |        |        |    |
|   | 現力等】                     |   | ・ルールや試合方法、審判や       |   |        |        |    |
|   | シャノノ・サイ                  |   | 運営の仕方など、競技会のお       |   |        | _      |    |
|   |                          |   | EL O EN GET MINES   |   | $\sim$ | $\sim$ |    |
|   | 攻防などの自己や                 |   | こない方を理解している。        | 0 | 0      | 0      | 12 |
|   | 攻防などの自己や<br>チームの課題を発見    |   | こない方を理解している。        | 0 | 0      | 0      | 12 |
|   |                          |   |                     | 0 | 0      | 0      | 12 |

| 1   |                                      | T   |   | 1 |   |    |
|---|--------------------------------------|---|---|---|---|----|
| けて運動の取り組み方  |                                      | ・学んだ知識や技能を活用し   |   |   |   |    |
| を工夫するとともに、自   |                                      | て課題解決に有効な練習方  |   |   |   |    |
| 己や仲間の考えたこと  |                                      | 法を選択し、練習計画を立て   |   |   |   |    |
| を他者に伝えることが  |                                      | ている。  |   |   |   |    |
| できるようにする。   |                                      | <br> ・よりよいマナーで健康や安  |   |   |   |    |
| 「尚がに白かるも」   |                                      |   |   |   |   |    |
| 【学びに向かう力、人  |                                      | 全を確保できるように、活動   |   |   |   |    |
| 間性等】  |                                      | を振り返るとともに仲間に提   |   |   |   |    |
| バドミントンに自主   |                                      | 案している。  |   |   |   |    |
| 的に取り組むとともに、   |                                      | <br> ・作戦や戦術を選ぶ際に、話  |   |   |   |    |
| フェアなプレイを大切  |                                      | し合い、自分(ペア)の考えを  |   |   |   |    |
|   |                                      |   |   |   |   |    |
| にしようとすること、作   |                                      | 仲間に伝えている。   |   |   |   |    |
| 戦などについての話合  |                                      | ・体力や技能,性別等の違い   |   |   |   |    |
| いに貢献しようとするこ   |                                      | に配慮して、仲間とともに楽し  |   |   |   |    |
| と、一人一人の違いに  |                                      | むための練習やゲームをエ  |   |   |   |    |
| 応じたプレイなどを大  |                                      | 夫している。  |   |   |   |    |
| 切にしようとすること、   |                                      | 人している。  |   |   |   |    |
| 互いに助け合い教え合  |                                      | 【主体的に学習に取り組む態   |   |   |   |    |
| おうとすることなどや、   |                                      | 度】  |   |   |   |    |
| 健康・安全を確保する  |                                      |   |   |   |   |    |
| ことができるようにす  |                                      | ・分担した役割に主体的に取   |   |   |   |    |
| る。  |                                      | り組み、練習やゲーム、仲間   |   |   |   |    |
|   |                                      | との話し合いに積極的に参加   |   |   |   |    |
|   |                                      | しようとしている。   |   |   |   |    |
|   |                                      |   |   |   |   |    |
|   |                                      | ・危険を理解して安全に留意   |   |   |   |    |
|   |                                      | して実施するとともに、フェア  |   |   |   |    |
|   |                                      | なプレイを大切にしてゲーム   |   |   |   |    |
|   |                                      | を行おうとしている。  |   |   |   |    |
|   |                                      |   |   |   |   |    |
|   |                                      | ・一人ひとりの課題や挑戦を   |   |   |   |    |
|   |                                      | 認め、仲間を讃え助言するこ   |   |   |   |    |
|   |                                      | とで信頼関係を深め、互いに   |   |   |   |    |
|   |                                      | 高め合うとしている。  |   |   |   |    |
| <br>J 卓球  | ・フォア                                 | 【知識・技能】   |   |   |   |    |
| 7 4 a 5 db 72 a 3 d 4 d 10 3  | × L                                  | F   |   |   |   |    |
| 【知識及び技能】  | ・バック                                 | ・卓球の技術や戦術、作戦の   |   |   |   |    |
| ■<br>勝敗を競う楽しさや  | ・サービス                                | 名称とそれらを身につけるた   |   |   |   |    |
| 喜びを味わい、技術の  |                                      | めのポイントを理解している。  |   |   |   |    |
| 名称や行い方、体力の  | ・ゲーム                                 |   |   |   |   |    |
| 一个で行い力、14月の   | 1                                    |   |   |   |   |    |
| 古み十 宝私知中で土  |                                      | ・打ち込まれたボールの変化   |   |   |   |    |
| 高め方、運動観察の方  | (シングルス・ダブル                           | (球速,回転)やコース等の状  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとと  |                                      | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲ  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとと<br>もに、作戦に応じた技  | (シングルス・ダブル<br>ス)                     | (球速,回転)やコース等の状  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲー  | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活      | (球速, 回転) やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとと<br>もに、作戦に応じた技  | (シングルス・ダブル<br>ス)                     | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバ  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲー  | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活      | (球速,回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。<br>・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。  | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこ   |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。  | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速,回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。<br>・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。<br>役割に応じたボール操作や安定した用具                  | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができる。  |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。<br>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き        | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができる。 ・自分や仲間の動きを観察し                          |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。<br>役割に応じたボール操作や安定した用具                  | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができる。 ・自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学             |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。<br>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動き        | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速,回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができる。 ・自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるということ |   |   |   |    |
| 法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所を | (シングルス・ダブル<br>ス)<br>・一人 1 台端末の活<br>用 | (球速, 回転)やコース等の状況に応じたラケット操作でゲームすることができる。 ・空いた場所をねらったりカバーしたり、フォーメーションの動き方などをゲーム中におこなうことができる。 ・自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学             | 0 | 0 | 0 | 12 |

# 【思考力、判断力、表 現力等】

攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

# 【学びに向かう力、人 間性等】

卓球に自主的に取り組むとともに、フェアなとともに、フェアなっている。 作戦いにとうでいたうと違いにしたのとはのにといいないというとないに切けたといいないといいが、互いはないなどをできると、合いはといるとなどないなどがあるとなどがある。

・ルールや試合方法、審判や 運営の仕方など、競技会のお こない方を理解している。

#### 【思考·判断·表現】

- ・学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てている。
- ・よりよいマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間に提案している。
- ・作戦や戦術を選ぶ際に、話 し合い、自分(ペア)の考えを 仲間に伝えている。
- ・体力や技能、性別等の違い に配慮して、仲間とともに楽し むための練習やゲームを工 夫している。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、仲間 との話し合いに積極的に参加 しようとしている。
- ・危険を理解して安全に留意 して実施するとともに、フェア なプレイを大切にしてゲーム を行おうとしている。
- ・一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を讃え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うとしている。

| K 体育理論 【知識】  ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑  はオススポーツの文化  | ドーピング ・スポーツと環境 ・一人 1 台端末の活 | 【知識】 ・ドーピングはフェアプレイの 精神に反する不正な行為で あり、能力の限界に挑戦する スポーツの文化的価値を失 わせる行為であることを理解   |   |   |   |     |
|--|----------------------------|---|---|---|---|-----|
| 戦的をある ススにし持現行をある 思力 ポにあるる 学性 スにもをおるによう では、大きさいがずいないでは、大きなでは、大きなでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながでは、大きながらないが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きな |                            | している。 ・スポーツに関わる人々の増加は、人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの高潔さやスポーツが環境でした知識をもとに持続めの発展のはで、可能な題解の表別である。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの高潔さやスポーツの高潔さやスポーツの高潔さやスポーツが環境での対したもたら可に対している。 【主体のでいる。 | 0 | 0 | 0 | 2   |
|  |                            |   |   |   |   | 合計  |
|  |                            |   |   |   |   | 105 |

## 東京都立高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教 科: 保健体育 科 目:保健 単位数:1 単位 対象学年組:第 1 学年 A組

使用教科書:『現代高等保健体育 大修館書店』

## 教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考 し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

#### 科目 保健 の目標:

| 【知識及び技能】            | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】      |  |  |
|---------------------|---------------------|---------------------|--|--|
| 個人及び社会生活における健康・安全に  | 健康についての自他や社会の課題を発   | 生涯を通じて自他の健康の保持増進や   |  |  |
| ついて理解を深めるとともに、技能を身に | 見し、合理的、計画的な解決に向けて思  | それを支える環境づくりを目指し、明るく |  |  |
| 付けることができるようにする。     | 考し判断するとともに、目的や状況に応  | 豊かで活力ある生活を営む態度を養うこ  |  |  |
|                     | じて他者に伝える力を養うことができるよ | とができるようにする。         |  |  |
|                     | うにする。               |                     |  |  |
|                     |                     |                     |  |  |

|   | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目·内容   | 評価規準  | 知      | 思   | 態 | 配当 |
|---|--|---|---|--------|-----|---|----|
| 学 | A 現代社会と健康<br>【知識及び技能】<br>国民の健康課題や健康の<br>考え方は、国民の健康水準<br>の向上や疾病構造の変化に<br>伴って変わってきていること。<br>また、健康は、様々な要因の<br>影響を受けながら、主体と環 | ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 | 評価規準 ・我が国の死亡率、受療率、平均寿病構造の死亡率、受療率、平均寿病構造の死亡を通してことを言ったりしている。・健康科学技術の含むなど、理解したことを言ったりりしている。・健康、科学技術を含むいて、いるよどについている。・健康、人の考えとについている。・健康、人の考えには、特別を言いたりもを言ったりした。とを言ったりとにたりも変化に式わって、理解したことを言ったりして、ある。・免疫、自然、どの環境原の成立にたりとになりとにながら、健康の成立にたりとにないる。・免疫、自然などの健康の成立にたりしている。・がん、といたりとにないる。・がん、といたりとにないのは、理解したことを療力でいる。・がん、といたりにないのは、理解したことを育らなどのでは、といたりにないで、といたりにないのは、といたりにないる。・がん、にから、は、というとにないのは、は、というとにないのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 知<br>O | 思 〇 | 態 | 配  |
|   | 病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。  |   | ったり書いたりしている。<br>・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、<br>高血圧症、脂質異常症、糖尿病など<br>を適宜取り上げ、これらの生活習慣病  |        |     |   |    |
|   |  |   |   |        |     |   |    |

| 法を選択し、それらを説明す  | ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がん                     |   |   |   |
|----------------|---------------------------------------|---|---|---|
| ることができるようにする。  | など様々な種類があり、生活習慣の                      |   |   |   |
|                | みならず細菌やウイルスの感染など                      |   |   |   |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | の原因もあることについて、理解した                     |   |   |   |
| 生涯を通じて自他の健康    | ことを言ったり書いたりしている。                      |   |   |   |
| の保持増進やそれを支える   | ・生活習慣病などの予防と回復には、                     |   |   |   |
| 環境づくりを目指し、明るく豊 | 個人の取組とともに、健康診断やが                      |   |   |   |
| かで活力ある生活を営む態   | ん検診の普及、正しい情報の発信な                      |   |   |   |
| 度を養うことができるようにす | ど社会的な対策が必要であることに                      |   |   |   |
| る。             | ついて、理解したことを言ったり書い                     |   |   |   |
| <b>3</b> °     | たりしている。                               |   |   |   |
|                | 【思考・判断・表現】                            |   |   |   |
|                | ・健康の考え方について、健康に関わ                     |   |   |   |
|                | る原則や概念を基に整理したり、個人                     |   |   |   |
|                | 及び社会生活と関連付けたりして、自                     |   |   |   |
|                | 他や社会の課題を発見している。                       |   |   |   |
|                | ・国民の健康課題について、我が国                      |   |   |   |
|                | の健康水準の向上や疾病構造の変                       |   |   |   |
|                | 化に関するデータや資料に基づいて                      |   |   |   |
|                | 分析し、生活の質の向上に向けた課                      |   |   |   |
|                | 題解決の方法をヘルスプロモーション                     |   |   |   |
|                | の考え方を踏まえて整理している。                      |   |   |   |
|                | ・健康の考え方について、自他や社会                     |   |   |   |
|                | の課題の解決方法と、それを選択し                      |   |   |   |
|                | た理由などを話し合ったり、ノートなど                    |   |   |   |
|                | に記述したりして、筋道を立てて説明                     |   |   |   |
|                | している。                                 |   |   |   |
|                | ・生活習慣病などの予防と回復につ                      |   |   |   |
|                | いて、健康に関わる原則や概念を基                      |   |   |   |
|                | に整理したり、個人及び社会生活と関                     |   |   |   |
|                | 連付けたりして、自他や社会の課題を                     |   |   |   |
|                | 発見している。                               |   |   |   |
|                | ・生活習慣病などの予防と回復につ                      |   |   |   |
|                | いて、習得した知識を基に自他の生                      |   |   |   |
|                | 活習慣や社会環境を分析し、リスクの                     |   |   |   |
|                | 経滅と生活の質の向上に必要な個人                      |   |   |   |
|                | 程派と主点の貝の向上に必要な個人<br>の取組や社会的な対策を整理してい  |   |   |   |
|                | る。                                    |   |   |   |
|                | ○。<br>・生活習慣病などの予防と回復につ                |   |   |   |
|                | いて、自他や社会の課題の解決方法                      |   |   |   |
|                | と、それを選択した理由などを話し合                     |   |   |   |
|                | ったり、ノートなどに記述したりして、                    |   |   |   |
|                | つたり、ノートなどに記述したりして、  筋道を立てて説明している。     |   |   |   |
|                | 加垣を立てて説明している。<br>【主体的に学習に取り組む態度】      |   |   |   |
|                | 【土体的に子宮に取り組む態度】<br> ・健康の考え方について、課題の解決 |   |   |   |
|                |                                       |   |   |   |
|                | に向けた学習に主体的に取り組もうと                     |   |   |   |
|                | している。                                 |   |   |   |
|                | ・生活習慣病とその予防について、課                     |   |   |   |
|                | 題の解決に向けた学習に主体的に取                      |   |   |   |
| 1. 11= 11-     | り組もうとしている。                            |   |   |   |
| 定期考査           |                                       | 0 | 0 | 1 |

## 【知識・技能】 A 現代社会と健康 喫煙と健康 【知識及び技能】 飲酒と健康 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの 要因となり心身の健康を損ねること、 喫煙と飲酒は、生活習慣病 - 薬物乱用と健康 喫煙や飲酒による健康課題を防止す などの要因になること。また、 るには、正しい知識の普及、健全な価 精神疾患の特徴 薬物乱用は、心身の健康や 値観の育成などの個人への働きか 社会に深刻な影響を与えるこ | • 精神疾患の予防 け、及び法的な整備も含めた社会環 とから行ってはならないこと。 境への適切な対策が必要であること それらの対策には、個人や 精神疾患からの回復 について、理解したことを言ったり書 社会環境への対策が必要で いたりしている。 現代の感染症 あることを理解できるようにす ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒 感染症の予防 剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身 精神疾患の予防と回復に 性感染症・エイズとその予 の健康、社会の安全などに対して深 は、運動、食事、休養及び睡 | 防 刻な影響を及ぼすことから、決して行 眠の調和のとれた生活を実 ってはならないことについて、理解し ・健康に関する意思決定・行 践するとともに、心身の不調 たことを言ったり書いたりしている。 動選択 に気付くことが重要であるこ と。また、疾病の早期発見及 ・薬物乱用を防止するには、正しい知 健康に関する環境づくり 識の普及、健全な価値観や規範意識 び社会的な対策が必要であ ることを理解できるようにす の育成などの個人への働きかけ、及 ・一人 1 台端末の活用 び法的な規制や行政的な対応など社 る。 会環境への対策が必要であることに 感染症の発生や流行には、 ついて、理解したことを言ったり書い 時代や地域によって違いが たりしている。 みられること。その予防に ・感染症は、時代や地域によって自然 は、個人の取組及び社会的 2 な対策を行う必要があること 環境や社会環境の影響を受け、発生 0 0 $\bigcirc$ 11 学 期を理解できるようにする。 や流行に違いが見られること、その 際、交通網の発達により短時間で広 【思考力、判断力、表現力 がりやすくなっていること、また、新た 等】 な病原体の出現、感染症に対する社 会の意識の変化等によって、腸管出 現代社会と健康に関わる事 血性大腸菌(O 157 等)感染症、結核 象や情報から課題を発見し、 などの新興感染症や再興感染症の発 疾病等のリスクの軽減、生活 生や流行が見られることについて、理 の質の向上、健康を支える環 解したことを言ったり書いたりしてい 境づくりなどと、解決方法を る。 関連付けて考え、適切な方法 を選択し、それらを説明する ・感染症のリスクを軽減し予防するに ことができるようにする。 は、衛生的な環境の整備や検疫、正 しい情報の発信、予防接種の普及な 【学びに向かう力、人間性等】 ど社会的な対策とともに、それらを前 生涯を通じて自他の健康 提とした個人の取組が必要であるこ の保持増進やそれを支える と、エイズ及び性感染症についても、 環境づくりを目指し、明るく豊 その原因、及び予防のための個人の かで活力ある生活を営む態 行動選択や社会の対策について、理 度を養うことができるようにす 解したことを言ったり書いたりしてい る。 ・健康を保持増進するには、ヘルスプ ロモーションの考え方に基づき、適切

な意思決定や行動選択により、疾病 等のリスクを軽減することを含め、自 らの健康を適切に管理することが必 要であるとともに、環境づくりが重要で あることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

- ・適切な意思決定や行動選択には、 個人の知識、価値観、心理状態、及 び人間関係などを含む社会環境が関 連していることについて、理解したこと を言ったり書いたりしている。
- ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

## 【思考·判断·表現】

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。
- ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
- ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。
- ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。
- ・現代の感染症とその予防について、 健康に関わる原則や概念を基に整理 したり、個人及び社会生活と関連付け たりして、自他や社会の課題を発見し ている。

|      |  |  | ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合った        |   |   |   |
|------|--|--|---|---|---|---|
|      |  |  | り、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変          |   |   |   |
|      |  |  | 化に関するデータや資料に基づいて<br>分析し、生活の質の向上に向けた課<br>題解決の方法をヘルスプロモーション<br>の考え方を踏まえて整理している。<br>・健康の考え方について、自他や社会<br>の課題の解決方法と、それを選択し                    |   |   |   |
|      |  |  | た理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課  |   |   |   |
|      |  |  | 題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康の考え方について、課題の解決   |   |   |   |
|      | <br>   |  | に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。  | 0 | 0 | 1 |
|      |  |  |   |   | ) | ' |
|      | B 安全な社会生活  | ・事故の現状と発生要因  | 【知識·技能】   |   |   |   |
| 3 学期 | 【知識及び技能】<br>安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個の取組が必要であることを要できるようにする。また、東京を助りにするには、東西の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わるこ | <ul><li>・安全な社旗の形成</li><li>・交通における安全</li><li>・応急手当の意義とその基本</li><li>・日常的な応急手当</li><li>・心肺蘇生法</li></ul> | ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 |   |   |   |

と、交通事故には補償をはじ ・事故を防止したり事故の発生に伴う めとした責任が生じることを 傷害等を軽減したりすることを目指す 理解できるようにする。 安全な社会の形成には、交通安全、 防災、防犯などを取り上げて、法的な 適切な応急手当は、傷害 整備などの環境の整備、環境や状況 や疾病の悪化を軽減できるこ に応じた適切な行動などの個人の取 と、応急手当には、正しい手 組、及び地域の連携などが必要であ 順や方法があること、また、 ることについて、理解したことを言った 応急手当は、傷害や疾病に り書いたりしている。 よって身体が時間の経過とと もに損なわれていく場合があ ・交通事故を防止するには、自他の生 0 0 10  $\circ$ ることから、速やかに行う必 命を尊重するとともに、自分自身の心 要があることを理解できるよ 身の状態や周りの環境、車両の特性 うにする。 などを把握すること、及び個人の適切 な行動、交通環境の整備が必要であ 心肺蘇生法などの応急手 ることについて、理解したことを言った 当を適切に行うことができる り書いたりしている。 ようにする。 ・適切な応急手当は、傷害や疾病の 【思考力、判断力、表現力 悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩 等】 和したりすることについて、理解したこ とを言ったり書いたりしている。 安全な社会生活に関わる 事象や情報から課題を発見 自他の生命や身体を守り、不慮の事 し、自他や社会の危険の予 故災害に対応できる社会をつくるに 測を基に、危険を回避した は、一人一人が適切な連絡・通報や り、傷害の悪化を防止したり 運搬も含む応急手当の手順や方法を する方法を選択し、安全な社 身に付けるとともに、自ら進んで行う 会の実現に向けてそれらを 態度が必要であること、さらに、社会 説明することができるように の救急体制の整備を進めること、救 する。 急体制を適切に利用することが必要 であることについて、理解したことを言 【学びに向かう力、人間性等】 ったり書いたりしている。 生涯を通じて自他の健康 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症な の保持増進やそれを支える どの疾病の際には、それに応じた体 環境づくりを目指し、明るく豊 位の確保・止血・固定などの基本的な かで活力ある生活を営む態 応急手当の方法や手順があること 度を養うことができるようにす を、実習を通して理解し、応急手当が る。 できるようにする。 ・心肺停止状態においては、急速に回 復の可能性が失われつつあり、速や かな気道確保、人工呼吸、胸骨圧 迫、AED(自動体外式除細動器)の使 用などが必要であること、及び方法や 手順について, 実習を通して理解した ことを言ったり書いたりし、AED などを 用いて心肺蘇生法ができる。 【思考·判断·表現】

> ・安全な社会づくりについて、安全に 関わる原則や概念を基に整理したり、 個人及び社会生活と関連付けたりし て、自他や社会の課題を発見してい

| 定期考査 |   | 0 | 0 | 0 | 台言 |
|------|---|---|---|---|----|
|      | ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。   |   |   |   |    |
|      | 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。                               |   |   |   |    |
|      | ・応急手当について、自他や社会の<br>課題の解決方法と、それを選択した<br>理由などを話し合ったり、ノートなどに<br>記述したりして、筋道を立てて説明し<br>ている。 |   |   |   |    |
|      | ・応急手当について、習得した知識や<br>技能を事故や災害で生じる傷害や疾<br>病に関連付けて、悪化防止のための<br>適切な方法に応用している。              |   |   |   |    |
|      | ・応急手当について、安全に関わる原<br>則や概念を基に整理したり、個人及び<br>社会生活と関連付けたりして、自他や<br>社会の課題を発見している。            |   |   |   |    |
|      | ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。             |   |   |   |    |
|      | ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。                                |   |   |   |    |
|      | ・安全な社会づくりについて、様々な<br>事故や災害の事例から、安全に関す<br>る情報を整理し、環境の整備に応用し<br>ている。                      |   |   |   |    |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 情報 科目 情報 I 教 科: 情報 科 目:情報 I 単位数: 2単位 対象学年組:第1学年 A 組

使用教科書:(実教出版 『図説情報 I 』)

教科 情報の目標:

【知識及び技能】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】情報に関する科学的な見方・考え方を養い、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に 活用して情報を収集、処理、表現するとともにコミュニケーションを行う能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】変化する社会で情報と情報技術を活用する力を養うとともに,情報社会に主体的に参画する 態度を養う。

## 科目 情報 I の目標:

| 【知識及び技能】            | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】       |
|---------------------|---------------------|----------------------|
| 情報と情報技術についての知識と技能、  | 情報に関する科学的な見方・考え方を働  | 情報と情報技術を適切に活用することを   |
| 情報と情報技術を活用して問題を発見・  | かせ、さまざまな事象を情報とその結び  | 通して、法規や制度及びマナーを守ろう   |
| 解決する方法についての知識と技能を身  | 付きの視点から捉え, 複数の情報を結び | とする態度, 情報セキュリティを確保しよ |
| に付けるとともに、情報社会と人との関わ | 付けて新たな意味を見いだす力を養うと  | うとする態度などの情報モラルを養い, こ |
| りについては,情報に関する法規や制度  | ともに、問題を発見・解決する各段階で  | れらを踏まえて情報と情報技術を活用す   |
| 及びマナー、個人が果たす役割や責任な  | 情報と情報技術を活用する過程を振り返  | ることで情報社会に主体的に参画する態   |
| どについて、情報と情報技術の理解と併  | り改善することで、情報と情報技術を適  | 度を養う。                |
| せて身に付ける。            | 切かつ効果的に活用する力を養う。    |                      |
|                     |                     |                      |

|      | 単元の具体的な指導目標              | 指導項目·内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 能 | 配当時数 |
|------|--------------------------|--|---|---|---|---|------|
| 1 学期 | オリエンテーション                | ・中学校までの生徒の<br>知識・技能・経験などの<br>調査を行う。<br>・コンピュータの起動や<br>終了方法を習得する。<br>・自己紹介などの文章<br>を作成し、共有フォルダ<br>に保存する実習を行う<br>ことで、必要な操作を習<br>得する。<br>・コンピュータ教室での<br>マナーを理解する。 |   | 0 |   | 0 | 2    |
|      | 序章 情報社会と私たち 1 情報と情報社会の特徴 | ・情報や知識, IoT, 人<br>工知能(AI)について学<br>ぶ。<br>・情報の特徴(残存性,<br>複製性, 伝播性)につい<br>学ぶ。   | ・データと情報の違いについて<br>理解し、事例をあげて説明する<br>ことができる。<br>・IoT、人工知能(AI)の意味とそ<br>の活用について理解している。<br>・情報の特徴(残存性、複製<br>性、伝搬性)について、意味を<br>理解している。 | 0 | 0 |   | 2    |
|      | 2 情報化の進展と情報技術            | ・情報化による利便性<br>(情報化の「光」)と危険<br>性(情報化の「影」)につ<br>いて学ぶ。  | ・情報化の光と影について理解したうえで、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。  | 0 | 0 |   | 1    |

|                                       |  | ・SNS, GPS, 位置情報システムの機能や特徴を理解している。 ・位置情報サービスなど各種サービスの光と影を理解した上で、適切な活用ができる技能を身に付けている。  |   |   |   |   |
|---------------------------------------|--|--|---|---|---|---|
| 3 情報社会における個人の責任 【学びに向かう力、人間性等】        | ・匿名の特徴、ネットワーク上のルールとマナーについて学ぶ。 ・情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。                               | ・情報の信憑性、信頼性の意味を理解している。<br>・匿名の意味を理解し、匿名による特徴について考え、適切な判断することができる。<br>・情報の発信・受信において、発信者や受信者として注意すべき点について考え、自ら責任をもって行動している。<br>・情報社会における様々な問題点を理解したうえで、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとしている。  | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 1章 情報社会と問題解決<br>1節 問題解決<br>1. 問題解決の手順 | ・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。<br>・学校の食堂の活性化など具体的な例を元に、問題の明確化(問題の構成要素の把握、制約条件の整理など)について学ぶ。  | ・問題や問題解決の意味,問題解決の基本的な手順について理解している。 ・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解している。 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など,問題の明確化について理解している。   | 0 |   |   | 1 |
| 2. 情報の収集と整理                           | ・情報収集のための手法(ブレーンストーミング、検索エンジンの利用、ファイールドワーク)について学ぶ。 ・収集した情報を整理する方法(KJ法やコンセプトマップなど)について学ぶ。 | ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 ・適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集できる。 ・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレーンストーミングなどの議論)に、積極的に参画している。 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 3. 情報の分析                              | ・表計算ソフトウェアな<br>どによるデータの数値<br>化などの方法について<br>学ぶ。   | ・表計算ソフトウェアを活用し、統計処理などを行い、伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付けている。   | 0 | 0 | 0 | 1 |

|                            | ・数値化した情報を視覚的に表現する方法について学ぶ。<br>・情報を効果的に分析し、まとめる方法について学ぶ。                  | ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。  |   |   |   |   |
|----------------------------|--|---|---|---|---|---|
| 2節情報社会における法規と制度 1.情報の管理と保護 | ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権、肖像権、パブリシティ権)について学ぶ。 ・個人情報の漏洩について学ぶ。 | ・個人情報の保護 や管理について理解している。 ・プライバシー権、肖像権、パブリシティ権について理解している。 ・情報社会で起こっている個人情報に関連することができる。 ・自他のプラバシーや肖像権などをもっている個人情報の漏洩の例について説明することができる。 ・個人情報の流過切に管理することができる。 ・個人情報の重要性を認識し、個人情報の管理についている。 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2. 知的財産権と産業財産権             | ・知的財産権の概念(知的財産権の分類,産業財産権や著作権の構成)について学ぶ。 ・財産権の概要,産業財産権の構成などについて学ぶ。        | ・知的財産権の概要について<br>理解し、経済や文化の発展と<br>の関係を理解している。<br>・知的財産権の問題に関し、自<br>ら Web サイトで調べるなど、主<br>体的・意欲的に取り組んでい<br>る。   | 0 |   | 0 | 1 |

| 3. 著作権                                 | ・著作権(著作権(財差<br>権),著作者人格権)に<br>ついて学ぶ。 | ・著作者の権利と伝達者の権<br>利についての法規やルールに<br>ついて理解している            |   |   |   |     |
|--|--------------------------------------|--|---|---|---|-----|
|  | ・著作物の利用, 著作<br>権の侵害について学<br>ぶ。       | ・著作物の利用や著作権法の<br>権利制限規定について理解し<br>ている                  |   |   |   |     |
|  |                                      | ・著作物の利用の流れを理解し、著作物を適切に利用する方法を身に付けている。                  |   |   |   |     |
|  |                                      | ・著作権法の権利制限規定の 意義について考え、討議することができる。                     | 0 | 0 | 0 | 2   |
|  |                                      | ・著作物の利用に関し、著作権を侵害しないように取り組んでいる。                        |   |   |   |     |
|  |                                      | ・自らや学校での活動に対し、<br>著作権侵害をしないよう活動を<br>計画することができる。        |   |   |   |     |
| 3節 情報セキュリティと個人<br>が行う対策<br>1. 認証とパスワード | ・個人で行うセキュリティ対策である認証の概<br>要について学ぶ。    | ・個人が行うセキュリティ対策で<br>ある認証の考え方や管理につ<br>いて理解している。          |   |   |   |     |
|  | ・安全性の高いパスワ<br>ードとその管理につい<br>て学ぶ。     | ・具体的な例について、その認<br>証方法の特徴について説明で<br>きる                  |   | 0 |   |     |
|  |                                      | ・大切な情報を守るための認証の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。       | 0 |   | 0 | 1   |
|  |                                      | ・安全性の高いパスワードを設<br>定する方法を身に付けている。                       |   |   |   | , i |
|  |                                      | ・パスワードの設定について考え、適切に判断し管理すること<br>ができる。                  |   |   |   |     |
|  |                                      | 「特定されづらいパスワード設定」の実習において, 情報のセキュリティを高めようと, 粘り強く取り組んでいる。 |   |   |   |     |
| 2. 情報の暗号化                              | ・暗号の必要性と基本<br>的な仕組みについて学<br>ぶ。       | ・暗号化の手順や暗号化通信<br>の必要性について理解してい<br>る。                   |   |   |   |     |
|  | ・簡単な暗号の例(シーザー暗号)について学<br>ぶ。          | ・具体的な事例で暗号化の手順について説明することができる。                          | 0 | 0 | 0 | 1   |
|  | ・ネットワーク上での暗<br>号化通信や無線 LAN           | ・無線 LAN の暗号化方式について理解し、暗号化対策を行い適切に管理することができる。           |   |   |   |     |

|   | での暗号化対策について学ぶ。  | ・暗号化通信に対する理解のもとに、安全な情報の送信・受信に取り組んでいる。 ・大切な情報を守るための暗号の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。  |   |   |   |     |
|---|---|---|---|---|---|-----|
| 3. コンピュータウィルスと対策                          | ・コンピュータウイルス<br>などマルウェアの概要と<br>対策について学ぶ。   | ・コンピュータウイルスなどマルウェアの特徴や対策について理解している。 ・コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について、適切に判断し対応することができる。 ・マルウェアなどの被害に遭わないような対策を行い、リスク軽減に取り組んでいる。1   | 0 | 0 | 0 | 1   |
| 2章 コミュニケーションと情報デザイン 1節 メディア 1. メディアの機能と特性 | ・メディアの機能と特性<br>について学ぶ<br>・メディアの分類や情報<br>メディア、表現メディア、<br>伝達メディアの特性に<br>ついて学ぶ。    | ・さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 ・メディアの発達の歴史の概要について理解している。 ・文字、音声、図表、静止画・動画の各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性を理解している。  | 0 |   |   | 0.5 |
| 2. メディアリテラシー                              | ・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について学ぶ。 ・信憑性の高い情報を手にするための方法について学ぶ。 ・さまざまな情報メディアの特徴について学ぶ。 | ・メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。 ・適切な表現メディアや伝達メディアを選択し、伝達したい情報を効果的に表現することができる。 ・収集した情報を、別のメディアと比較するなどし、正しい情報かどうかを判断することができる。 ・情報メディアや表現メディアを活用し、主体的に情報発信することができる。 ・情報を発信する際、信憑性の高い情報となるよう、情報発信を意識して行っている。 | 0 | 0 | 0 | 0.5 |

| 2節 コミュニケーション<br>1. 効果的なコミュニケーショ<br>ン | <ul><li>・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。</li><li>・コミュニケーションの歴カスコンでが、</li></ul>                              | 関係, 同期性による分類を理<br>解している。  | 0 |   |   | 1 |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|---|
|                                      | 史について学ぶ。  | ・技術の進展によるコミュニケ<br>ーションの手段の変化について<br>理解している。   |   |   |   |   |
| 2. インターネット上のコミュニケーション                | ・インターネット上のコミュニケーションの種類と<br>特徴について学ぶ。<br>・インターネット上のコミュニケーションのメリット<br>とデメリット(即時性,利<br>便性,保存性,匿名)について学ぶ。 | ・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解している。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションに対して、気を付けるべできる。 ・インターネット上のコミュニケーションに対して、コミュニケーションに対して、コミュニケーションに対して、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度はいる。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて、自からとしている。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて、自からとしている。 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 3節 情報デザインと表現の<br>工夫<br>1. 情報デザインの考え方 | ・デザインの基本, 色彩, ユニバーサルデザイン, アクセシビリティについて学ぶ。   | ・ユニバーサルデザイン, アクセシビリティの意味や目的について理解している。 ・ユニバーサルデザインについて、身近な例をあげて説明することができる。 ・ユニバーサルデザイン, アクセシビリティに興味・関心をもち、情報を発信する際に、それらのことに注意して取り組んでいる。   | 0 | 0 | 0 | 1 |

| 2. 表現の工夫               | ・身のまわりにある, 文字や音声, 図やイラストによる情報で使われている工夫について学ぶ。                      | ・情報をわかりやすく伝達するために、文字、色や配色、図やイラストなどの基本的な表現方法を理解している。 ・情報伝達の目的や対象を考え、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。 ・情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学習活動を行い、自ら改善しようとしている。                           | 0 | 0 | 0 | 1 |
|------------------------|--|---|---|---|---|---|
| 4節 コンテンツの制作 1. コンテンツ設計 | ・プレゼンテーションに<br>おけるコンテンツの作成<br>について学ぶ。<br>・コンテンツの論理展開<br>の方法について学ぶ。 | ・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。 ・プレゼンテーションソフトウェドの資料作成の大きな事に付けている。 ・論理関制にでは、一定をはいる。 ・論理展開のでは、一定をは、一定をは、一定をは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定で  | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2. スライドの制作と発表          | ・スライド制作と見やすくするための工夫について学ぶ。 ・発表の方法と、評価方法について学ぶ。                     | <ul> <li>・見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。</li> <li>・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価</li> </ul> |   | 0 | 0 | 4 |

|      |                                      |  | を行い, フィードバックを行って 改善しようとしている。  |   |   |   |   |
|------|--------------------------------------|--|---|---|---|---|---|
|      | 3 章 情報とコンピュータ 1節 情報の表し方 1. デジタル表現の特徴 | ・アナログとデジタル、<br>デジタルデータの特徴<br>(情報の正確な再現・情<br>報の加工の容易さなど)<br>について学ぶ。 | ・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 ・アナログデータとデジタルデータを比較し、その違いについて説明することができる。 ・情報のデジタル化について、<br>興味・関心をもって、より深く理解しようとしている。       | 0 | 0 | 0 | 1 |
|      | 2.2 進数と情報量                           | ・情報量, ビット, バイト, 2 進法, 2 進数について学ぶ。                                  | ・2 進数、情報量およびその単位について理解している。 ・ビット数と情報量の関係について説明することができる。 ・適切な情報量の単位で表現することができる。 ・2 進数や情報量について、具体的な例に関連付け、より深く理解しようとしている。 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 2 学期 | 2節 コンピュータでのデジタ<br>ル表現<br>1. 数値の表現    | ・コンピュータ内部での<br>数値(2 進数, 16 進数)<br>の表現について学ぶ。                       | ・コンピュータ内部の数値表現方法である2進数から,10進数や16進数へ相互に変換する方法を理解している。 ・2進数の簡単な加算と減算について理解している。 ・2進数,10進数,16進数を用いて,目的に応じて適切に表現することができる。   | 0 | 0 |   | 1 |
|      | 2. 文字のデジタル表現                         | ・コンピュータにおける<br>文字コード、文字のデジ<br>タル表現について学<br>ぶ。                      | ・コンピュータにおける文字表現である文字コードの特徴について理解している。 ・文字化けが発生する理由について、事例をあげて説明することができる。 ・文字のデジタル表現について、興味・関心をもって取り組んでいる。               | 0 | 0 | 0 | 1 |
|      | 3. 音の表現                              | ・音のデジタル化, 周波数(ヘルツ), 標本化・量子化・符号化, 標本化周期や標本化周波数について学ぶ。               | ・音やデジタル化(標本化,量子化,符号化)の仕組みについて理解している。<br>・アナログの音をデジタル化する場合の,標本周期や標本周波数について,音質とデータ量                                       | 0 | 0 | 0 | 2 |

|                             |   | の大きさを関連付けて説明することができる。 ・音のデジタル表現について、 興味・関心をもって取り組んでいる。   |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|---|
| 4. 画像の表現                    | ・画像のデジタル化, カラー画像の仕組み, 標本化, 量子化, 符号化,<br>光の三原色, 解像度, 階調について学ぶ。                             | ・画像のデジタル化(標本化,量子化,符号化)の仕組みについて理解している。 ・カラー画像の表現,光の三原色,色の三原色について理解している。 ・画像の解像度や諧調を用いて,画像の鮮明さについて説明することができる。 ・画像のデジタル表現について,興味・関心をもって取り組んでいる。   | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 5. 動画の表現とファイル形式             | <ul><li>・動画の仕組みや動画<br/>圧縮の仕組みについて<br/>学ぶ。</li><li>・ファイルの種類(音・画像・動画)について学<br/>ぶ。</li></ul> | ・動画の表現方法とデータの圧縮方法について理解している ・プレゼンテーションソフトウェアなどを利用して簡単なアニメーション作品を作成し、その作品を動画ファイルにすることができる。 ・音声、画像、動画のデータ量の計算について、関心・意欲をもつて積極的に取り組み、理解しようとしている。 ・音声、画像、動画の主なファイルについて、データ圧縮との関連も含めて、その特徴や内容を説明することができる。 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 3節 情報機器とコンピュータ 1. さまざまな情報機器 | ・身のまわりの情報機器や組み込み機器の事例について学ぶ。  | ・身のまわりの多くの家電製品には、コンピュータが内蔵されていることを理解している。 ・生活のさまざまな場面で活用されている情報機器の例をあげて説明することができる。 ・生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について、興味・関心をもって取り組んでいる。  | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2. ハードウェアとソフトウェア            | ・ハードウェアとソフトウェアの違い, コンピュータ本体の働き, OS とア   | ・ハードウェア, それを動かすソ<br>フトウェア, さらに, OS とアプリ<br>ケーションソフトウェアの関係を<br>理解している。  | 0 | 0 | 0 | 1 |

|   | プリケーションソフトの<br>関係について学ぶ。               | ・コンピュータ本体の動きや<br>CPU の動作と演算の仕組みに<br>ついて、その概要を説明するこ                    |   |   |   |   |
|---|--|---|---|---|---|---|
|   |  | とができる。 ・ハードウェアとソフトウェアの 学習に、興味・関心をもって取                                 |   |   |   |   |
|   |  | り組んでいる。   |   |   |   |   |
| 4章 アルゴリズムとプログラ<br>ミング<br>1節 アルゴリズムと基本構造 | ・アルゴリズムの基本や<br>フローチャート(流れ図)<br>について学ぶ。 | ・アルゴリズムの基本とプログ<br>ラムの意味を理解している。                                       |   |   |   |   |
| 1. アルゴリズム                               |  | ・アルゴリズムの図的表現の一<br>つであるフローチャートの記号<br>および描き方を理解している。                    |   |   |   |   |
|   |  | ・アルゴリズムを文章(箇条書き) やフローチャートなどの図で作成することができる。                             |   |   |   |   |
|   |  | ・問題解決のためにアルゴリズ<br>ムを活用する際の手順につい<br>て説明することができる。                       | 0 | 0 | 0 | 1 |
|   |  | ・作成したアルゴリズム文章(箇条書き)やフローチャートが正しいかどうか検討することができる。                        |   |   |   |   |
|   |  | ・プログラミングを行う上で重要<br>なアルゴリズムに興味・関心を<br>もって取り組んでいる。                      |   |   |   |   |
|   |  | ・問題解決のためのアルゴリズムの学習に、積極的に取り組んでいる。                                      |   |   |   |   |
| 2. アルゴリズムの基本構造                          | ・アルゴリズムの基本構造(順次,選択,繰り返し),プログラムの構造      | ・アルゴリズムの基本構造(順<br>次構造,選択構造,繰り返し構<br>造)を理解している。                        |   |   |   |   |
|   | について学ぶ。                                | ・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成することができる。                                      |   |   |   |   |
|   |  | ・アルゴリズムやプログラムを<br>わかりやすくするための注意点<br>について考えることができる。                    | 0 | 0 | 0 | 2 |
|   |  | ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくする<br>など改善の余地がないかなど<br>考え、繰り返し取り組んでい<br>る。 |   |   |   |   |
| 2節 プログラミングの基礎<br>1. 簡単なプログラムの作成         | ・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を学ぶ。              | ・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。                                     | 0 | 0 | 0 | 2 |

|             |                                 | ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成することできる。 ・作成したプログラムが正しいかどうかを考察することができる。 ・プログラミング言語に興味をもち、プログラムの作成に積極的に取り組んでいる。 ・プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。 |   |   |   |   |
|-------------|---------------------------------|--|---|---|---|---|
| 2. プログラムと変数 | ・プログラムにおける変<br>数の役割について学<br>ぶ。  | <ul><li>・プログラムにおける変数の役割について理解している。</li><li>・変数を使った順次構造や繰り返し構造のプログラムを作成す</li></ul>  |   |   |   |   |
|             |                                 | ることができる。 ・作成したプログラムが正しい かどうかを考察し、修正することができる。   | 0 | 0 | 0 | 2 |
|             |                                 | ・変数の利用により、効率のよいプログラムを考え、作成することできる。   |   |   |   |   |
|             |                                 | ・プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。  |   |   |   |   |
| 3節 プログラムの応用 | ・配列やリストを使って 効率よく数値を処理でき         | ・配列やリストによる処理につ<br>いて理解している。  |   |   |   |   |
| 1. 配列とリスト   | るプログラムを作る方法<br>について学ぶ。          | ・配列などを使った簡単なプロ<br>グラムを作成することができ<br>る。  |   |   |   |   |
|             |                                 | ・配列やリストの利用により、効<br>率のよいプログラムを考え、作<br>成することができる。  | 0 | 0 | 0 | 2 |
|             |                                 | ・効率的なプログラムの作成のため、繰り返し粘り強くプログラムの改善に取り組もうとしている。  |   |   |   |   |
| 2. 関数       | ・関数を使って, より複雑なプログラムを作る方法について学ぶ。 | <ul><li>・関数の概念, 関数の種類や<br/>定義について理解している。</li><li>・関数を利用した簡単なプログラムを作成することができる。</li></ul>  | 0 | 0 | 0 | 2 |

|  |  | ・探索や並べ替えのアルゴリズムの概念を理解している。 ・並べ替え(バブルソート)のアルゴリズムについて考え,配列を使ってプログラムを作成することができる。 ・関数を使って,グラフ表示を行うプログラムやじゃんけんゲームのプログラムを作成することができる。 ・探索(線形探索,二分探索)のアルゴリズムの効率について,考えることができる。 ・問題解決のためにアルゴリズムを考え,効率的なプログラムを貼り強く作成しようとしている。 ・例題や「並べ替え」,「じゃんけ |   |   |   |   |
|--|--|--|---|---|---|---|
|  |  | んゲーム」など作成したプログ<br>ラムについて、自己評価および<br>相互評価を行い、効率的なプロ<br>グラムの改善に取り組んでい<br>る。  |   |   |   |   |
| 5 章モデル化とデータの活用<br>1節 モデル化<br>1.モデル化の基礎 | ・モデル化の手順や分類について学ぶ。                               | ・モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。 ・モデルの分類(表現形式による分類)に関し、身のまわりの具体的な事例で説明することができる。 ・モデル化について興味・関心をもち、身のまわりのモデルについて分類するなど、意欲的に取り組んでいる。  | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2. モデル化(図的モデル)                         | ・図的モデルの表現方<br>法,簡単な自動販売機<br>の動作をモデル化する<br>方法を学ぶ。 | ・図的モデルのさまざまな表現<br>方法(ブロック線図, 状態遷移<br>図, アクティビィティ図)につい<br>て理解している。<br>・簡単な自動販売機の動作を<br>モデル化し, 状態遷移図で表<br>現することができる。<br>・身のまわりものから図的モデ<br>ルを作成する学習などに積極<br>的に取り組み, 自己評価および<br>相互評価を行い, モデルを改<br>善しようとしている。                             | 0 | 0 | 0 | 1 |

| 0/45 2 2 3 - 2             | 22 1 2 - 2 0 5                            | ここ しここ の 壬 順 仏注章  | 1 |   |   |   |
|----------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 2節 シミュレーション 1. シミュレーションの基礎 | ・シミュレーションの手<br>順と注意点について学<br>ぶ。           | ・シミュレーションの手順や注意<br>点, シミュレーションツールにつ<br>いて理解している。                      |   |   |   |   |
|                            |   | ・シミュレーションの手順につい<br>て、具体的な事例で説明するこ<br>とができる。                           | 0 | 0 | 0 | 1 |
|                            |   | ・具体的な事象のモデル化や<br>シミュレーションに対して興味・<br>関心をもち、意欲的に取り組ん<br>でいる。            |   |   |   |   |
| 2. シミュレーション(確定的モデル)        | ・確定的モデルをシミュ<br>レーションするための手<br>順について学ぶ。    | ・簡単な確定的モデルのモデル<br>化やシミュレーションの手順を<br>理解している。                           |   |   |   |   |
|                            |   | ・確定的モデルについて、表計<br>算ソフトウェアを用いてシミュレ<br>ーションを行い、その結果から<br>考察することができる。    | 0 | 0 | 0 | 1 |
|                            |   | ・シミュレーションで得られた結果をもとに、パラメータを変更するなど繰り返しシミュレーションを行うなどし、分析・評価を行っている。      |   |   |   |   |
| 3. シミュレーション(確率的モデル)        | ・確率的モデルをシミュ<br>レーションするための手<br>順について学ぶ。    | ・簡単な確率的モデルのモデル<br>化やシミュレーションの手順を<br>理解している。                           |   |   |   |   |
|                            |   | ・確率的モデルについて、表計<br>算ソフトウェアの乱数を用いて<br>シミュレーションを行い、その結<br>果から考察することができる。 | 0 | 0 | 0 | 2 |
|                            |   | ・表計算ソフトウェアやプログラミング言語を利用した確率的モデルのシミュレーション実習において、意欲的に粘り強く取り組んでいる。       |   |   |   |   |
| 3節 データの活用 1. データの収集        | ・データの種類と, データの活用の手順や方法について学ぶ。             | ・データの種類(質的データ,量<br>的データ)やデータの活用方法<br>について理解している。                      |   |   |   |   |
|                            | ・データの尺度水準, ビ<br>ッグデータとデータマイ<br>ニングについて学ぶ。 | ・ビッグデータやデータマイニン<br>グの意味について理解してい<br>る。                                | 0 | 0 | 0 | 2 |
|                            |   | ・身近な数値データを尺度水準で分類し、その特徴について説明することができる。                                |   |   |   |   |
|                            |   | ・身のまわりのビッグデータに<br>ついて, 具体的な内容やデータ                                     |   |   |   |   |

|      |   |   | の収集方法などを考察することができる。 ・データマイニングの手順について説明することができる。 ・問題解決のためのデータの分析に対し、繰返し粘り強く取り組んでいる。   |   |   |   |   |
|------|---|---|--|---|---|---|---|
|      | 2. データの分析   | ・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について学ぶ。   | ・散っないが回によるである。 ・表計算ソフトウェアを利用している。 ・表計算ソフトウェアを利用して、対策を表して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対   | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 3 学期 | 6章 ネットワークと情報システム 1節 ネットワークの仕組み 1. ネットワークの構成とプロトコル | <ul> <li>・ネットワークとその構成について学ぶ。</li> <li>・インターネットに接続する機器の概要について学ぶ。</li> <li>・通信規約の役割について学ぶ。</li> </ul> | ・インターネットに接続するための機器やLANの構成について理解している。 ・家庭内のLANの配線例をあげて、インターネットに接続されている機器の概要を説明することができる。 ・実際に利用しているネットワークの構成について自ら調性について自らされる。というに取り組んでいる。 ・インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している・インターネットのプロトコル(TCP/IP)について、各階層の役割について、電話などの例を | 0 | 0 | 0 | 2 |

|                               |  | あげて説明することができる。   |   |   |   |   |
|-------------------------------|--|--|---|---|---|---|
| 2. インターネットの仕組み                | ・IP アドレスや, ドメイン<br>名, URL,DHCP サーバ,<br>DNS, HTML について学<br>ぶ。<br>・電子メールについて学<br>ぶ。<br>・WWW のサービスと仕<br>組みについて学ぶ。 | ・IP アドレス、ドメイン名、URL、DHCP サーバ、HTML などの意味をしていて理解している。 ・電子メールのサービス内では、Bでは、Bでは、Bでは、Bでは、Bでは、Bでは、Bでは、Bでは、Bでは、B  | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 2節 情報システムとサービス 1. さまざまな情報システム | ・身のまわりの情報システムの概要について学ぶ。 ・インターネットで提供されるサービスとその活用について学ぶ。 ・GPSを使ったサービスについて学ぶ。                                     | ・身のまわりの情報システムの例やサービスの概要を理解している。 ・情報システムで受けるサービスと提供する情報の関係(トレードオフ)について理解している。 ・インターネットで活用できる情報システムの例をあげて、提について考察することができる。 ・個人もしくはグループで、身近にあるが提供するサービスについで調べるなどの学習活動に積極的に参画している。 ・GPS や GPS を使ったサービスについて調べ、情報とった情報な点 | 0 | 0 | 0 | 1 |

|                             |   | と注意すべき点をまとめること<br>ができる。   |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 2. データの流れと情報システム            | ・情報システム(POS システム, トレーサビリティ)の仕組みと, データの流れについて学ぶ。   | ・身近な情報システムの仕組みとデータの流れについて理解している。 ・身近な情報システム(例えば、POS)の例をあげ、データの流れについて説明することができる。 ・個人もしくはグループで、身近な情報システムの仕組みやデータの流れについて調べるなどの学習活動に積極的に参画している。   | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 3. データベースとデータモデ<br>ル        | <ul><li>・データベースの意味、機能、役割について学ぶ。</li><li>・データモデルの違いと活用例について学ぶ。</li></ul>   | <ul><li>・データベースの意味と役割、<br/>リレーショナル型データベース<br/>の機能について理解している。</li><li>・DBMS の機能について理解している。</li></ul>   | 0 | 0 |   | 1 |
| 3節 情報セキュリティ  1. 情報セキュリティと対策 | ・情報の安全を守るために、組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。 ・情報セキュリティの3要素(機密性、安全性、可用性)について学ぶ。 ・情報セキュリティを確保するための対策(ファイアウォールの意味やアクセス制御など)について学ぶ。 | ・情報の安全を守るための情報<br>セキュリティの意味と重要性を<br>理解している。 ・組織が行っている情報セキュリティを確保するための対策に<br>ついて理解している。 ・安全に情報を送受信する仕組<br>みの理解のもとに、情報セキュリティに対する対策を自ら進ん<br>で行い、改善しようとしている。 ・情報セキュリティの3要素(機<br>密性、安全性、可用性)とそれ<br>ぞれの脅威や対策について説<br>明することができる。 ・ファイアウォールの意味やア<br>クセス制御の具体例について<br>説明できる。 | 0 | 0 | 0 | 1 |

| 2. 暗号技術 | <ul><li>・暗号化を活用した技術<br/>について学ぶ。</li><li>・暗号化の技術とデジタ<br/>ル署名について学ぶ。</li><li>・デジタル署名や認証<br/>局について学ぶ。</li></ul> | ・暗号化を活用した技術(暗号方式, デジタル署名など)について理解している。 ・共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について, その特徴や違いについて説明することができる。 |   |   |   |    |
|---------|--|---|---|---|---|----|
|         |  | <ul><li>・デジタル署名の要約文を作成し、具体的にデジタル署名について考えることができる。</li></ul>                          | 0 | 0 | 0 | 2  |
| 学年末考査   |  | ・暗号化の方式がデジタル署名に応用されていることを認識し、デジタル署名や電子認証について、より深く理解しようとしている。                        |   |   |   | 合計 |
|         |  |   |   |   |   | 70 |

東京都立神津高等学校 令和7年度(1学年用) 教科:人間と社会 科目:人間と社会

教 科:人間と社会

科 目:人間と社会

単位数:1単位 対象学年組:第1学年 A 組

使用教科書:(「人間と社会」(東京都教育委員会)

教科 人間と社会 の目標:

【知 識 及 び 技 能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、 解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的に現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりか ら課題を見いだし、情報を集め、整理分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、そ れらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対す る自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、 よりよい社会の実現しようとする態度を養う。

## 科日 人間と社会

の日標・

| THE CHE WELL       |                     |                     |
|--------------------|---------------------|---------------------|
| 【知識及び技能】           | 【思考力、判断力、表現力等】      | 【学びに向かう力、人間性等】      |
| 予測できない社会の変化や新しい課題に | 社会的に現実に照らし、よりよい生き方  | 地域社会に関わる体験活動に主体     |
| 対応するため、身のまわりや地域社会に | を選択することができるよう、体験活動に | 的・協働的に取り組むことで、集団や地  |
| 注目し、地域の経済や自然、芸能などを | よるレポート作りや発表活動を通して、自 | 域社会の中で、自分らしい在り方生き方  |
| 深く理解し、主体的に自己や社会の課題 | 己と社会との関わりから課題設定、情報  | に対する自覚を深め、課題に対する体験  |
| を発見し、地域社会の人との関わりの中 | の取捨選択や整理分析、多面的・多角的  | 活動を充実させようとする態度と、その体 |
| で体験活動を通して解決に向けて必要な | に考察する力や、考察したことを効果的  | 験活動の中で互いのよさを生かし、集団  |
| 知識及び技能を身に付ける。      | に説明したり、それらを基に議論したりす | や社会の一員であることを自覚し、よりよ |
|                    | る力を養う。              | い活動の実現しようとする態度を養う。  |
|                    |                     |                     |

|      | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目·内容  | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|------|---|--|--|---|---|---|------|
|      | A 単元:探究活動への導入<br>【知識及び技能】<br>・他者と関わる活動において地域社会や他者の価値に触れ、<br>他者と協働する意義を理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】 | ・指導事項<br>「地域社会の実態を理解し、自分や他者について知ろう。」<br>・教材:「人間と社会」<br>・一人1台端末の活用              | 【知識及び技能】 ・他者と関わるグループ活動において地域社会や他者の価値に触れ、他者と協働して活動することができる。(行動の観察、ワークシート)  【思考力、判断力、表現力等】 |   |   |   |      |
| 1 学期 | ・地域社会や他者の価値に触れ、正しく判断し、多面的、多角的に考察し、他者に説明できる力を養う。   | 一人「占端木の店所  | ・地域社会や他者の価値に触れ、正しく判断し、多面的、多角的に考察し、他者に説明することができる。(行動の観察、ワークシート)                           | 0 | 0 | 0 | 4    |
| 741  | 【学びに向かう力、人間性等】<br>・グループ活動を通して集団や<br>地域社会に主体的に関わろう<br>とする態度を養う。                                |  | 【学びに向かう力、人間性等】<br>・グループ活動を通して集団や地域社会に主体的に関わろうとする。(行動の観察)                                 |   |   |   |      |
|      | B 単元:探究活動の課題設定<br>【知識及び技能】<br>・課題設定する活動で必要な<br>情報の収集・整理・分析し、見<br>通しをもった課題の設定をす<br>る。          | <ul><li>・指導事項<br/>「探究活動に関わって<br/>一人ーテーマで見通しを<br/>もって課題の設定をしよ<br/>う。」</li></ul> | 【知識及び技能】 ・課題設定する活動で必要な情報の収集・整理・分析し、見通しをもった課題設定ができる。(行動の観察、ワークシート)                        | 0 | 0 | 0 | 4    |
|      |   | ・教材:「人間と社会」  |  |   |   |   |      |

|       | 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し合い活動において価値に触れ、多面的、多角的に考察し、他者に説明できる力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 グループ活動を通して集団や主体的に地域社会を捉え、自ら課題を設定しようとする態度を養う。         | ・一人1台端末の活用  | 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し合い活動において価値に触れ、多面的、多角的に考察し他者に説明できる。(行動の観察、ワークシート)  【学びに向かう力、人間性等】 ・グループ活動を通して集団や主体的に地域社会を捉え、自ら課題を設定しようとする。(行動の観察、ワークシート) |   |   |   |    |
|-------|--|---|---|---|---|---|----|
|       | C 単元:地域産業と職業観<br>【知識及び技能】<br>・地域社会の産業について調<br>べ、職場訪問を通して地域社<br>会への理解を深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・地域産業の職場訪問を通し<br>て、訪問した職場と社会とのつ | ・指導事項<br>「キンメダイ漁、イセエ<br>ビ漁に関する職場を訪問<br>しよう。」<br>・教材:「人間と社会」<br>・一人1台端末の活用 | 【知識及び技能】 ・地域社会の産業について調べ、職場訪問を通して地域社会への理解を深めることができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域産業の職場訪問を通して、 訪問した職場と社会とのつながり                          | 0 | 0 | 0 | 4  |
|       | ながりを多面的、多角的に考察する力を身に付ける。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・事前学習事後学習を通して地域社会の産業に触れ主体的に<br>関わろうとする態度を養う。                                     |   | を多面的、多角的に考察する力を身に付けることができる。(行動の観察、ワークシート)  【学びに向かう力、人間性等】 ・事前学習事後学習を通して地域社会の産業に触れ主体的に関わるうとする。(行動の観察)                                      |   |   |   |    |
|       | D 単元:探究活動の実践<br>【知識及び技能】<br>・自ら設定した課題に正対して<br>目的意識をもち、必要な知識と<br>技能をきちんと調べ理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】                               | ・指導事項<br>「一人一テーマの探究する体験活動を実践しよう。」<br>・教材:「人間と社会」<br>・一人1台端末の活用            | 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に正対して目的意識をもち、必要な知識と方法を調べ理解することができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】  |   |   |   |    |
| 2 学 期 | ・課題を探究する活動を通して、体験したことをきちんと考察し、他者に説明できる力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・他者と協働しながら、自ら設定した課題への探究活動を主体的に取り組む態度を養う。                      |   | ・課題を探究する活動を通して、体験したことを考察し、他者に説明することができる。(行動の観察、ワークシート)  【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、自ら設定した課題への探究活動を主体的に取り組むことができる。(行動の観察、ワークシート)            | 0 | 0 | 0 | 15 |
| 3 学期  | E 単元:探究活動のまとめ<br>【知識及び技能】<br>・自ら設定した課題に対して探<br>究し、その軌跡をまとめる技能<br>を養う。  | ・指導事項<br>「一人一テーマの探究活動のプレゼンの準備を進めよう。」<br>・教材「人間と社会」<br>・一人1台端末の活用          | 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、その軌跡をまとめる技能を養うことができる。(データ、ワークシート)   | 0 | 0 | 0 | 5  |

| ・体験した活動をもとに、必要な情報を取捨選択し、他者に説明する力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、課題に正対して探究し、その軌跡を主体的にまとめようとする態度を  |  | ・体験した活動をもとに、必要な情報を取捨選択し他者に説明することができる。(データ、ワークシート)  【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働しながら、課題に正対して探究し、その軌跡を主体的にまとめようとすることができる。   |   |   |   |     |
|--|--|--|---|---|---|-----|
| 養う。     F 単元:探究活動の発表 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、それらに関する発表活動を通して他者にきちんと伝える技能を養う。     【思考力、判断力、表現力等】・他者の発表を聞き、多面的、多角的に考察する力を身に付ける。     【学びに向かう力、人間性等】・他者の発表をきちんと聞き、新しい問いや課題に気付き、主体的に関わろうとする態度を養う。 | ・指導事項<br>「一人一テーマの探究活動の発表をしよう。」<br>・教材「人間と社会」<br>・一人1台端末の活用 | (行動の観察、ワークシート) 【知識及び技能】 ・自ら設定した課題に対して探究し、その軌跡を、発表活動を通して他者に伝えることができる。(行動の観察、ワークシート) 【思考力、判断力、表現力等】・他者の発表を聞き、多面的、多角的に考察することができる。(ワークシート) 【学びに向かう力、人間性等】・他者の発表を聞き、新しい問いや課題に気付き、主体的に関わろうとする。(行動の観察、ワークシート) | 0 | 0 | 0 | 3 但 |